

袋井市

地域福祉に関する市民意識調査

【調査結果報告書】

令和2年3月

袋 井 市



# 目 次

<b>I. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査方法及び回収結果 .....	1
(3) 報告書の見方 .....	2
<b>II. 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1. 回答者について .....	3
2. 日常生活について .....	6
3. 地域とのかかわりについて .....	10
4. 地域の助け合いについて .....	20
5. 災害時の対応について .....	29
6. 福祉サービス、制度について .....	38
7. 今後の地域福祉について .....	55
<b>III. その他回答</b> .....	<b>63</b>
<b>IV. 自由意見</b> .....	<b>83</b>



# I. 調査の概要

## (1) 調査の目的

「第4次袋井市地域福祉推進計画」策定の基礎資料とするため、市内在住の15歳以上の一般市民3,000人を対象に地域福祉に関する市民意識調査を実施しました。

地域福祉に対する意識や地域活動への参加意向、支援を必要とする人に対する施策等、市民視点から本市の地域福祉の状況や施策のニーズを把握することを目的としました。

## (2) 調査方法及び回収結果

調査方法及び回収結果は下記のとおりです。

区分	市民
調査地域	袋井市内全域
調査対象	市内在住の15歳以上の一般市民
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	2020(令和2)年1月7日～2020(令和2)年1月21日
配布数(A)	3,000件
回収件数(B)	1,129件
無効回答件数(C)	2件
有効回答件数(B-C)	1,127件
有効回答率((B-C)/A)	37.6%

## (3) 報告書の見方

---

---

- 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答がない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- クロス集計表の表側（左端の分類層）は「不明・無回答」を除いているため、各層の実数と集計対象の総数が一致しないことがあります。
- 本文中の分析文やグラフ・表中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。
- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、**最も割合の高い項目**と**二番目に割合の高い項目**で表しています。なお、回答者総数(N)が10未満の場合は順位づけを省略し、読取文の対象外としています。

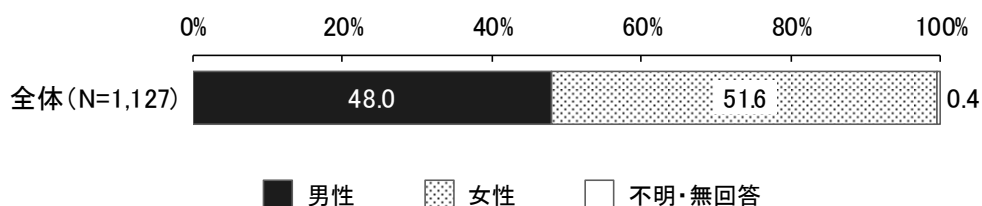
## Ⅱ. 調査結果

### 1. 回答者について \*\*\*\*\*

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

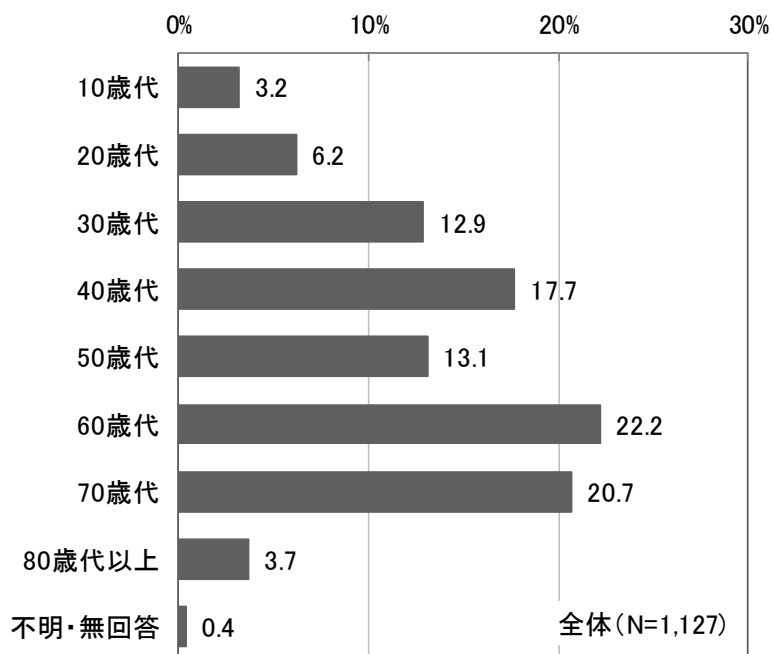
※自認する性別をお答えください

全体では「男性」が48.0%、「女性」が51.6%となっています。



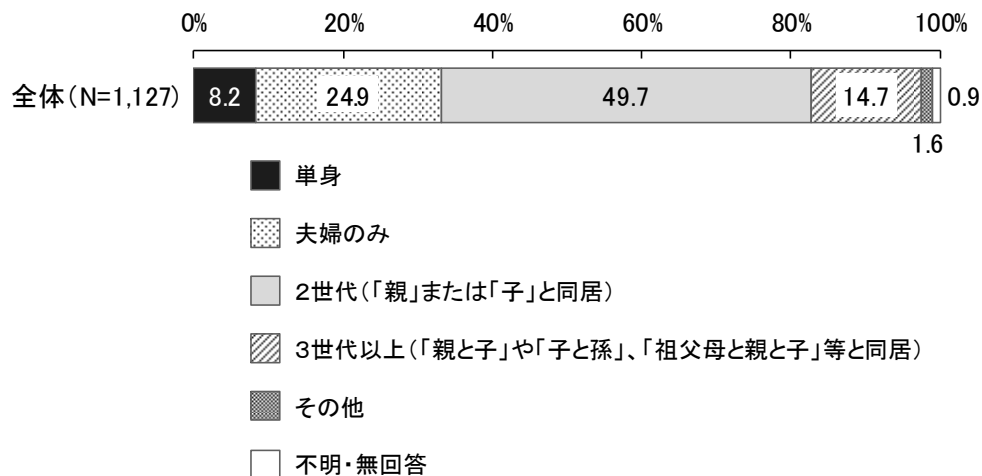
問2 あなたの令和元年11月1日現在の年齢を教えてください。(○は1つだけ)

全体では「60歳代」が22.2%と最も高く、次いで「70歳代」が20.7%、「40歳代」が17.7%となっています。



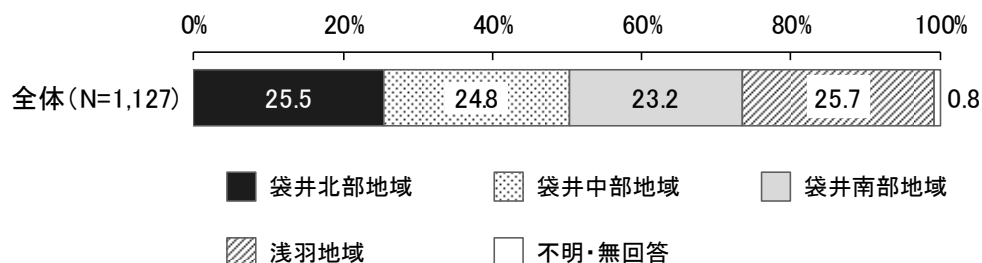
問3 あなたの世帯構成は、次のどれですか。(○は1つだけ)

全体では「2世代(「親」または「子」と同居)」が49.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が24.9%、「3世代以上(「親と子」や「子と孫」、「祖父母と親と子」等と同居)」が14.7%となっています。



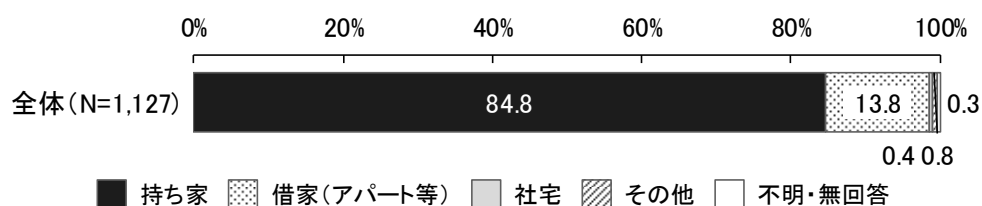
問4 あなたのお住まいは、どの地域にありますか。(○は1つだけ)

全体では「浅羽地域」が25.7%と最も高く、次いで「袋井北部地域」が25.5%、「袋井中部地域」が24.8%となっています。



問5 あなたのお住まいの状況は、次のどれですか。(○は1つだけ)

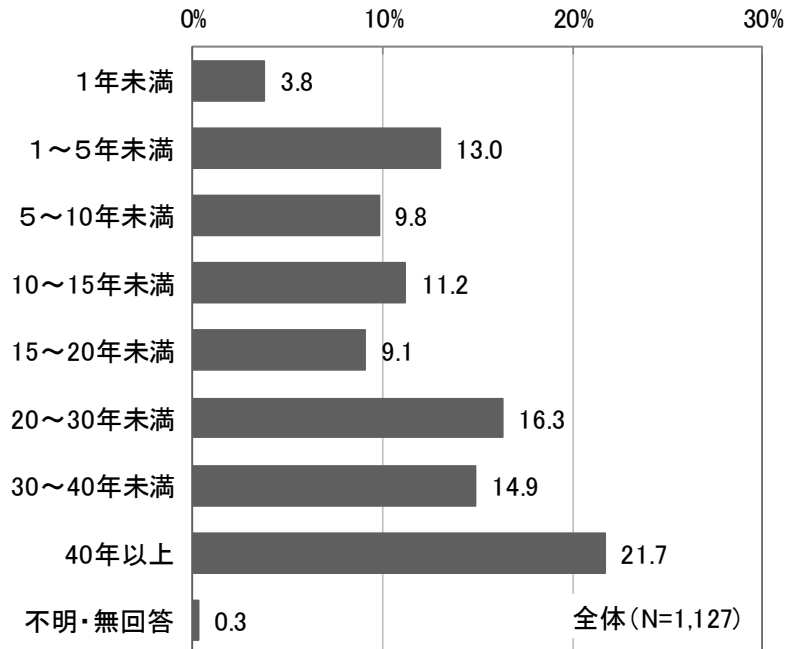
全体では「持ち家」が84.8%と最も高く、次いで「借家(アパート等)」が13.8%、「その他」が0.8%となっています。





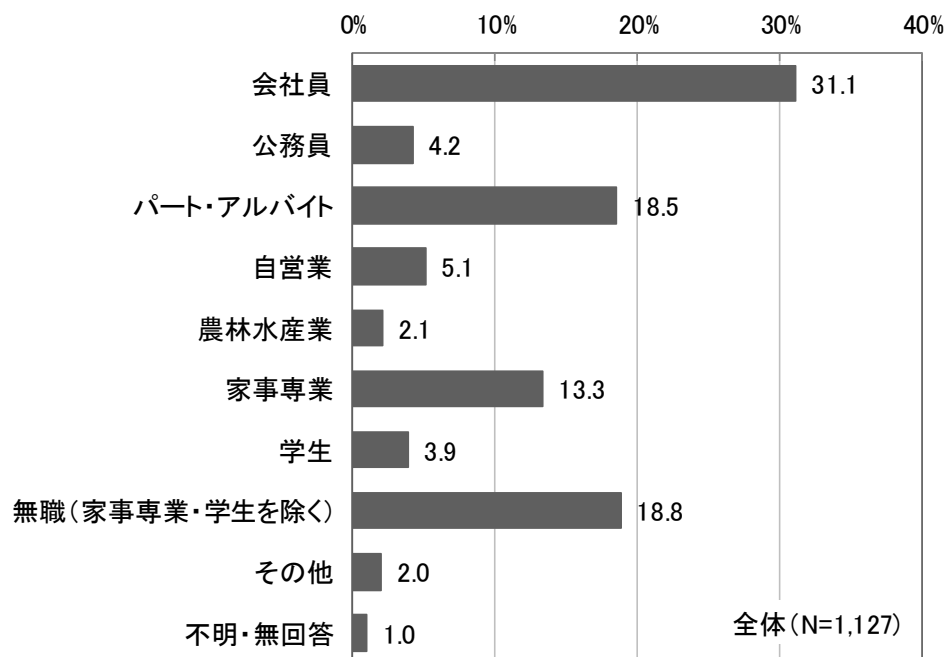
問6 お住まいの居住年数を教えてください。(○は1つだけ)

全体では「40年以上」が21.7%と最も高く、次いで「20～30年未満」が16.3%、「30～40年未満」が14.9%となっています。



問7 あなたの職業を教えてください。(○は1つだけ)

全体では「会社員」が31.1%と最も高く、次いで「無職(家事専業・学生を除く)」が18.8%、「パート・アルバイト」が18.5%となっています。



## 2. 日常生活について\*\*\*\*\*

問8 あなたは普段どのような悩みや不安を感じていますか。

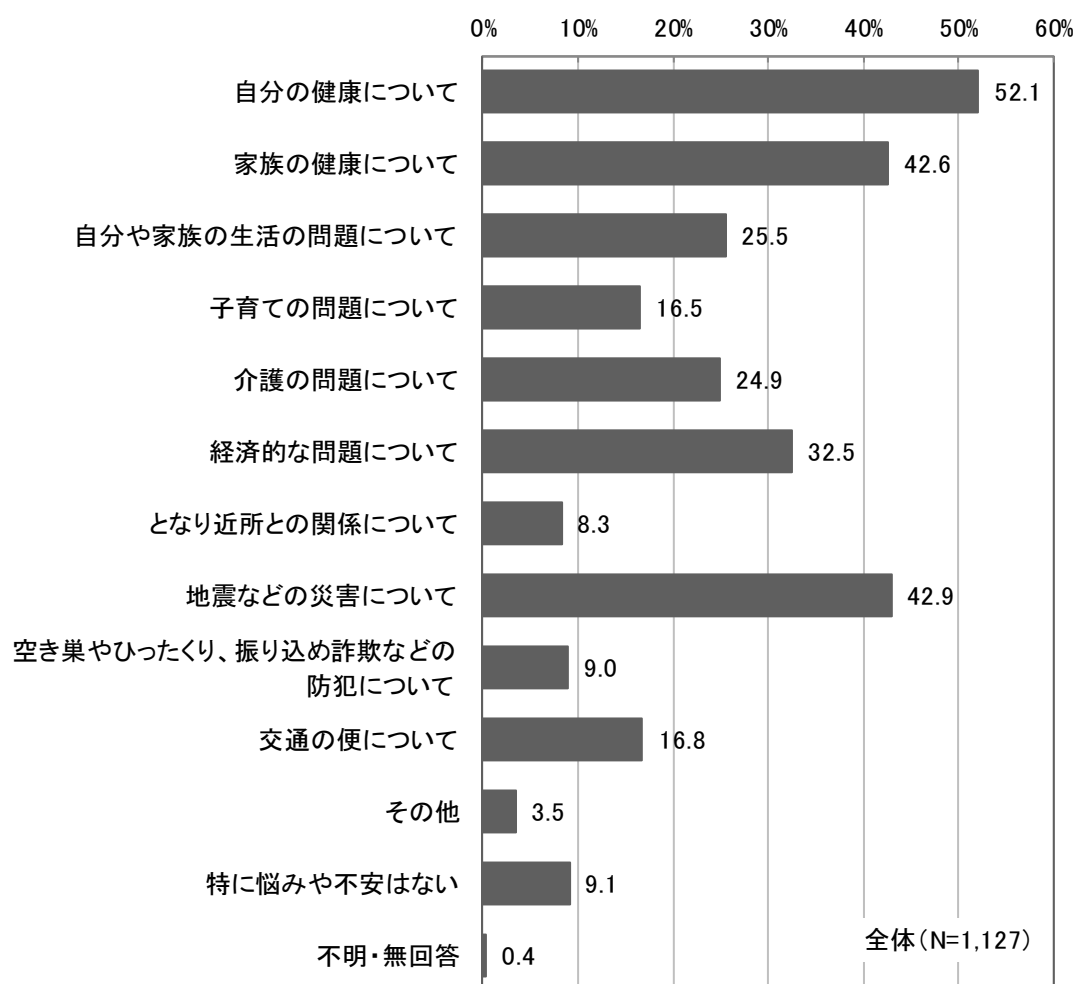
(あてはまるものすべてに○)

全体では「自分の健康について」が 52.1%と最も高く、次いで「地震などの災害について」が 42.9%、「家族の健康について」が 42.6%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、10歳代で「特に悩みや不安はない」、30歳代で「子育ての問題について」、80歳代以上で「交通の便について」が他の年代と比べて高くなっています。なお、50歳代、60歳代、70歳代で「介護の問題について」が3割台となっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	自分の健康について	家族の健康について	自分や家族の生活の問題について	子育ての問題について	介護の問題について	経済的な問題について	となり近所との関係について
性別	男性	541	50.1	40.5	26.6	15.2	25.3	30.7	9.8
	女性	581	53.9	44.6	24.6	17.9	24.4	34.3	7.1
年代別	10歳代	36	11.1	13.9	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
	20歳代	70	35.7	35.7	22.9	22.9	8.6	34.3	8.6
	30歳代	145	39.3	39.3	27.6	45.5	10.3	40.0	17.9
	40歳代	199	49.2	44.7	30.2	32.7	14.6	43.7	7.0
	50歳代	148	54.7	48.6	31.1	13.5	38.5	35.1	9.5
	60歳代	250	60.8	44.0	29.2	6.0	33.6	30.4	7.2
	70歳代	233	60.5	42.9	17.6	1.7	33.9	24.0	6.4
	80歳代以上	42	69.0	47.6	11.9	0.0	26.2	19.0	2.4
地域別	袋井北部	287	55.4	46.3	26.8	18.1	25.4	35.2	8.7
	袋井中部	280	52.9	42.5	25.0	14.6	26.1	31.1	8.6
	袋井南部	261	51.0	37.2	24.1	19.2	21.5	28.0	7.7
	浅羽地区	290	49.3	43.8	25.9	14.1	26.6	34.5	8.6

区分		N=	地震などの災害について	空き巣やひったくり、振り込め詐欺などの防犯について	交通の便について	その他	特に悩みや不安はない	不明・無回答
性別	男性	541	39.6	8.3	14.8	4.1	11.1	0.2
	女性	581	46.1	9.6	18.8	2.8	7.2	0.5
年代別	10歳代	36	27.8	8.3	8.3	8.3	44.4	0.0
	20歳代	70	44.3	10.0	21.4	1.4	17.1	1.4
	30歳代	145	38.6	8.3	11.7	5.5	5.5	0.7
	40歳代	199	45.7	7.5	9.5	4.0	8.5	0.5
	50歳代	148	44.6	10.1	18.2	2.7	4.7	0.0
	60歳代	250	44.8	10.0	16.8	3.2	7.6	0.4
	70歳代	233	42.9	7.3	22.7	2.6	9.0	0.0
	80歳代以上	42	40.5	16.7	31.0	2.4	4.8	0.0
地域別	袋井北部	287	37.6	7.0	18.5	2.4	8.0	0.0
	袋井中部	280	45.0	11.1	9.6	3.6	8.2	1.1
	袋井南部	261	45.6	10.3	16.1	4.2	10.3	0.0
	浅羽地区	290	43.4	7.2	23.1	3.8	10.0	0.3

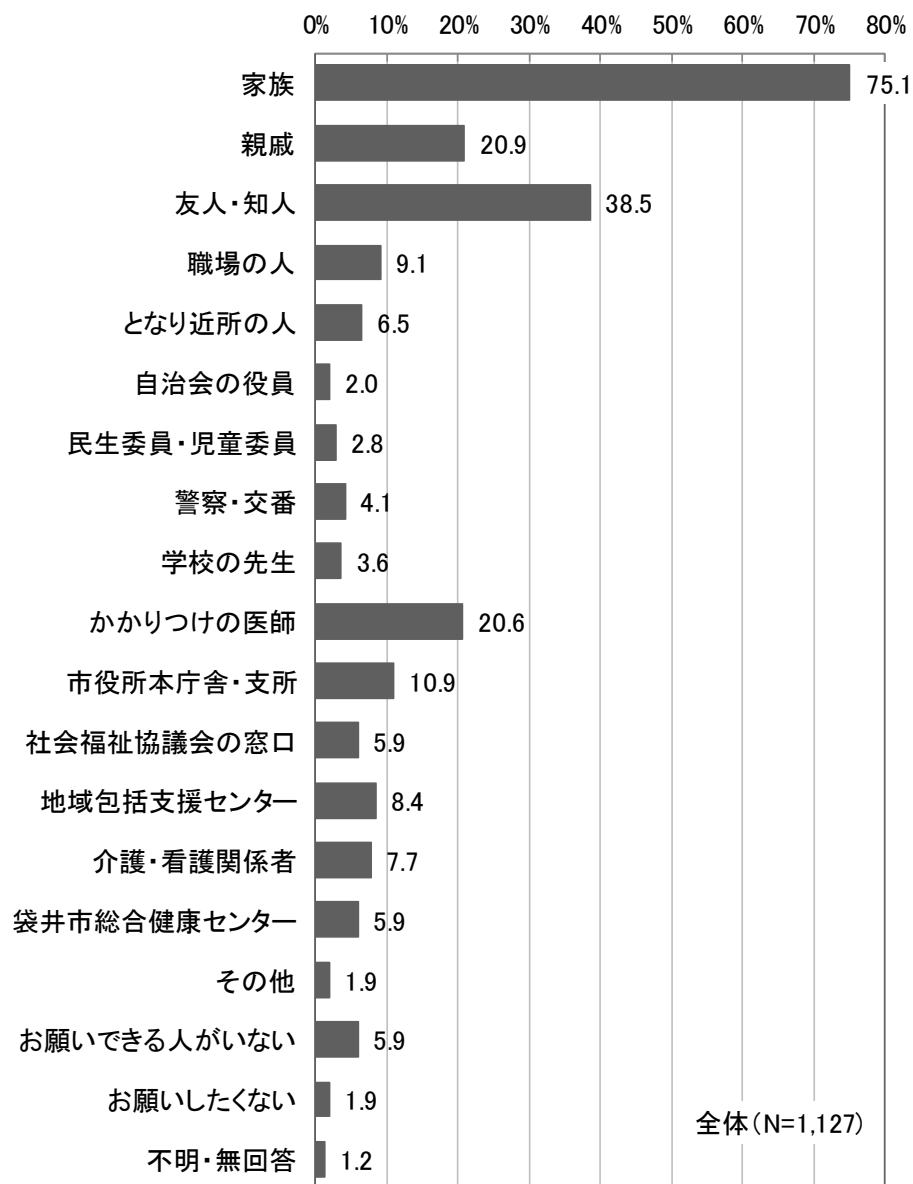
問9 あなたは、日常生活の悩みや不安を、主に誰（どこ）に相談や支援をお願いしたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では「家族」が75.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が38.5%、「親戚」が20.9%となっています。なお、「お願いできる人がいない」は5.9%、「お願いしたくない」は1.9%となっています。

性別では、女性で「友人・知人」が46.0%と、男性と比べて15.5ポイント高くなっています。

年代別では、70歳代及び80歳代以上で「友人・知人」が、他の年代と比べて低くなっています。なお、10歳代で「学校の先生」、80歳代以上で「かかりつけの医師」が3割台前半となっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	家族	親戚	友人・知人	職場の人	となり近所の人	自治会の役員	民生委員・児童委員	警察・交番	学校の先生	かかりつけの医師
性別	男性	541	71.3	19.6	30.5	9.6	6.8	2.6	2.8	4.8	2.2	19.0
	女性	581	78.7	22.2	46.0	8.6	6.2	1.5	2.6	3.4	5.0	22.0
年代別	10歳代	36	80.6	16.7	66.7	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	33.3	2.8
	20歳代	70	84.3	8.6	58.6	17.1	1.4	0.0	2.9	5.7	1.4	7.1
	30歳代	145	82.1	17.2	49.0	17.2	4.1	0.7	2.1	1.4	5.5	11.7
	40歳代	199	78.9	15.6	39.7	17.6	6.5	2.0	1.0	5.0	9.0	18.6
	50歳代	148	69.6	20.9	43.9	8.8	5.4	0.7	2.7	7.4	0.7	24.3
	60歳代	250	70.8	28.0	35.2	5.2	6.4	4.0	2.4	2.8	0.4	23.2
	70歳代	233	71.2	23.6	24.9	1.7	10.3	2.1	4.7	3.9	0.0	27.5
	80歳代以上	42	78.6	23.8	16.7	0.0	11.9	2.4	7.1	4.8	0.0	33.3
地域別	袋井北部	287	77.7	21.3	35.9	9.4	7.3	2.8	2.8	4.9	3.1	22.3
	袋井中部	280	75.4	20.0	40.7	7.5	6.8	1.1	3.2	4.3	4.6	19.6
	袋井南部	261	72.8	21.8	39.8	8.8	6.5	1.9	2.3	4.2	3.8	20.7
	浅羽地区	290	74.8	20.7	38.3	10.7	5.2	2.4	2.8	2.8	3.1	20.0
区分		N=	舎・支所	市役所本庁	社会福祉協議会の窓口	地域包括支援センター	介護・看護関係者	袋井市総合健康センター	その他	お願ひできる人がいない	お願ひしたくない	答不明・無回答
性別	男性	541	12.9	6.3	7.8	7.6	5.7	2.0	7.4	2.8	1.1	
	女性	581	9.1	5.5	9.1	7.9	6.2	1.7	4.5	1.0	1.0	
年代別	10歳代	36	5.6	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	
	20歳代	70	12.9	5.7	11.4	2.9	4.3	0.0	7.1	0.0	0.0	
	30歳代	145	15.9	2.1	5.5	1.4	5.5	4.1	3.4	1.4	1.4	
	40歳代	199	9.5	4.5	3.5	4.0	5.5	2.0	7.5	3.5	0.5	
	50歳代	148	16.2	13.5	12.8	15.5	6.1	1.4	5.4	2.0	0.7	
	60歳代	250	8.8	4.4	7.6	11.2	5.2	2.0	6.4	2.0	2.0	
	70歳代	233	8.6	6.9	11.2	9.4	6.9	1.3	6.9	0.9	0.9	
	80歳代以上	42	9.5	7.1	16.7	4.8	16.7	0.0	2.4	2.4	2.4	
地域別	袋井北部	287	9.8	5.6	7.0	6.3	7.0	2.8	4.9	1.4	1.4	
	袋井中部	280	12.1	6.1	7.9	8.6	4.6	1.1	6.4	1.1	1.8	
	袋井南部	261	10.3	6.9	10.7	8.0	6.5	2.7	5.4	2.3	0.4	
	浅羽地区	290	11.4	4.8	8.3	7.9	5.5	1.0	6.9	2.4	0.7	

### 3. 地域とのかかわりについて\*\*\*\*\*

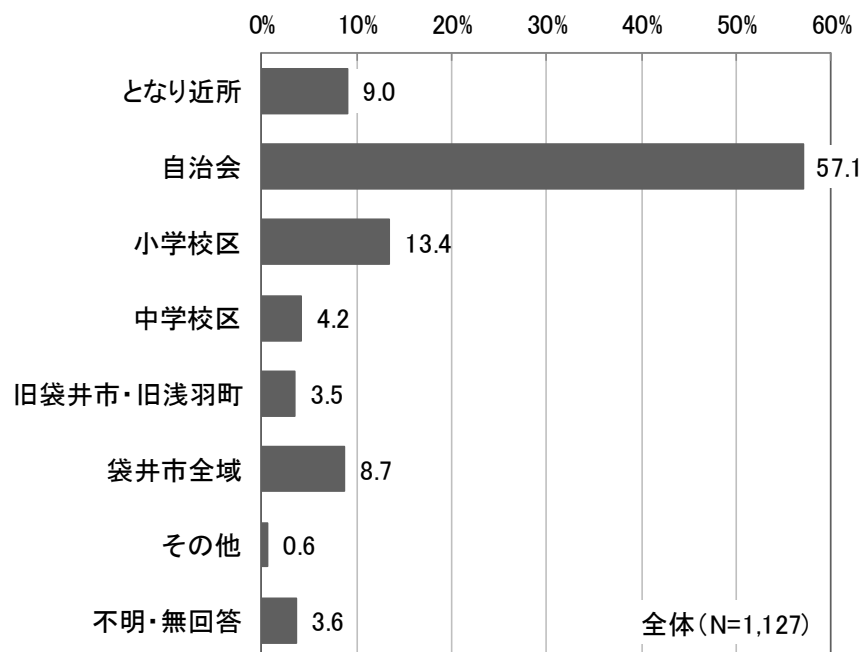
問10 あなたにとって「地域」とは、どういった範囲のことだと思いますか。あなたの印象に近いものを選んでください。(○は1つだけ)

全体では「自治会」が57.1%と最も高く、次いで「小学校区」が13.4%、「袋井市全域」が8.7%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、10歳代で「中学校区」「袋井市全域」、50歳代、60歳代、70歳代で「自治会」、80歳代以上で「となり近所」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、浅羽地区で「旧袋井市・旧浅羽町」が他の地域と比べて高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	となり近所	自治会	小学校区	中学校区	旧袋井市・旧浅羽町	袋井市全域	その他	不明・無回答
性別	男性	541	7.4	58.4	12.4	4.3	3.7	9.8	0.6	3.5
	女性	581	10.2	55.9	14.5	4.1	3.3	7.7	0.7	3.6
年代別	10歳代	36	5.6	22.2	19.4	25.0	0.0	27.8	0.0	0.0
	20歳代	70	8.6	45.7	18.6	8.6	4.3	10.0	1.4	2.9
	30歳代	145	8.3	52.4	20.7	3.4	2.8	9.7	0.7	2.1
	40歳代	199	9.0	49.2	17.6	6.5	4.0	12.1	0.5	1.0
	50歳代	148	4.7	63.5	12.8	2.7	1.4	10.8	1.4	2.7
	60歳代	250	6.0	66.8	9.6	2.4	4.8	4.4	0.0	6.0
	70歳代	233	13.3	61.8	8.2	1.7	3.4	6.0	0.4	5.2
	80歳代以上	42	23.8	50.0	9.5	0.0	4.8	4.8	2.4	4.8
地域別	袋井北部	287	10.1	53.3	18.5	4.5	1.0	7.7	1.0	3.8
	袋井中部	280	11.4	56.1	16.1	3.6	0.7	8.6	0.7	2.9
	袋井南部	261	7.7	59.8	10.0	5.4	1.1	11.9	0.4	3.8
	浅羽地区	290	6.9	59.0	9.3	3.4	10.3	6.6	0.3	4.1

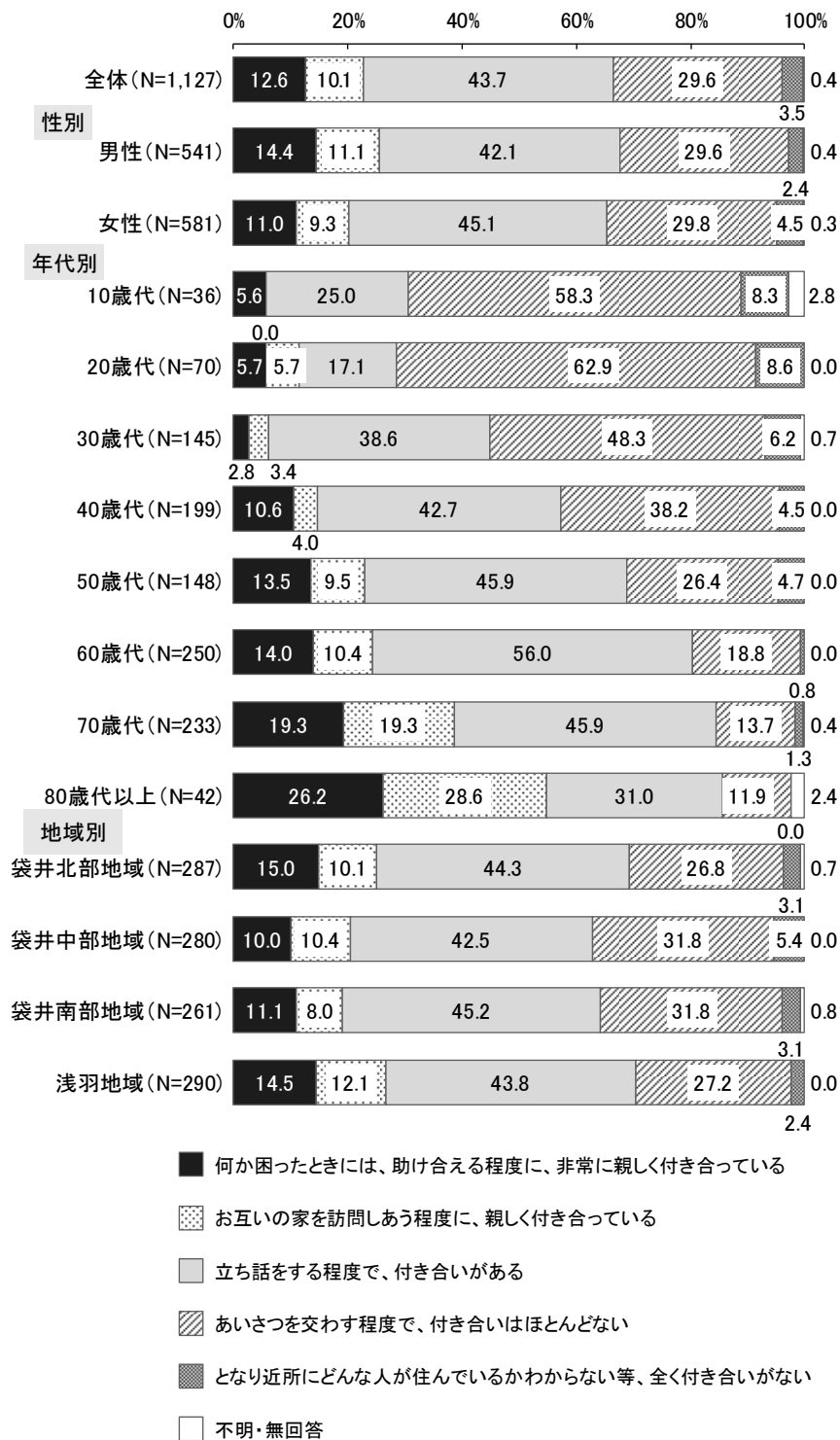
### 問 11 あなたは、となり近所とのお付き合いをどの程度していますか。(○は1つだけ)

全体では「立ち話をする程度で、付き合いがある」が43.7%と最も高く、次いで「あいさつを交わす程度で、付き合いはほとんどない」が29.6%、「何か困ったときには、助け合える程度に、非常に親しく付き合っている」が12.6%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、概ね年代が上がるにつれて「何か困ったときには、助け合える程度に、非常に親しく付き合っている」が高くなっています。

地域別では、大差はみられません。





問 12 あなたは、現在、地域活動等に参加していますか。

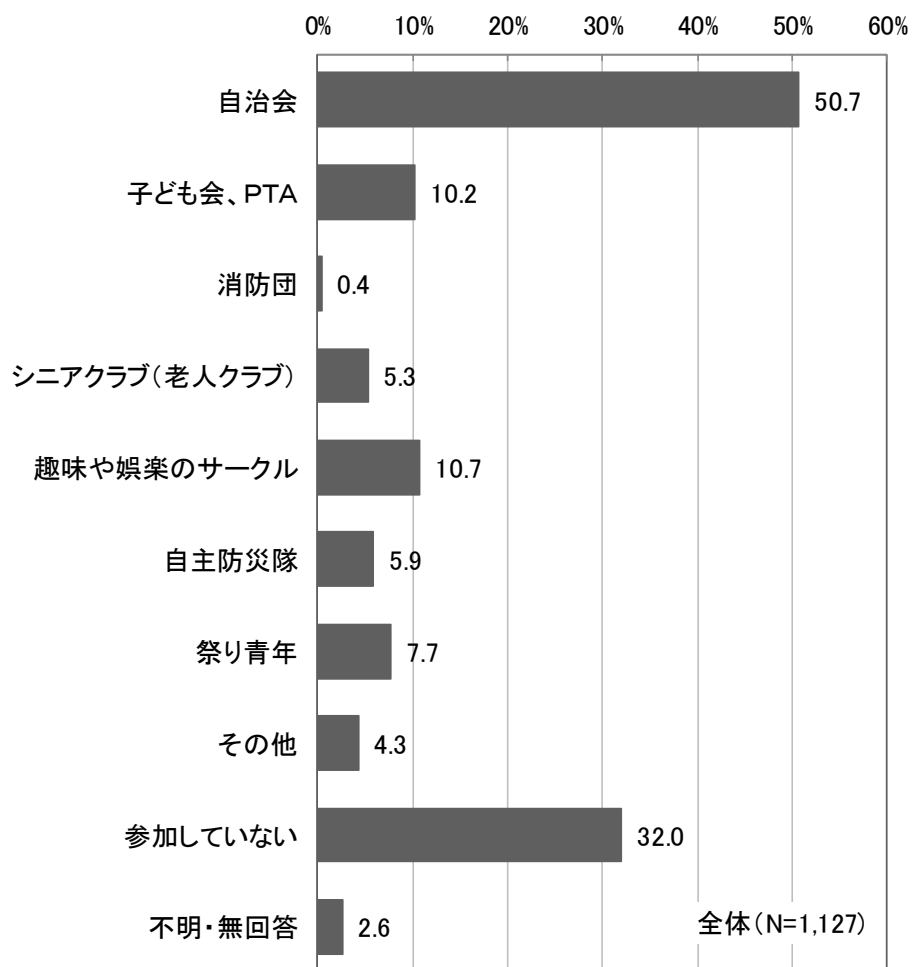
(あてはまるものすべてに○)

全体では「自治会」が50.7%と最も高く、次いで「参加していない」が32.0%、「趣味や娯楽のサークル」が10.7%となっています。

性別では、男性で「自治会」が59.0%と女性に比べて16.1ポイント高くなっています。一方、女性は「参加していない」が37.2%と男性と比べて10.8ポイント高くなっています。

年代別では、10歳代、20歳代で「参加していない」、30歳代、40歳代で「祭り青年」、70歳代、80歳代以上で「趣味や娯楽のサークル」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	自治会	子ども会、PTA	消防団	シニアクラブ (老人クラブ)	趣味や 娯楽のサー クル	自主防 災隊	祭り青 年	その他	参加して いない	不明・無 回答
性別	男性	541	59.0	6.8	0.7	5.4	7.4	9.2	13.7	5.4	26.4	1.8
	女性	581	42.9	13.4	0.2	5.2	13.8	2.8	2.2	3.4	37.2	3.3
年代別	10歳代	36	13.9	2.8	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	66.7	0.0
	20歳代	70	11.4	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	7.1	4.3	74.3	0.0
	30歳代	145	40.7	26.9	2.8	0.0	0.7	2.1	22.1	2.8	38.6	2.1
	40歳代	199	51.8	31.2	0.0	0.5	4.5	3.0	16.6	3.5	31.7	1.0
	50歳代	148	67.6	5.4	0.0	0.0	6.8	6.8	2.7	2.7	25.7	2.0
	60歳代	250	63.6	0.8	0.4	2.0	12.4	8.4	2.8	5.6	26.4	2.0
	70歳代	233	51.9	0.0	0.0	15.5	24.9	9.0	2.1	6.0	22.7	3.9
	80歳代以上	42	31.0	0.0	0.0	40.5	21.4	4.8	0.0	0.0	19.0	16.7
地域別	袋井北部	287	53.7	10.1	0.3	5.2	9.8	6.6	8.7	5.9	27.9	2.8
	袋井中部	280	50.7	9.3	0.7	5.0	10.7	6.1	5.7	5.0	34.3	2.5
	袋井南部	261	54.0	11.9	0.0	5.0	11.5	6.5	10.7	3.4	30.7	2.3
	浅羽地区	290	45.5	10.0	0.7	5.9	11.0	4.5	6.2	2.8	34.1	2.8

問 13 【問 12 で 1～8 を選んだ方にお聞きします】

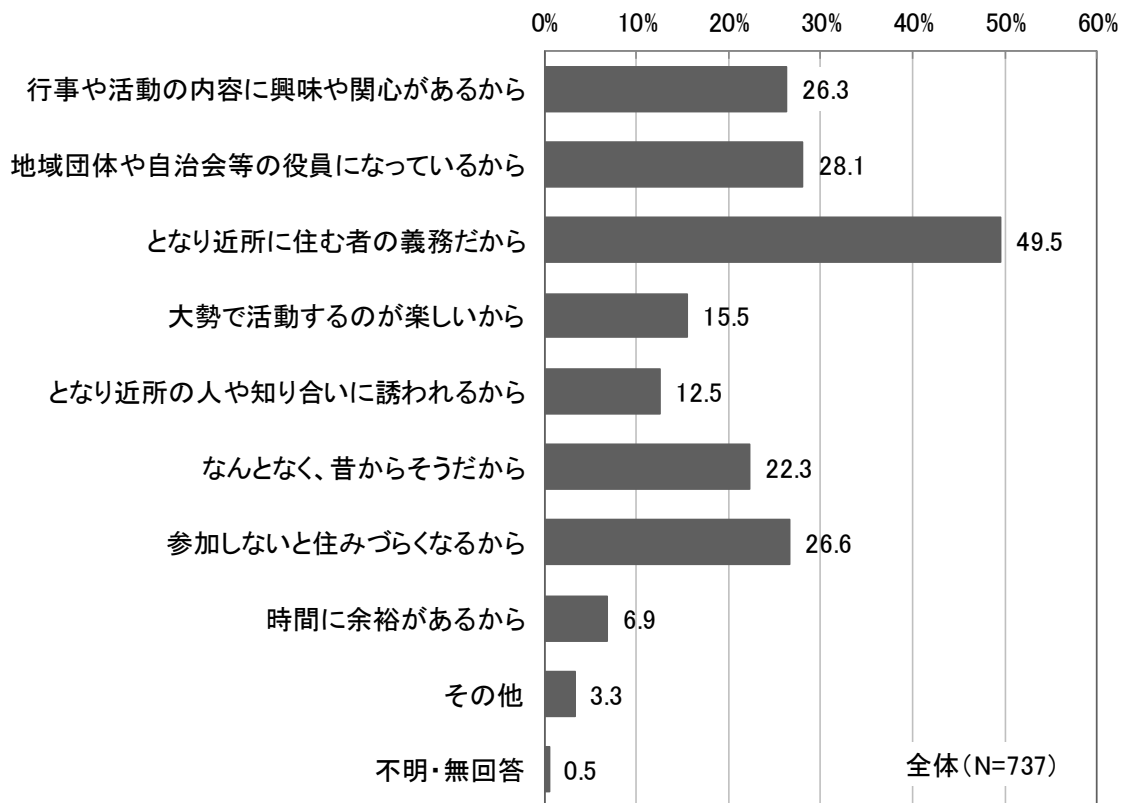
地域活動に参加している主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「となり近所に住む者の義務だから」が 49.5%と最も高く、次いで「地域団体や自治会等の役員になっているから」が 28.1%、「参加しないと住みづらくなるから」が 26.6%となっています。

性別では、男性で「地域団体や自治会等の役員になっているから」が 33.5%と女性に比べて 11.2 ポイント高くなっています。

年代別では、30 歳代で「参加しないと住みづらくなるから」が他の年代と比べて高くなっています。なお、30 歳代以上で年代が上がるにつれて「行事や活動の内容に興味や関心があるから」が高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	行事や活動の内容に興味や関心があるから	地域団体や自治会等の役員になつているから	となり近所に住む者の義務だから	大勢で活動するのが楽しいから	となり近所の人や知り合いに誘われるから	なんとなく、昔からそうだから	参加しないと住みづらくなるから	時間に余裕があるから	その他	不明・無回答
性別	男性	388	23.2	33.5	54.1	13.7	11.1	20.9	28.9	7.0	2.8	0.8
	女性	346	29.8	22.3	44.2	17.6	14.2	24.0	23.7	6.9	3.8	0.3
年代別	10歳代	12	25.0	0.0	33.3	16.7	0.0	50.0	25.0	8.3	0.0	0.0
	20歳代	18	44.4	11.1	11.1	33.3	16.7	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0
	30歳代	86	8.1	16.3	50.0	5.8	14.0	14.0	55.8	1.2	9.3	0.0
	40歳代	134	18.7	33.6	55.2	11.2	6.7	22.4	38.1	0.0	3.7	0.7
	50歳代	107	18.7	31.8	62.6	8.4	3.7	30.8	36.4	2.8	2.8	0.0
	60歳代	179	26.8	40.2	52.5	12.8	12.8	20.1	19.0	7.3	1.1	0.0
	70歳代	171	38.6	21.6	43.3	26.9	17.5	22.2	8.8	17.0	2.3	0.6
	80歳代以上	27	59.3	7.4	22.2	29.6	40.7	18.5	3.7	14.8	0.0	3.7
地域別	袋井北部	199	22.6	31.2	53.3	15.1	10.6	23.6	26.6	5.0	6.5	1.0
	袋井中部	177	28.2	24.9	51.4	14.7	12.4	21.5	26.6	5.1	2.3	0.6
	袋井南部	175	25.7	25.7	48.6	14.3	14.3	18.3	24.6	8.6	4.0	0.0
	浅羽地区	183	29.0	30.6	44.3	18.0	13.1	25.7	28.4	8.7	0.0	0.5

問 14 【問 12 で 9 を選んだ方にお聞きします】

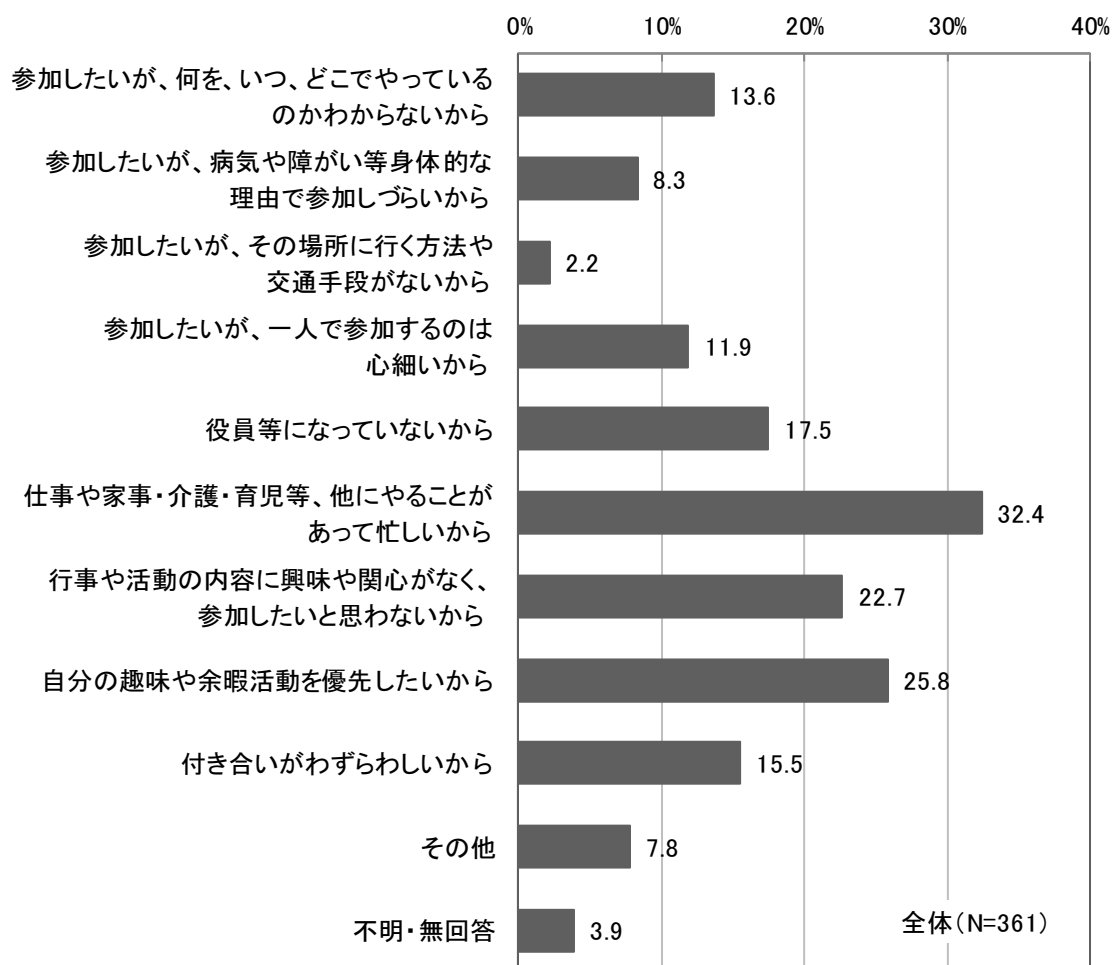
地域活動に参加していない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「仕事や家事・介護・育児等、他にやることがあって忙しいから」が 32.4%と最も高く、次いで「自分の趣味や余暇活動を優先したいから」が 25.8%、「行事や活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わないから」が 22.7%となっています。

性別では、男性で「行事や活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わないから」が 29.4%と女性に比べて 11.3 ポイント高く、「付き合いがわずらわしいから」が 22.4%と女性に比べて 11.8 ポイント高くなっています。一方、女性は「仕事や家事・介護・育児等、他にやることがあって忙しいから」が 36.6%と男性と比べて 10.0 ポイント高くなっています。

年代別では、30 歳代で「参加したいが、何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」、50 歳代で「役員等になっていないから」、70 歳代で「参加したいが、病気や障がい等身体的な理由で参加しづらいから」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	参加したいが、何を、いつ、どこでや っているのかわからないから	参加したいが、病気や障がい等身体 的な理由で参加しづらいから	参加したいが、その場所に行く方法 や交通手段がないから	参加したいが、一人で参加するのは 心細いから	役員等になっていないから	仕事や家事・介護・育児等、他にやる ことがあって忙しいから	行事や活動の内容に興味や関心が なく、参加したいと思わないから	自分の趣味や余暇活動を優先した いから	付き合いがわずらわしいから	その他	不明・無回答
性別	男性	143	16.1	8.4	2.1	9.1	16.1	26.6	29.4	25.9	22.4	7.7	2.8
	女性	216	12.0	8.3	2.3	13.9	18.5	36.6	18.1	25.5	10.6	7.9	4.2
年代別	10歳代	24	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	12.5	16.7	20.8	8.3	25.0	8.3
	20歳代	52	15.4	0.0	0.0	13.5	9.6	30.8	30.8	36.5	15.4	3.8	3.8
	30歳代	56	28.6	1.8	0.0	16.1	17.9	44.6	25.0	28.6	19.6	10.7	1.8
	40歳代	63	12.7	3.2	0.0	11.1	19.0	47.6	25.4	20.6	19.0	6.3	0.0
	50歳代	38	7.9	5.3	0.0	15.8	34.2	26.3	23.7	15.8	7.9	5.3	2.6
	60歳代	66	9.1	10.6	4.5	13.6	25.8	39.4	19.7	25.8	15.2	4.5	3.0
	70歳代	53	7.5	30.2	3.8	5.7	3.8	11.3	17.0	28.3	17.0	3.8	9.4
80歳代以上	8	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	37.5	12.5	
地域別	袋井北部	80	13.8	15.0	2.5	8.8	20.0	33.8	23.8	20.0	15.0	11.3	3.8
	袋井中部	96	13.5	6.3	3.1	12.5	13.5	32.3	20.8	29.2	18.8	9.4	1.0
	袋井南部	80	11.3	5.0	1.3	8.8	16.3	30.0	26.3	25.0	20.0	3.8	6.3
	浅羽地区	99	14.1	7.1	1.0	17.2	21.2	33.3	21.2	29.3	9.1	7.1	4.0

問 15 あなたは今後、地域活動に参加したい（続けたい）と思いますか。

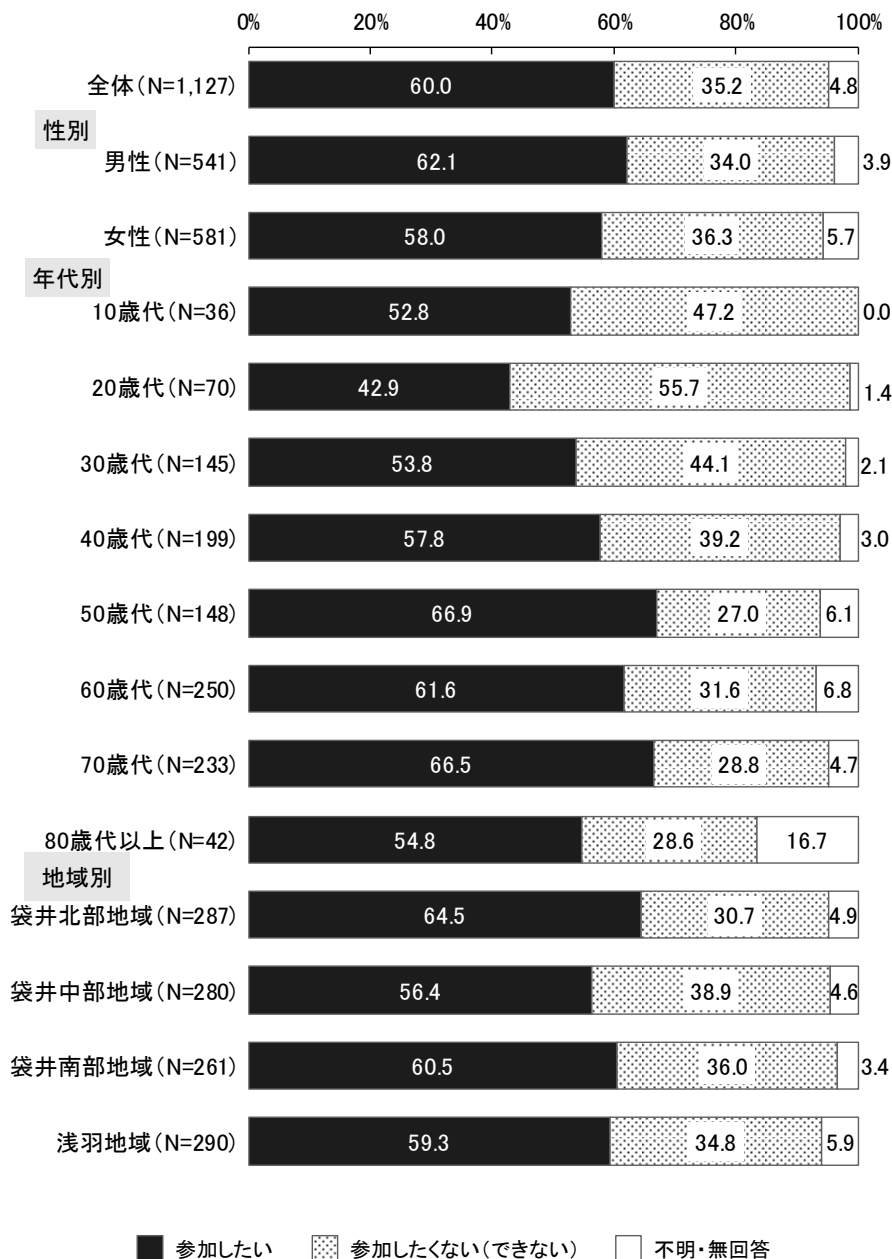
（○は1つだけ）

全体では「参加したい」が60.0%、「参加したくない（できない）」が35.2%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、20歳代で「参加したくない（できない）」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



#### 4. 地域の助け合いについて\*\*\*\*\*

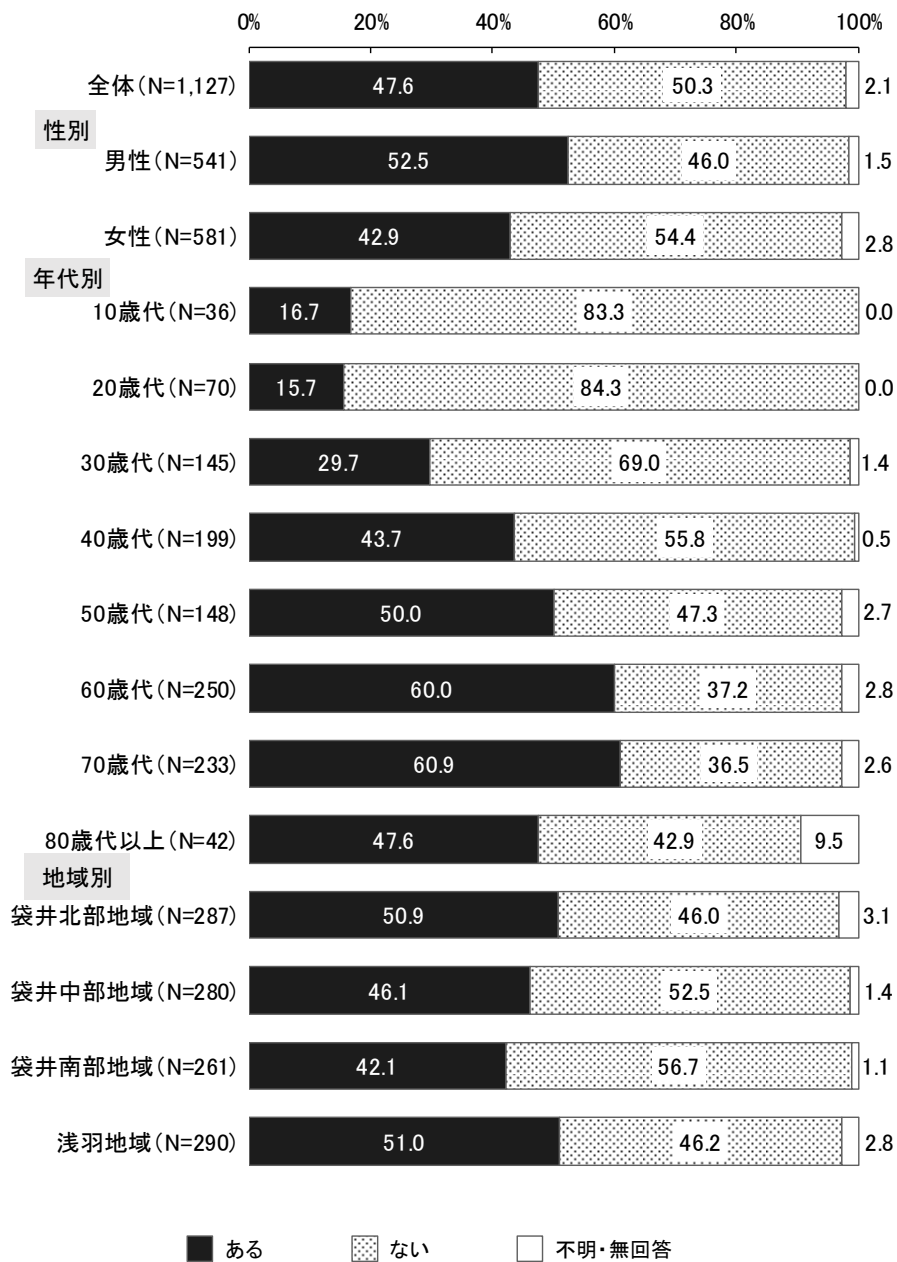
問 16 あなたは、となり近所の人から頼まれごとがあり、何かお手伝いをしたことはありますか。(○は1つだけ)

全体では「ある」が47.6%、「ない」が50.3%となっています。

性別では、男性で「ある」が52.5%と女性に比べて9.6ポイント高くなっています。

年代別では、20歳代から70歳代で年代が上がるにつれて「ある」が高くなっています。

地域別では、大差はみられません。





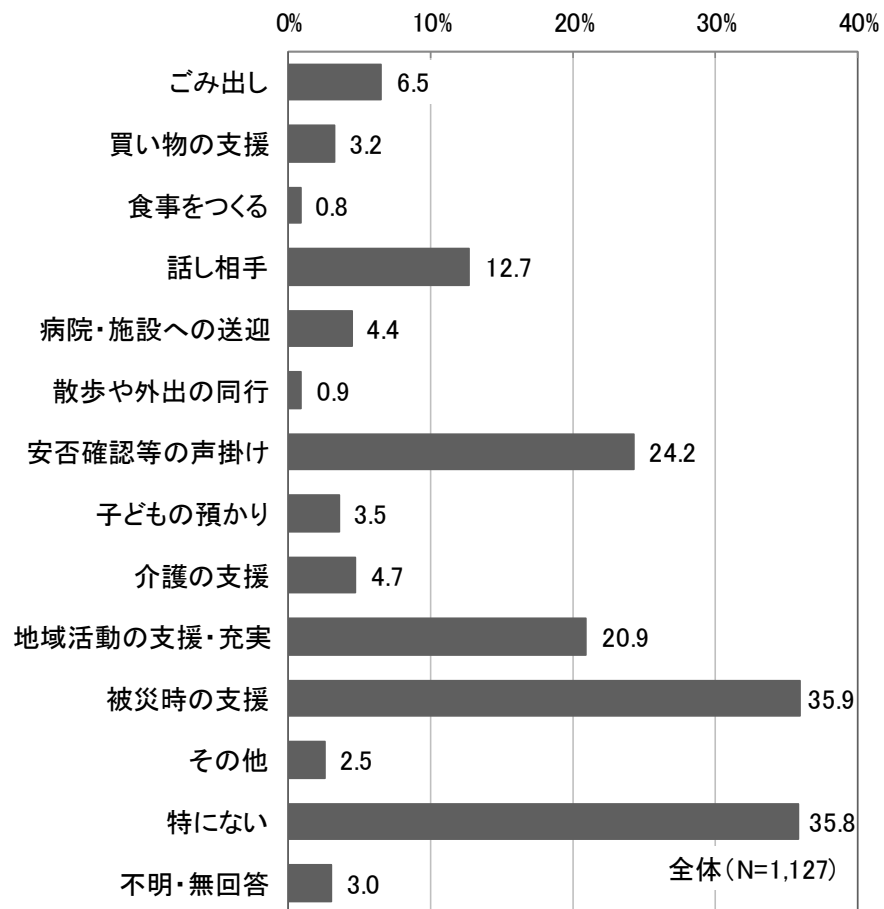
問 17 あなたは、現在お住まいの地域で生活するにあたって、地域や地域の人々に何を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「被災時の支援」が 35.9%と最も高く、次いで「特にない」が 35.8%、「安否確認等の声掛け」が 24.2%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、80 歳代以上で「話し相手」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	ごみ出し	買い物の支援	食事をつくる	話し相手	病院・施設への送迎	同行 散歩や外出の	声掛け 安否確認等の
性別	男性	541	8.5	3.1	0.9	10.9	3.9	0.9	23.3
	女性	581	4.5	3.1	0.7	14.1	4.6	0.9	25.1
年代別	10歳代	36	5.6	0.0	2.8	8.3	0.0	0.0	19.4
	20歳代	70	8.6	1.4	0.0	7.1	2.9	0.0	18.6
	30歳代	145	9.7	0.0	0.0	9.7	1.4	0.0	27.6
	40歳代	199	5.0	1.5	1.0	7.5	2.5	0.0	25.6
	50歳代	148	2.7	4.7	1.4	8.8	5.4	0.7	33.8
	60歳代	250	6.4	4.0	0.8	15.6	4.0	1.6	24.8
	70歳代	233	6.9	4.7	0.9	16.7	7.7	1.7	15.9
	80歳代以上	42	11.9	7.1	0.0	35.7	9.5	2.4	31.0
地域別	袋井北部	287	4.2	1.7	0.3	13.2	3.1	1.0	27.5
	袋井中部	280	8.9	2.1	1.4	11.8	2.9	1.4	24.6
	袋井南部	261	6.9	4.2	0.4	13.8	4.2	0.4	21.1
	浅羽地区	290	5.5	4.5	1.0	11.7	6.2	0.7	23.8

区分		N=	子どもの預かり	介護の支援	地域活動の支援・充実	被災時の支援	その他	特になし	不明・無回答
性別	男性	541	2.6	5.0	23.5	33.3	2.4	36.4	3.0
	女性	581	4.5	4.5	18.4	38.6	2.6	35.5	3.1
年代別	10歳代	36	0.0	0.0	13.9	30.6	0.0	50.0	2.8
	20歳代	70	7.1	4.3	14.3	32.9	0.0	41.4	5.7
	30歳代	145	9.0	2.1	15.2	40.0	2.8	35.9	2.8
	40歳代	199	8.0	4.0	18.1	38.2	4.0	41.7	2.5
	50歳代	148	1.4	4.7	18.2	44.6	3.4	32.4	3.4
	60歳代	250	1.2	5.6	27.2	36.4	2.4	32.4	2.0
	70歳代	233	0.4	6.9	26.2	27.9	1.7	35.2	3.4
	80歳代以上	42	0.0	4.8	16.7	31.0	2.4	19.0	4.8
地域別	袋井北部	287	4.2	3.8	22.0	34.1	2.1	35.9	3.5
	袋井中部	280	2.5	4.3	22.9	42.1	2.1	33.9	2.1
	袋井南部	261	2.7	4.6	19.9	34.5	3.1	36.0	4.6
	浅羽地区	290	4.8	5.9	19.7	33.1	2.8	37.2	2.1

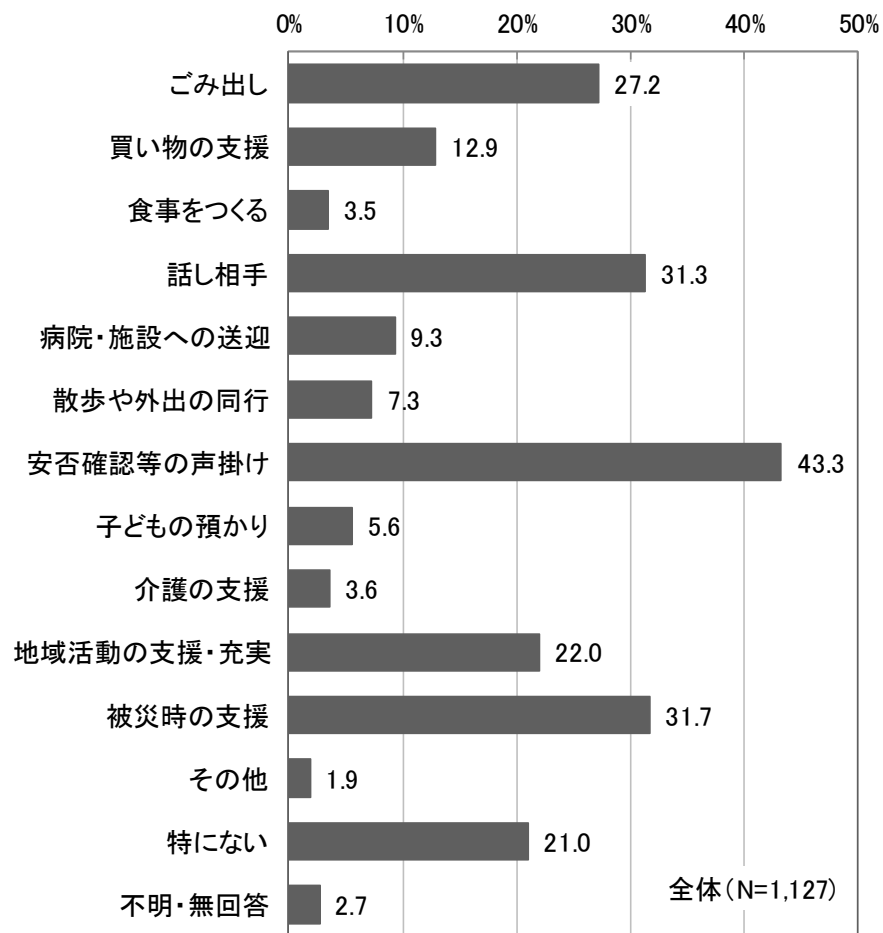
問 18 あなたは、現在お住まいの地域で生活するにあたって、地域や地域の人々のためにできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「安否確認等の声掛け」が43.3%と最も高く、次いで「被災時の支援」が31.7%、「話し相手」が31.3%となっています。

性別では、男性で「地域活動の支援・充実」が29.4%と女性に比べて14.1ポイント高く、男性で「被災時の支援」が37.0%と女性に比べて10.1ポイント高くなっています。

年代別では、10歳代、20歳代、80歳代以上で「安否確認等の声掛け」が他の年代と比べて低くなっています。なお、20歳代で「特にない」が3割台前半となっています。

地域別では、大差はみられません



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	ごみ出し	買い物の支援	食事をつくる	話し相手	病院・施設への送迎	同行散歩や外出の	安否確認等の声掛け
性別	男性	541	26.4	9.8	2.0	26.4	9.8	5.5	39.2
	女性	581	28.1	15.8	4.6	36.0	9.0	8.8	47.3
年代別	10歳代	36	27.8	2.8	0.0	30.6	2.8	2.8	25.0
	20歳代	70	17.1	5.7	2.9	34.3	2.9	1.4	24.3
	30歳代	145	20.0	11.0	3.4	31.7	6.9	2.1	43.4
	40歳代	199	26.6	12.1	2.0	27.1	7.5	4.5	49.2
	50歳代	148	30.4	14.2	2.0	30.4	12.8	6.8	52.0
	60歳代	250	30.8	17.6	6.0	31.6	11.6	12.8	48.0
	70歳代	233	30.5	13.7	4.3	34.8	11.2	9.4	39.9
	80歳代以上	42	23.8	4.8	0.0	31.0	7.1	9.5	23.8
地域別	袋井北部	287	26.5	9.8	3.8	32.1	7.0	5.2	43.2
	袋井中部	280	31.4	12.1	2.5	28.9	10.4	8.6	46.8
	袋井南部	261	27.6	15.3	3.1	31.4	8.4	6.9	40.6
	浅羽地区	290	23.8	14.8	4.1	33.1	11.7	8.3	43.1
区分		N=	子どもの預かり	介護の支援	地域活動の支援・充実	被災時の支援	その他	特になし	不明・無回答
性別	男性	541	3.0	3.1	29.4	37.0	2.0	21.3	1.8
	女性	581	8.1	4.0	15.3	26.9	1.7	20.8	3.3
年代別	10歳代	36	2.8	0.0	13.9	36.1	2.8	16.7	0.0
	20歳代	70	4.3	2.9	12.9	38.6	1.4	32.9	0.0
	30歳代	145	11.0	3.4	11.7	33.1	0.7	25.5	0.7
	40歳代	199	8.0	2.5	22.1	37.7	2.0	20.1	0.5
	50歳代	148	5.4	4.1	26.4	32.4	2.0	19.6	1.4
	60歳代	250	4.0	6.4	29.2	34.0	2.4	18.8	2.0
	70歳代	233	3.9	3.0	23.2	24.0	1.7	18.9	5.6
	80歳代以上	42	0.0	0.0	14.3	9.5	2.4	26.2	14.3
地域別	袋井北部	287	5.2	2.8	22.3	34.1	2.4	18.5	3.8
	袋井中部	280	3.9	5.0	20.7	34.6	1.8	23.6	2.9
	袋井南部	261	6.1	2.3	21.1	28.0	1.9	19.9	1.9
	浅羽地区	290	7.2	4.5	24.1	30.0	1.4	22.1	1.7

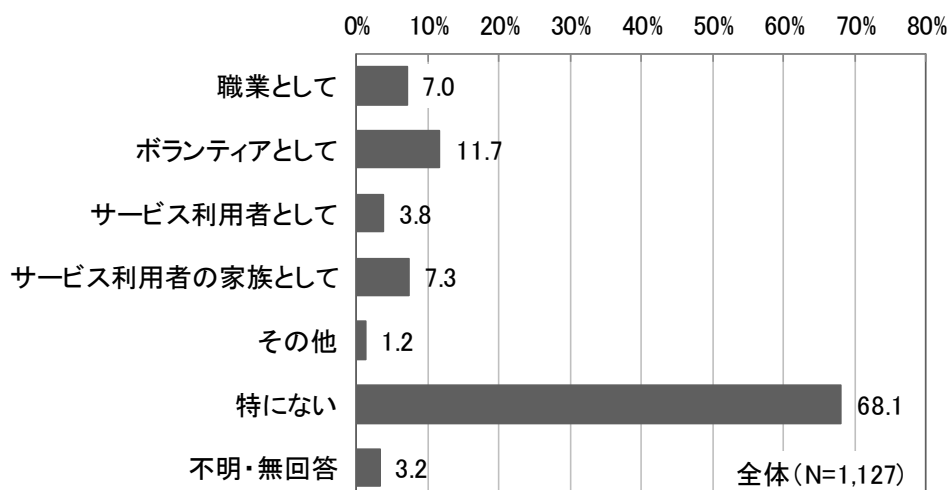
問 19 あなたは現在、社会福祉とどのような関わりをお持ちですか。

(あてはまるものすべてに○)

全体では「特にない」が68.1%と最も高く、次いで「ボランティアとして」が11.7%、「サービス利用者の家族として」が7.3%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、20歳代で「職業として」、70歳代で「ボランティアとして」が他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

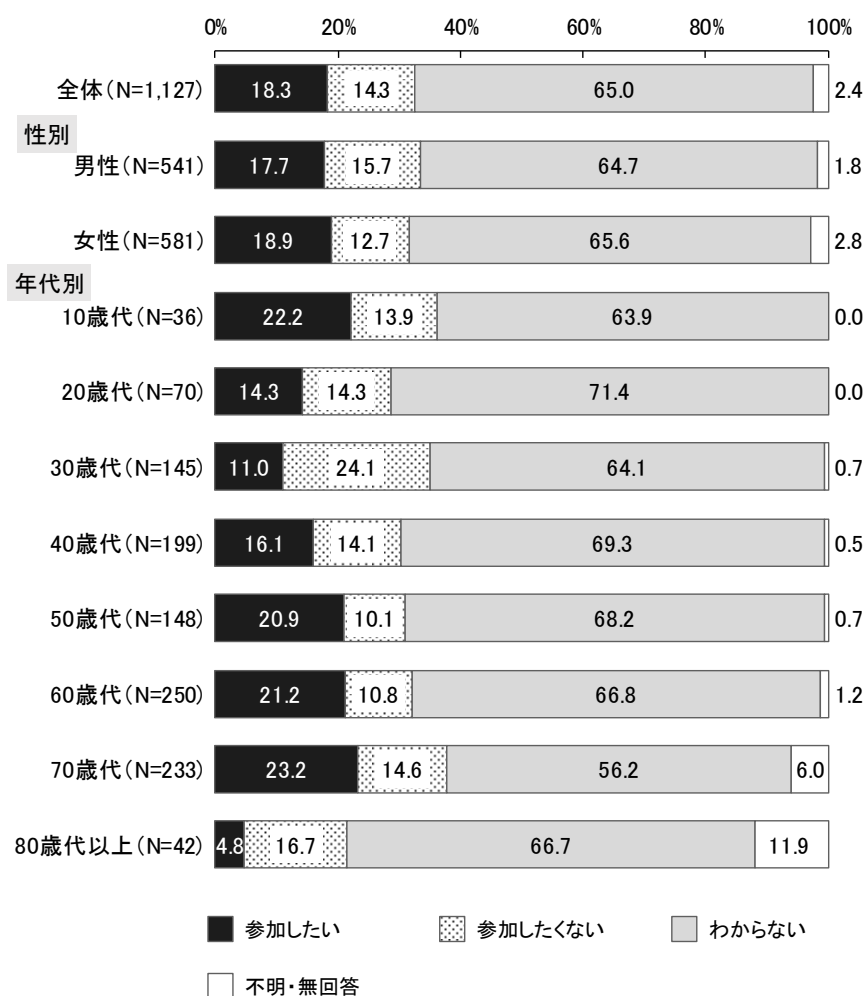
区分	N=	職業として	ボランティアとして	サービス利用者として	サービス利用者の家族として	その他	特にない	不明・無回答
性別	男性	4.1	13.5	3.5	6.3	0.9	72.1	2.2
	女性	9.8	10.0	4.1	8.3	1.5	64.5	4.0
年代別	10歳代	0.0	13.9	2.8	0.0	0.0	83.3	0.0
	20歳代	18.6	1.4	4.3	1.4	0.0	72.9	2.9
	30歳代	9.0	4.1	4.8	2.1	0.7	80.7	0.7
	40歳代	7.5	5.5	3.0	5.0	1.0	78.9	0.5
	50歳代	8.8	8.8	4.7	14.2	2.0	66.9	0.7
	60歳代	6.0	14.8	2.4	12.0	1.6	64.4	1.2
	70歳代	4.3	22.7	4.3	7.3	1.3	54.5	7.7
	80歳代以上	0.0	14.3	7.1	0.0	2.4	54.8	21.4

問 20 あなたは今後、社会福祉に関わるボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

全体では「わからない」が65.0%と最も高く、次いで「参加したい」が18.3%、「参加したくない」が14.3%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、80歳代以上で「参加したい」が他の年代と比べて低くなっています。

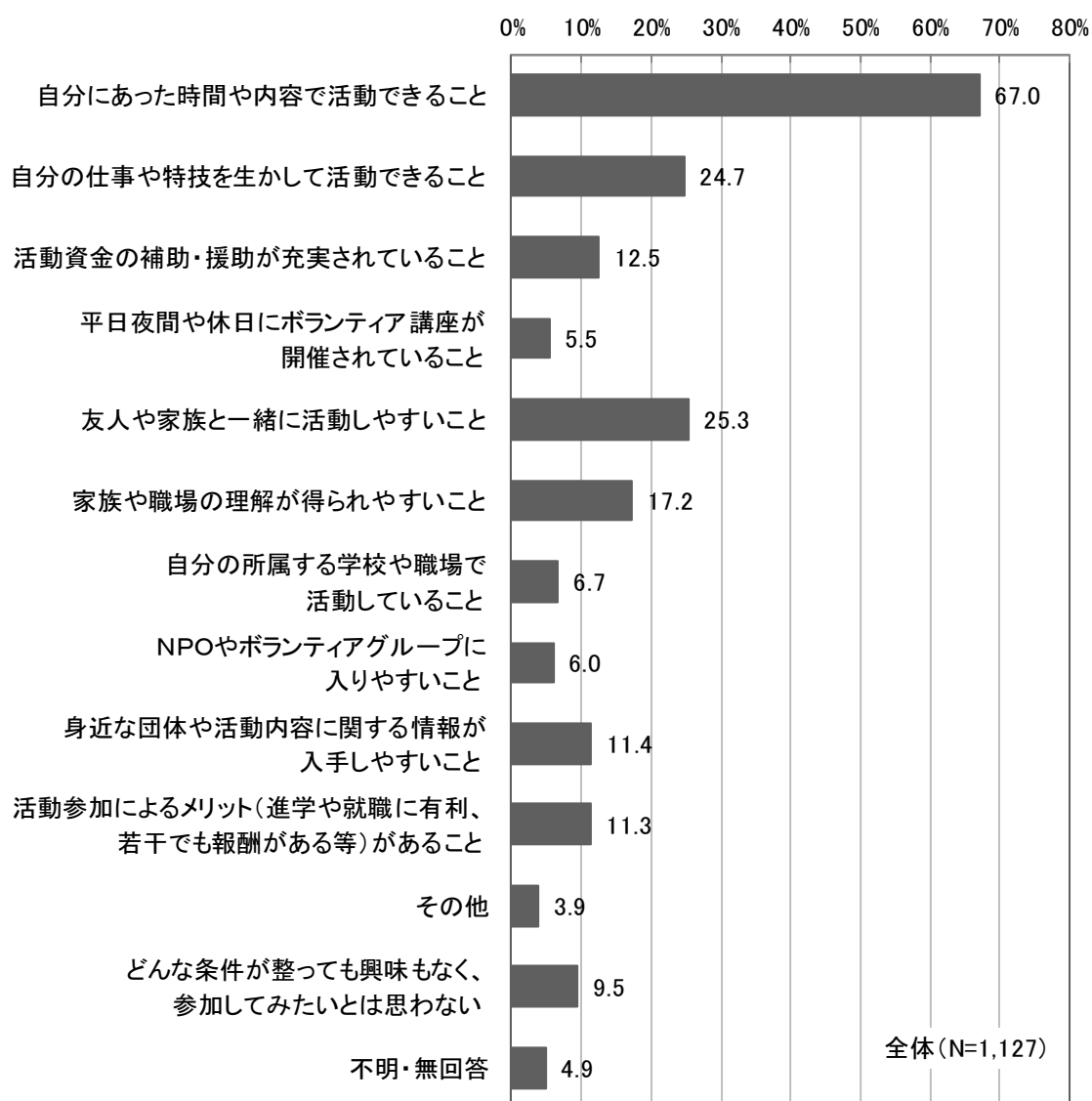


問 21 あなたは、どのような条件が整えば社会福祉に関わるボランティア活動に参加できますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「自分にあった時間や内容で活動できること」が67.0%と最も高く、次いで「友人や家族と一緒に活動しやすいこと」が25.3%、「自分の仕事や特技を生かして活動できること」が24.7%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、10歳代で「友人や家族と一緒に活動しやすいこと」「自分の所属する学校や職場で活動していること」が他の年代と比べて高くなっています。なお、概ね年代が上がるにつれて「活動参加によるメリット(進学や就職に有利、若干でも報酬がある等)があること」が低くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	自分にあつた時間や内容で活動できること	自分の仕事や特技を生かして活動できること	活動資金の補助・援助が充実されていること	平日夜間や休日にボランティア講座が開催されていること	友人や家族と一緒に活動しやすいこと	家族や職場の理解が得られやすいこと	自分の所属する学校や職場で活動していること
性別	男性	541	64.0	27.7	13.5	3.9	23.7	16.6	5.9
	女性	581	70.1	21.9	11.7	7.1	26.9	17.7	7.4
年代別	10歳代	36	66.7	22.2	8.3	5.6	58.3	2.8	38.9
	20歳代	70	65.7	18.6	24.3	5.7	38.6	20.0	10.0
	30歳代	145	66.2	22.8	14.5	7.6	29.0	19.3	9.0
	40歳代	199	68.3	26.1	17.1	8.5	27.1	26.6	12.1
	50歳代	148	75.7	29.7	18.9	7.4	18.9	29.1	6.8
	60歳代	250	72.0	27.2	11.2	6.0	21.6	17.2	1.6
	70歳代	233	60.1	23.2	4.3	0.9	20.2	4.7	0.9
	80歳代以上	42	45.2	9.5	0.0	0.0	26.2	2.4	2.4
区分		N=	NPOやボランティアグループに入りやすいこと	身近な団体や活動内容に関する情報が入手しやすいこと	活動参加によるメリット(進学や就職に有利・若干でも報酬がある等)があること	その他	どんな条件が整っても興味もなく、参加してみたいとは思わない	不明・無回答	
性別	男性	541	5.7	10.2	10.9	3.1	10.7	4.6	
	女性	581	6.4	12.7	11.5	4.6	8.3	5.0	
年代別	10歳代	36	0.0	2.8	30.6	0.0	5.6	0.0	
	20歳代	70	4.3	10.0	24.3	0.0	8.6	1.4	
	30歳代	145	5.5	9.7	24.8	4.8	13.8	1.4	
	40歳代	199	8.5	13.1	17.6	2.5	9.0	1.0	
	50歳代	148	11.5	16.2	10.1	2.7	5.4	2.7	
	60歳代	250	4.8	15.6	4.0	2.8	10.0	6.0	
	70歳代	233	4.7	7.7	1.3	7.3	10.3	8.6	
	80歳代以上	42	0.0	0.0	0.0	9.5	9.5	23.8	



## 5. 災害時の対応について\*\*\*\*\*

問 22 あなたの防災に対する日ごろからの取り組みや、災害等の緊急時の対応について、あてはまるものはどれですか。（それぞれ1つだけ○）

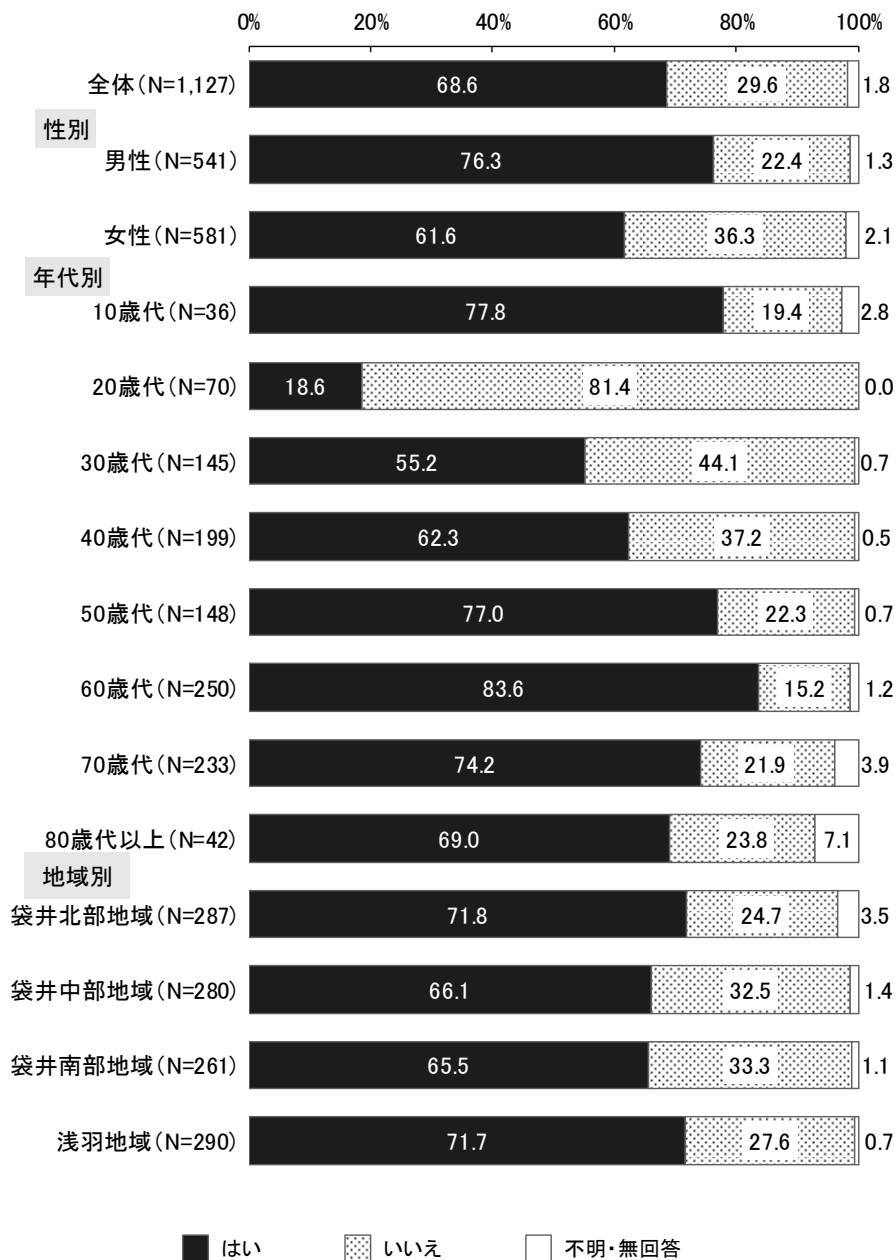
### ① 地域の防災訓練に参加していますか。

全体では「はい」が68.6%、「いいえ」が29.6%となっています。

性別では、男性で「はい」が76.3%と女性に比べて14.7ポイント高くなっています。

年代別では、20歳代で「いいえ」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、大差はみられません。

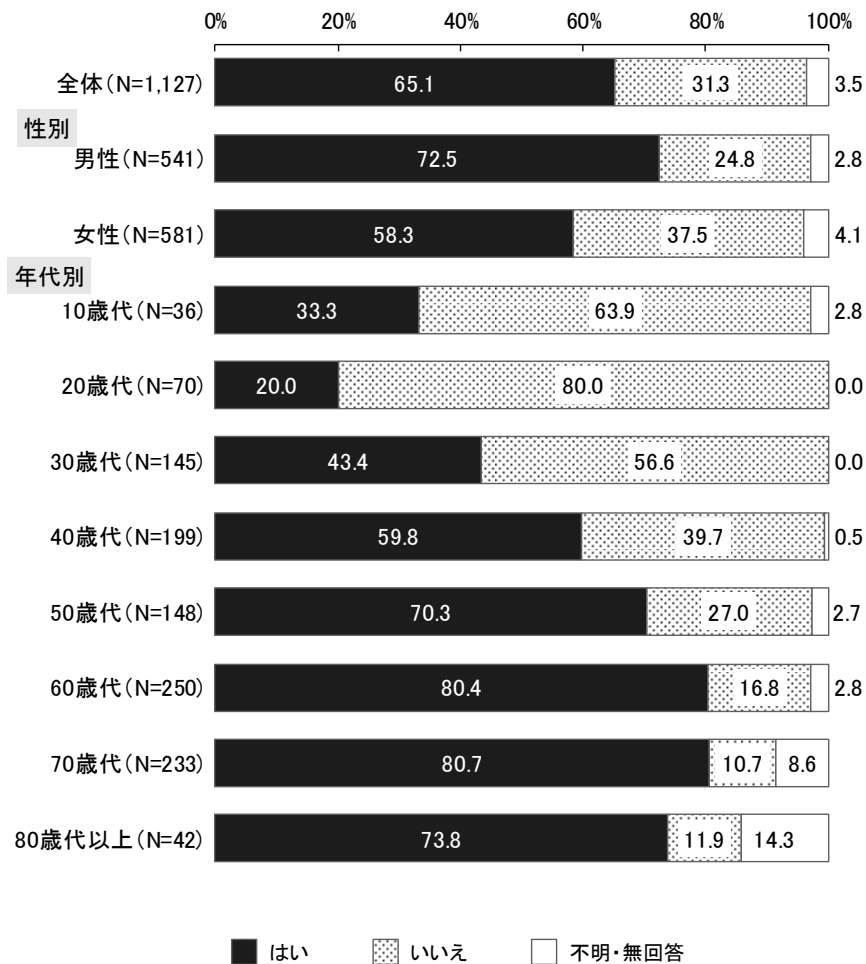


## ② 自主防災組織を知っていますか。

全体では「はい」が65.1%、「いいえ」が31.3%となっています。

性別では、男性で「はい」が72.5%と女性に比べて14.2ポイント高くなっています。

年代別では、20歳代から70歳代で年代が上がるにつれて「はい」が高くなっています。

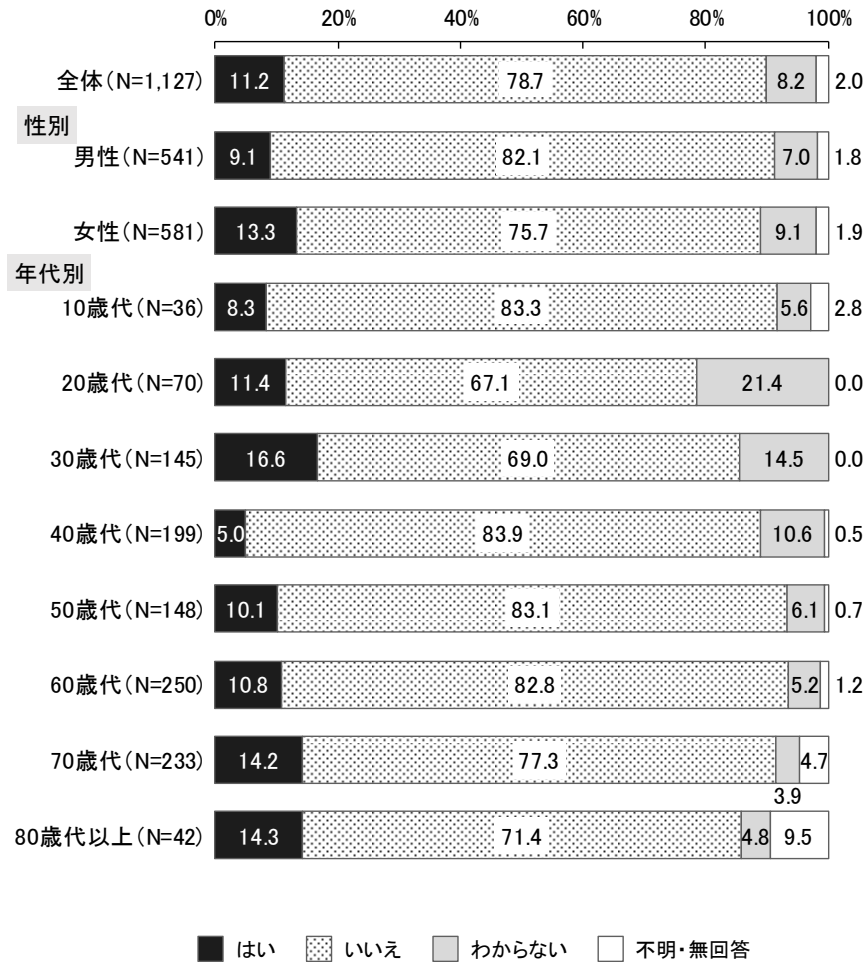


③ 災害等の緊急時に、避難所への誘導等の手助けが必要ですか。

全体では「いいえ」が78.7%と最も高く、次いで「はい」が11.2%、「わからない」が8.2%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、大差はみられません。

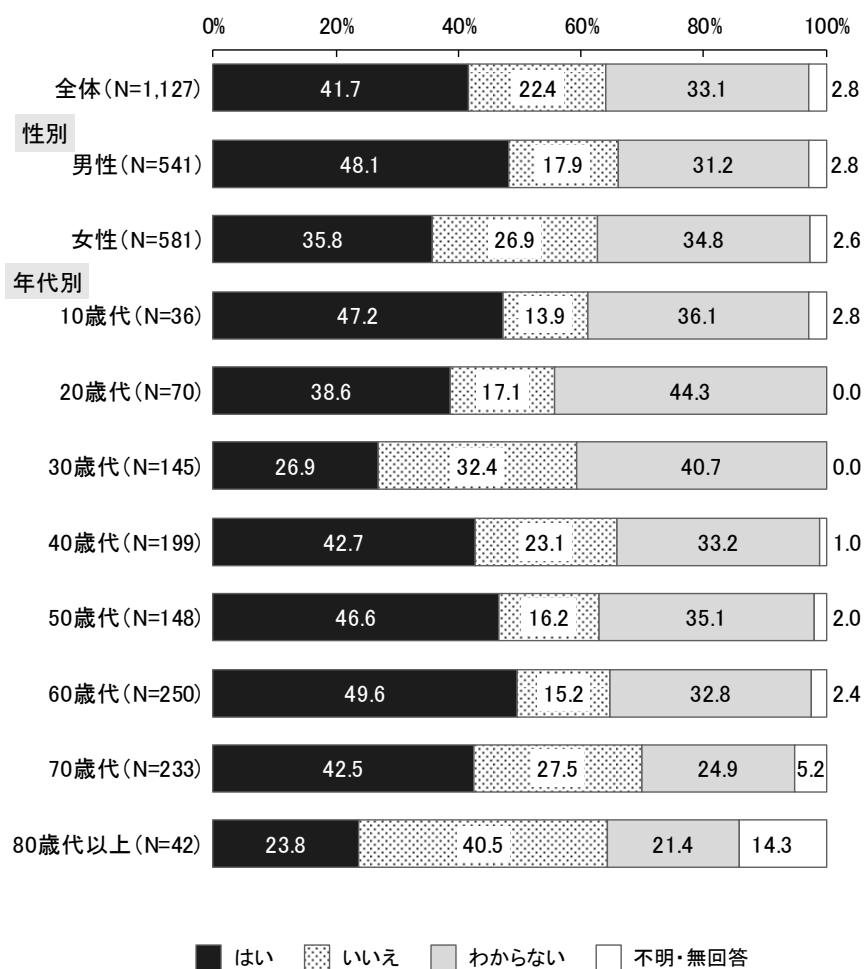


④ 災害等の緊急時に、高齢者世帯や障がい者（児）等の避難行動要支援者の避難等の手助けができますか。

全体では「はい」が41.7%と最も高く、次いで「わからない」が33.1%、「いいえ」が22.4%となっています。

性別では、男性で「はい」が48.1%と女性に比べて12.3ポイント高くなっています。

年代別では、30歳代、80歳代以上で「いいえ」が他の年代と比べて高くなっています。



問 23 災害時の備えとして、どのようなことをしていますか。

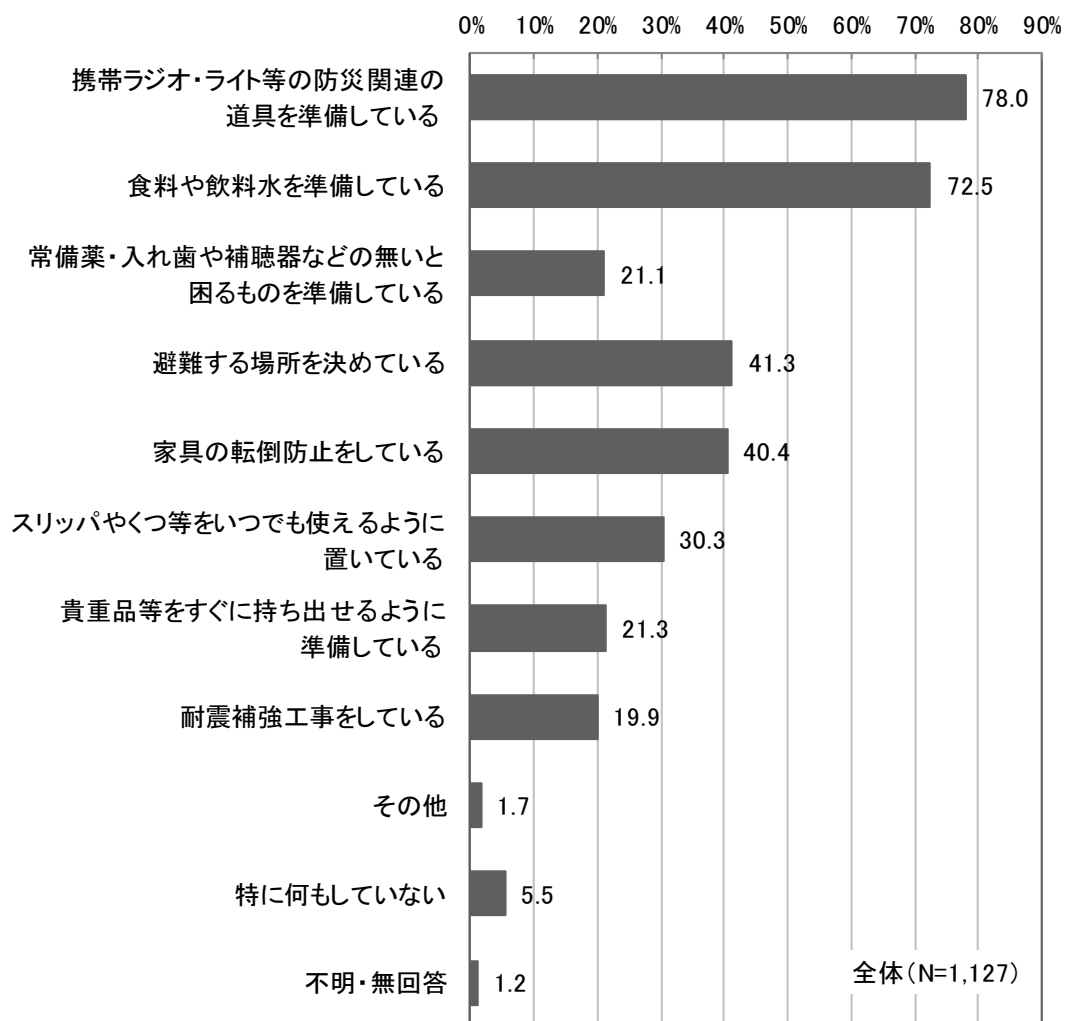
(あてはまるものすべてに○)

全体では「携帯ラジオ・ライト等の防災関連の道具を準備している」が 78.0%と最も高く、次いで「食料や飲料水を準備している」が 72.5%、「避難する場所を決めている」が 41.3%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、20 歳代で「特に何もしていない」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	携帯ラジオ・ライト等の防災関連の 道具を準備している	食料や飲料水を準備している	常備薬・入れ歯や補聴器などの無い と困るものを準備している	避難する場所を決めている	家具の転倒防止をしている	スリッパやくつ等をいつでも使える ように置いている	貴重品等をすぐに持ち出せるよう に準備している	耐震補強工事をしている	その他	特に何もしていない	不明・無回答
性別	男性	541	77.1	73.9	19.0	41.8	40.5	28.1	20.0	18.1	1.8	5.9	0.9
	女性	581	79.2	71.3	23.2	40.6	40.3	32.7	22.4	21.7	1.5	5.2	1.4
年代別	10歳代	36	72.2	72.2	16.7	55.6	27.8	22.2	19.4	25.0	2.8	5.6	0.0
	20歳代	70	50.0	55.7	8.6	30.0	24.3	20.0	24.3	10.0	0.0	17.1	0.0
	30歳代	145	71.0	77.9	22.8	32.4	22.8	27.6	15.2	19.3	2.8	4.8	0.0
	40歳代	199	79.4	70.9	20.1	42.2	37.2	28.1	15.6	14.1	2.5	6.0	0.5
	50歳代	148	83.1	76.4	14.2	39.2	39.9	23.6	19.6	15.5	1.4	6.1	0.7
	60歳代	250	82.4	74.4	21.2	42.4	46.0	32.0	19.6	22.4	2.4	4.0	0.8
	70歳代	233	82.0	72.5	27.0	46.4	53.6	39.5	30.0	28.3	0.4	3.4	2.6
80歳代以上	42	81.0	66.7	35.7	45.2	47.6	38.1	33.3	16.7	0.0	4.8	7.1	
地域別	袋井北部	287	79.4	73.5	22.0	43.6	44.9	30.7	22.3	20.2	2.4	3.8	1.7
	袋井中部	280	77.9	69.3	19.6	34.3	38.6	27.1	20.0	18.6	2.1	6.8	1.1
	袋井南部	261	82.0	77.0	24.1	41.8	38.7	33.7	19.9	23.0	1.1	3.8	0.8
	浅羽地区	290	73.4	71.7	19.7	45.5	39.3	30.3	23.1	18.3	1.0	7.2	1.0

## 問 24 災害に対して、地域で最も必要だと思う備えはどれだと思いますか。

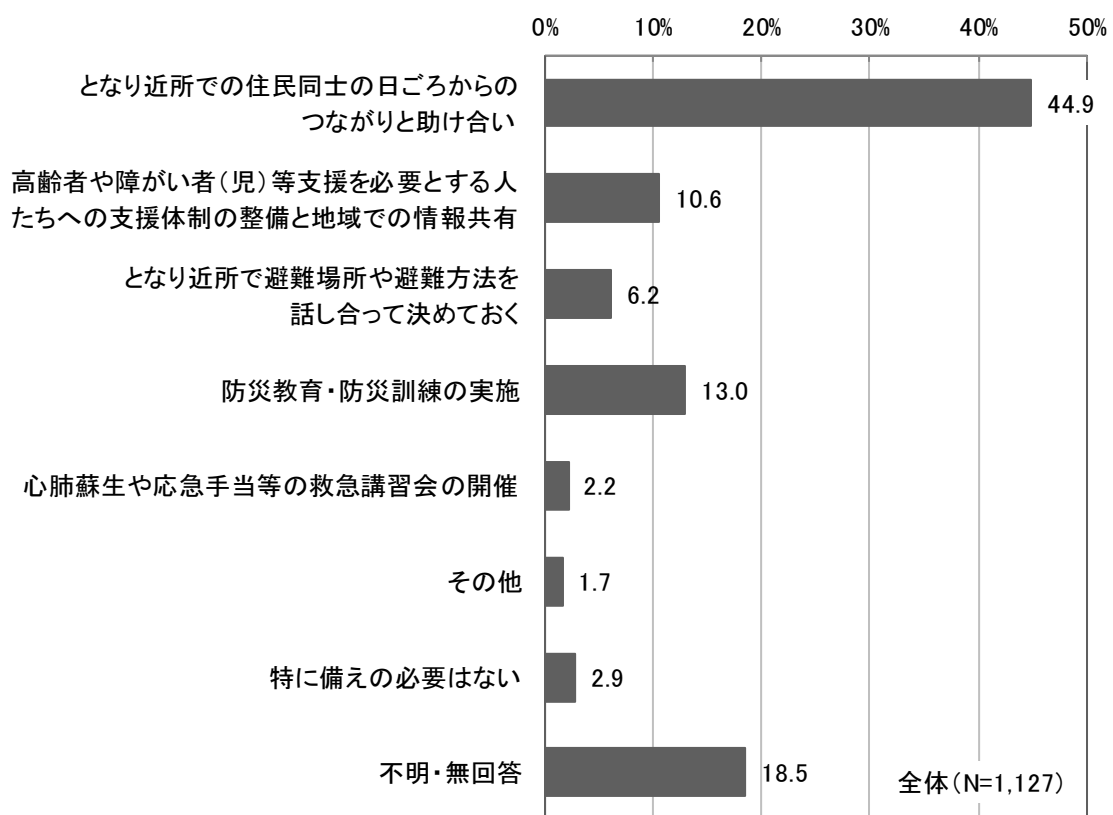
(○は1つだけ)

全体では「となり近所での住民同士の日ごろからのつながりと助け合い」が44.9%と最も高く、次いで「防災教育・防災訓練の実施」が13.0%、「高齢者や障がい者（児）等支援を必要とする人たちへの支援体制の整備と地域での情報共有」が10.6%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、概ね年代が上がるにつれて「となり近所での住民同士の日ごろからのつながりと助け合い」が高くなっています。

地域別では、大差はみられません



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	となり近所での住民同士の日ごろからのつながりと助け合い	高齢者や障がい者(児)等支援を必要とする人々への支援体制の整備と地域での情報共有	となり近所で避難場所や避難方法を話し合っ決めておく	防災教育・防災訓練の実施	心肺蘇生や応急手当等の救急講習会の開催	その他	特に備えの必要はない	不明・無回答
性別	男性	541	42.7	10.4	5.4	15.5	2.4	2.0	3.7	17.9
	女性	581	46.8	10.7	7.1	10.8	2.1	1.4	2.2	18.9
年代別	10歳代	36	30.6	11.1	8.3	36.1	5.6	0.0	0.0	8.3
	20歳代	70	34.3	14.3	8.6	10.0	4.3	0.0	4.3	24.3
	30歳代	145	34.5	11.7	4.1	17.2	2.8	5.5	5.5	18.6
	40歳代	199	37.2	9.5	8.5	14.1	4.0	2.5	3.0	21.1
	50歳代	148	49.3	16.2	6.1	7.4	2.0	1.4	2.0	15.5
	60歳代	250	48.4	9.6	5.2	15.6	0.8	0.0	2.0	18.4
	70歳代	233	53.6	8.6	6.0	9.4	1.3	1.7	3.0	16.3
	80歳代以上	42	61.9	2.4	4.8	4.8	0.0	0.0	2.4	23.8
地域別	袋井北部	287	46.3	7.7	4.9	12.9	2.1	3.5	1.4	21.3
	袋井中部	280	43.6	13.6	7.5	11.8	0.7	0.7	4.3	17.9
	袋井南部	261	43.3	9.6	6.1	12.6	4.6	1.9	2.3	19.5
	浅羽地区	290	46.9	10.7	6.6	15.2	1.7	0.7	3.4	14.8

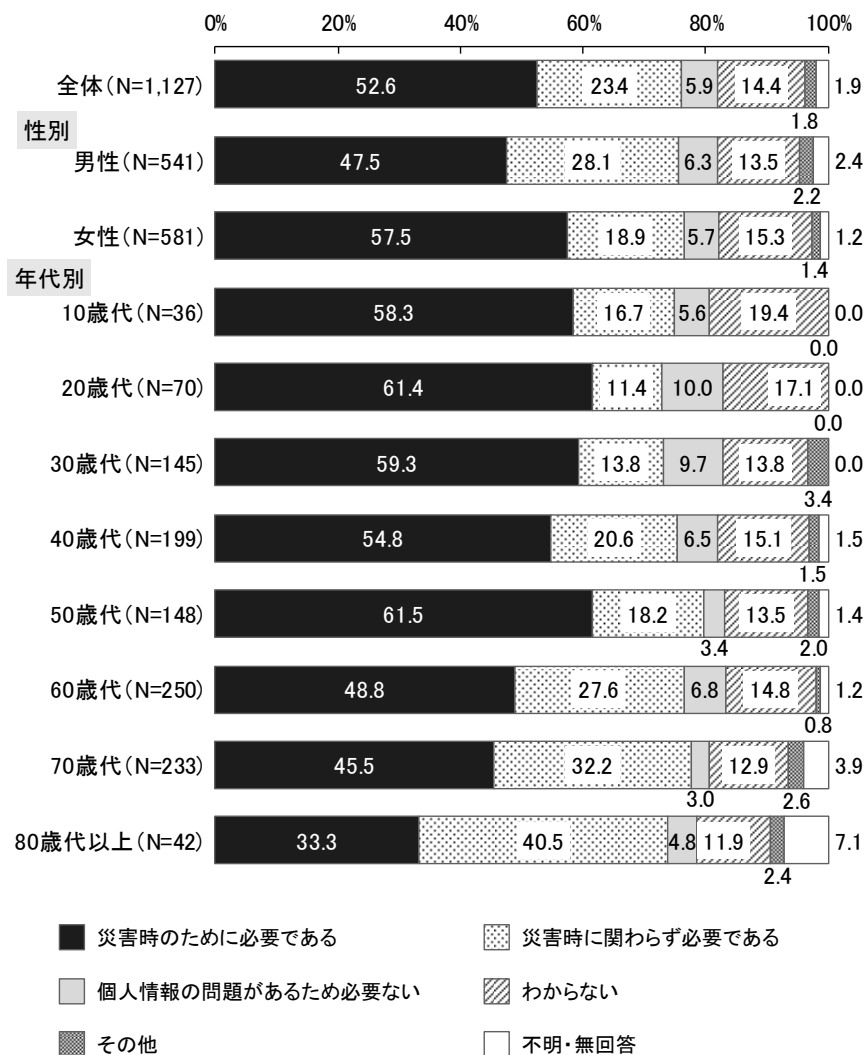


問 25 災害時の支援や安否確認のためにプライバシーの保護に配慮しながら、個人情報情報を地域で共有する必要性が高まっていますが、あなたはどのように考えますか。(○は1つだけ)

全体では「災害時のために必要である」が52.6%と最も高く、次いで「災害時に関わらず必要である」が23.4%、「わからない」が14.4%となっています。

性別では、女性で「災害時のために必要である」が57.5%と男性に比べて10.0ポイント高くなっています。

年代別では、概ね年代が上がるにつれて「災害時に関わらず必要である」が高くなっています。



## 6. 福祉サービス、制度について\*\*\*\*\*

問 26 あなたは、次のサービスや施設について知っていますか。また、あなた自身や家族が利用したことがあれば、その満足の度合いはどの程度ですか。（それぞれ○は1つだけ）

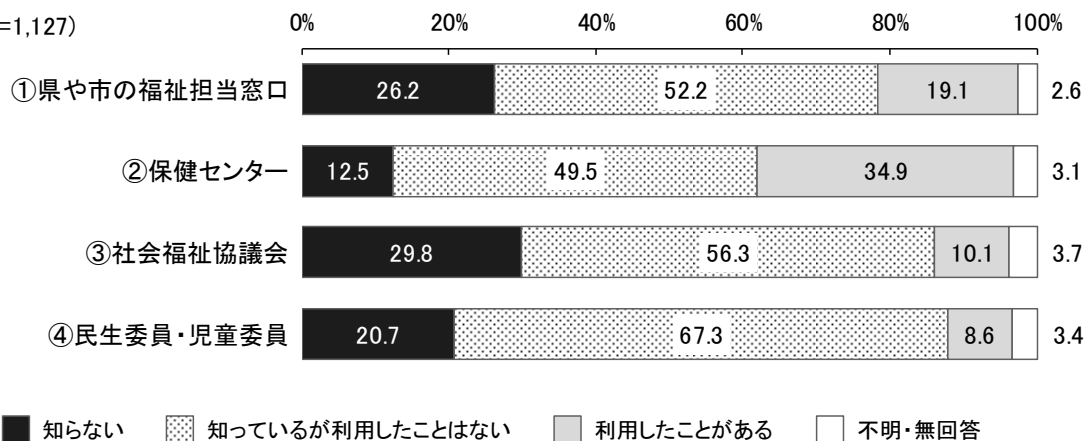
### 【福祉全般について】

【利用度】についてみると、「利用したことがある」では『②保健センター』が34.9%と最も高く、次いで『①県や市の福祉担当窓口』が19.1%、『③社会福祉協議会』が10.1%となっています。「知らない」では『③社会福祉協議会』が29.8%と最も高く、次いで『①県や市の福祉担当窓口』が26.2%、『④民生委員・児童委員』が20.7%となっています。

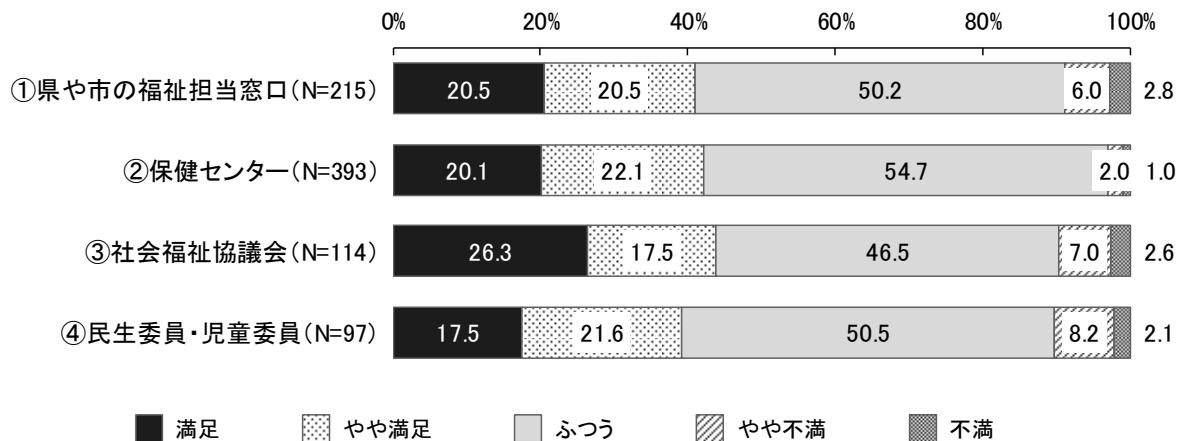
【満足度】についてみると、「満足」と「やや満足」の合計割合では、『③社会福祉協議会』が43.8%と最も高く、次いで『②保健センター』が42.2%、『①県や市の福祉担当窓口』が41.0%となっています。

### 【利用度】

全体(N=1,127)



### 【満足度】

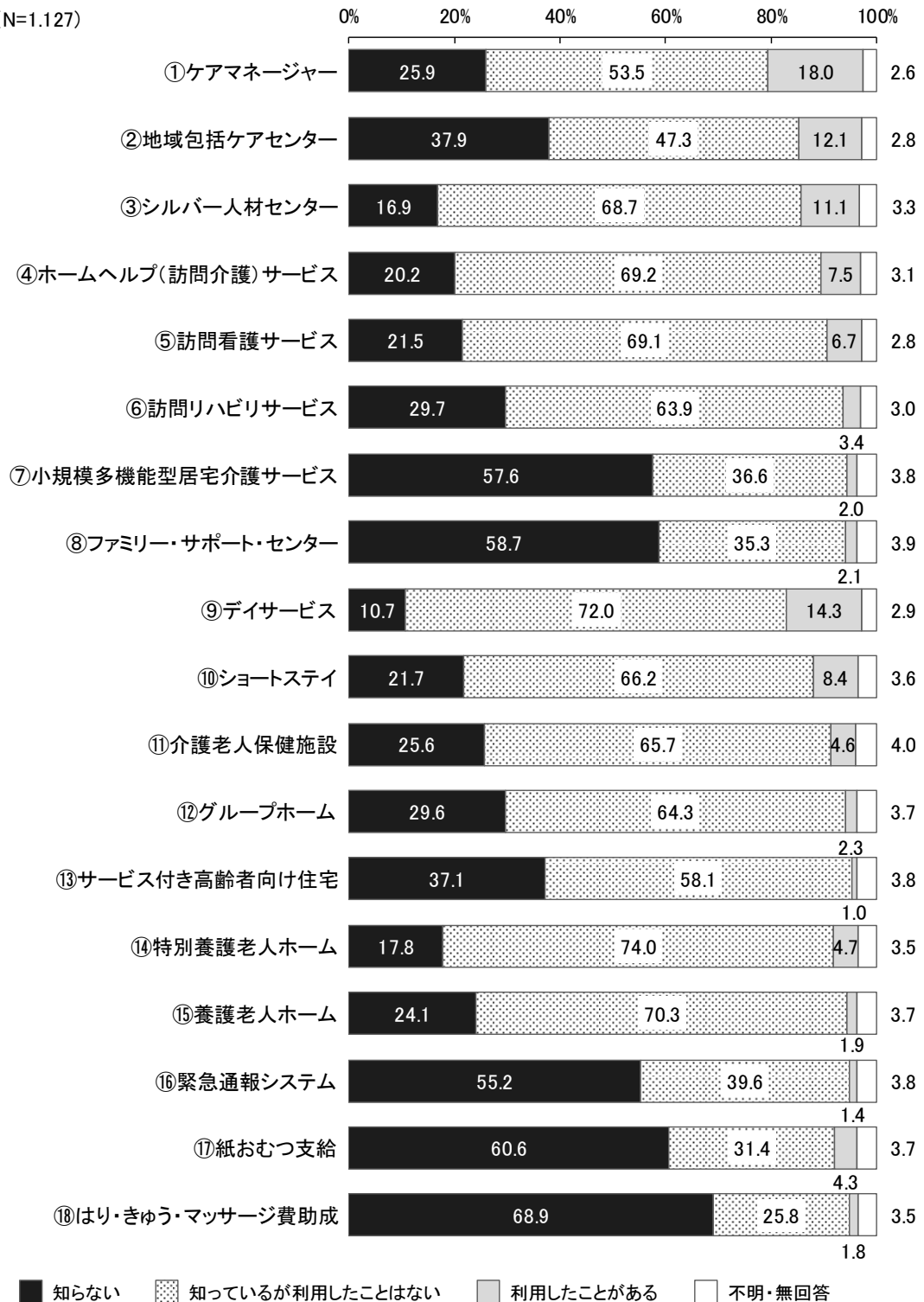


## 【 高齢者福祉について 】

【利用度】についてみると、「利用したことがある」では『①ケアマネージャー』が18.0%と最も高く、次いで『⑨デイサービス』が14.3%、『②地域包括ケアセンター』が12.1%となっています。「知らない」では『⑩はり・きゅう・マッサージ費助成』が68.9%と最も高く、次いで『⑩紙おむつ支給』が60.6%、『⑧ファミリー・サポート・センター』が58.7%となっています。

### 【利用度】

全体(N=1,127)

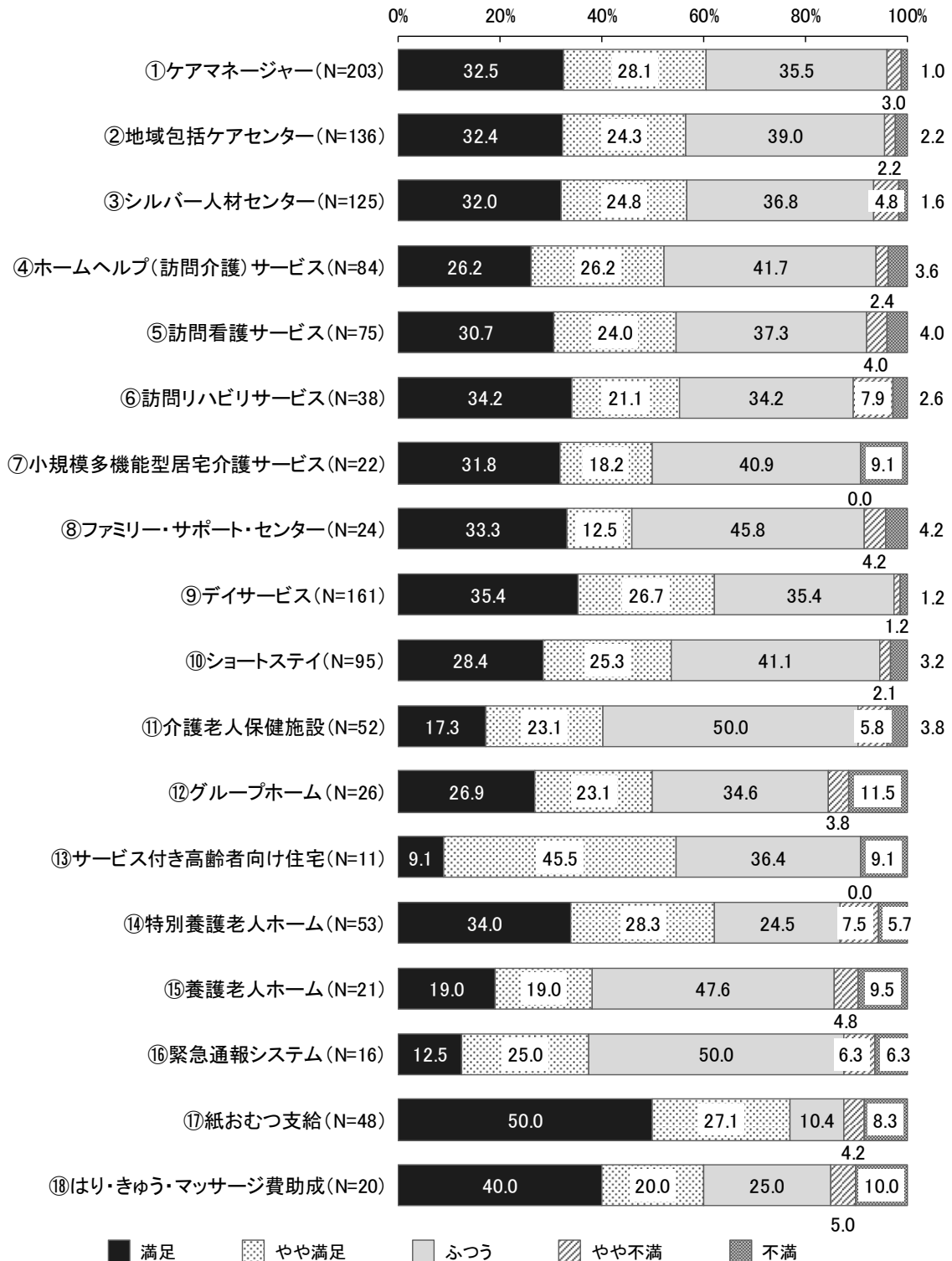


■ 知らない    ▨ 知っているが利用したことはない    ■ 利用したことがある    □ 不明・無回答

## 【 高齢者福祉について 】

【満足度】についてみると、「満足」と「やや満足」の合計割合では、『⑰紙おむつ支給』が77.1%と最も高く、次いで『⑭特別養護老人ホーム』が62.3%、『⑨デイサービス』が62.1%となっています。

### 【満足度】

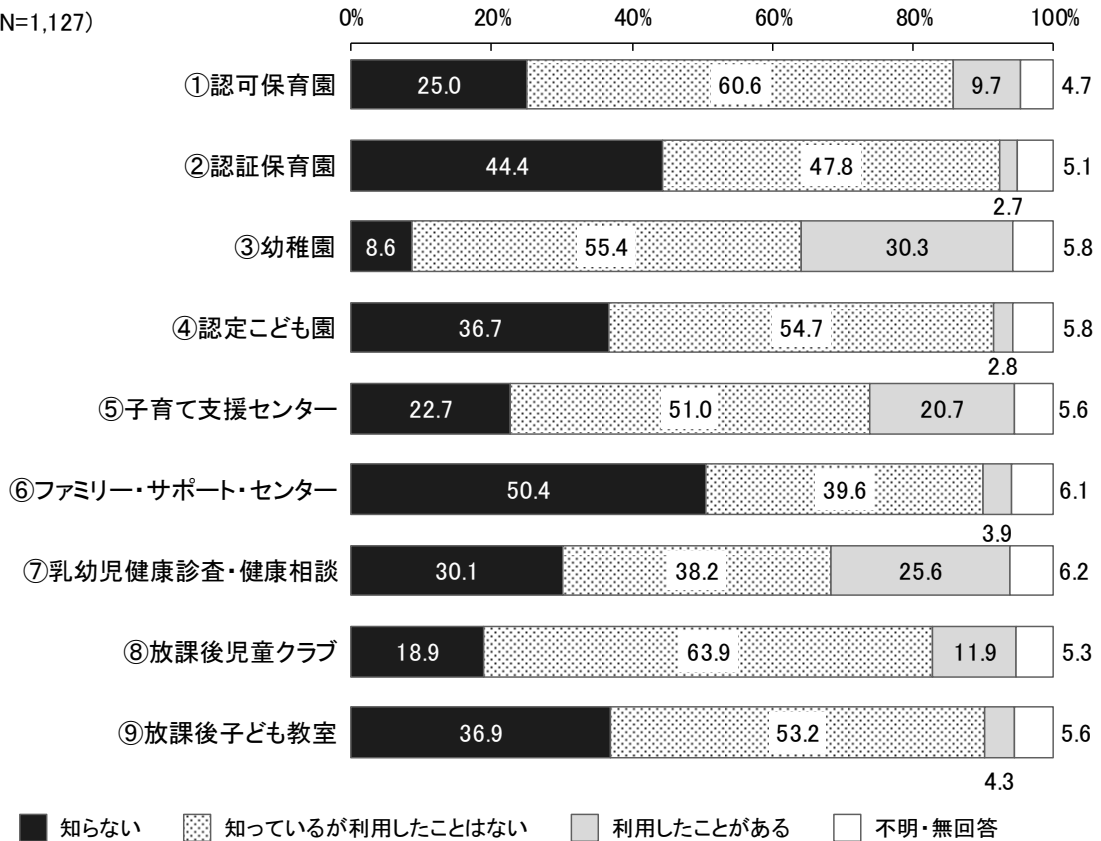


## 【 母子保健・児童福祉について 】

【利用度】についてみると、「利用したことがある」では『③幼稚園』が30.3%と最も高く、次いで『⑦乳幼児健康診査・健康相談』が25.6%、『⑤子育て支援センター』が20.7%となっています。「知らない」では『⑥ファミリー・サポート・センター』が50.4%と最も高く、次いで『②認証保育園』が44.4%、『⑨放課後子ども教室』が36.9%となっています。

### 【利用度】

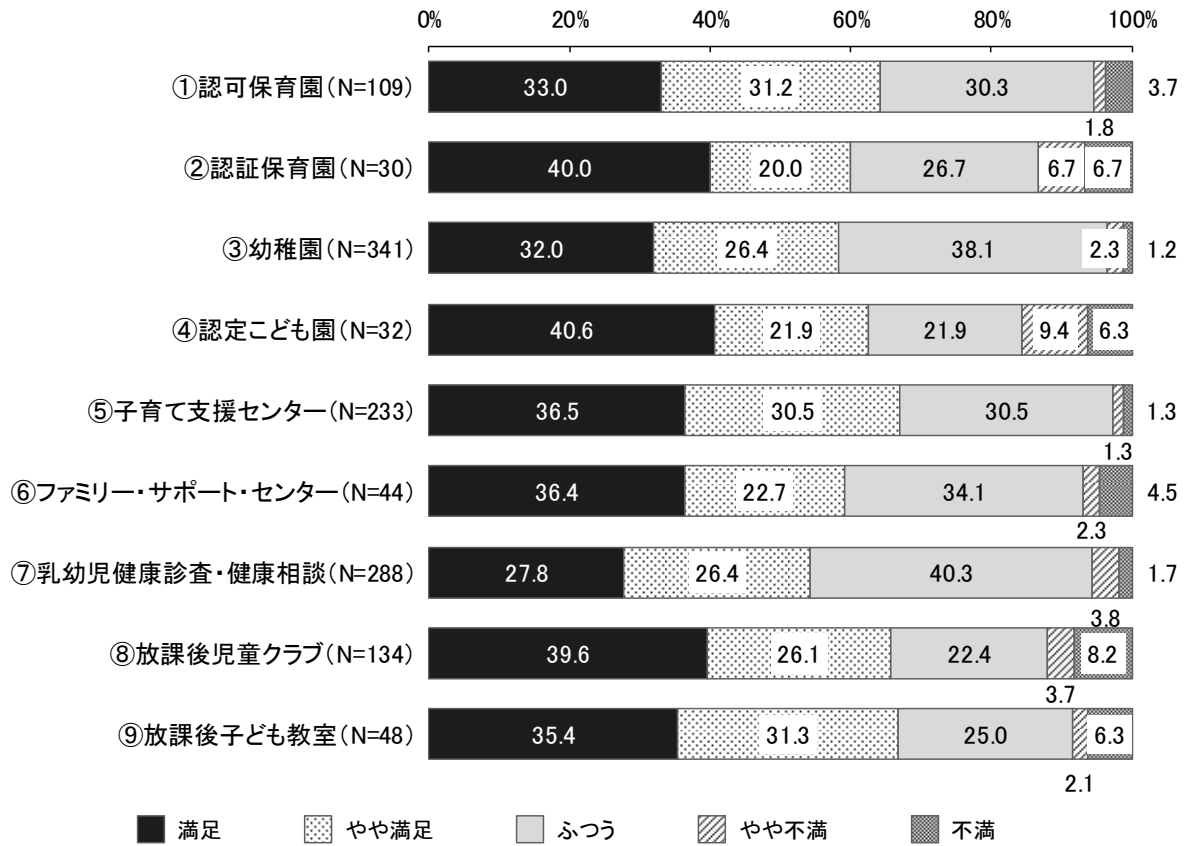
全体(N=1,127)



【 母子保健・児童福祉について 】

【満足度】についてみると、「満足」と「やや満足」の合計割合では、『⑤子育て支援センター』が 67.0%と最も高く、次いで『⑨放課後子ども教室』が 66.7%、『⑧放課後児童クラブ』が 65.7%となっています。

【満足度】

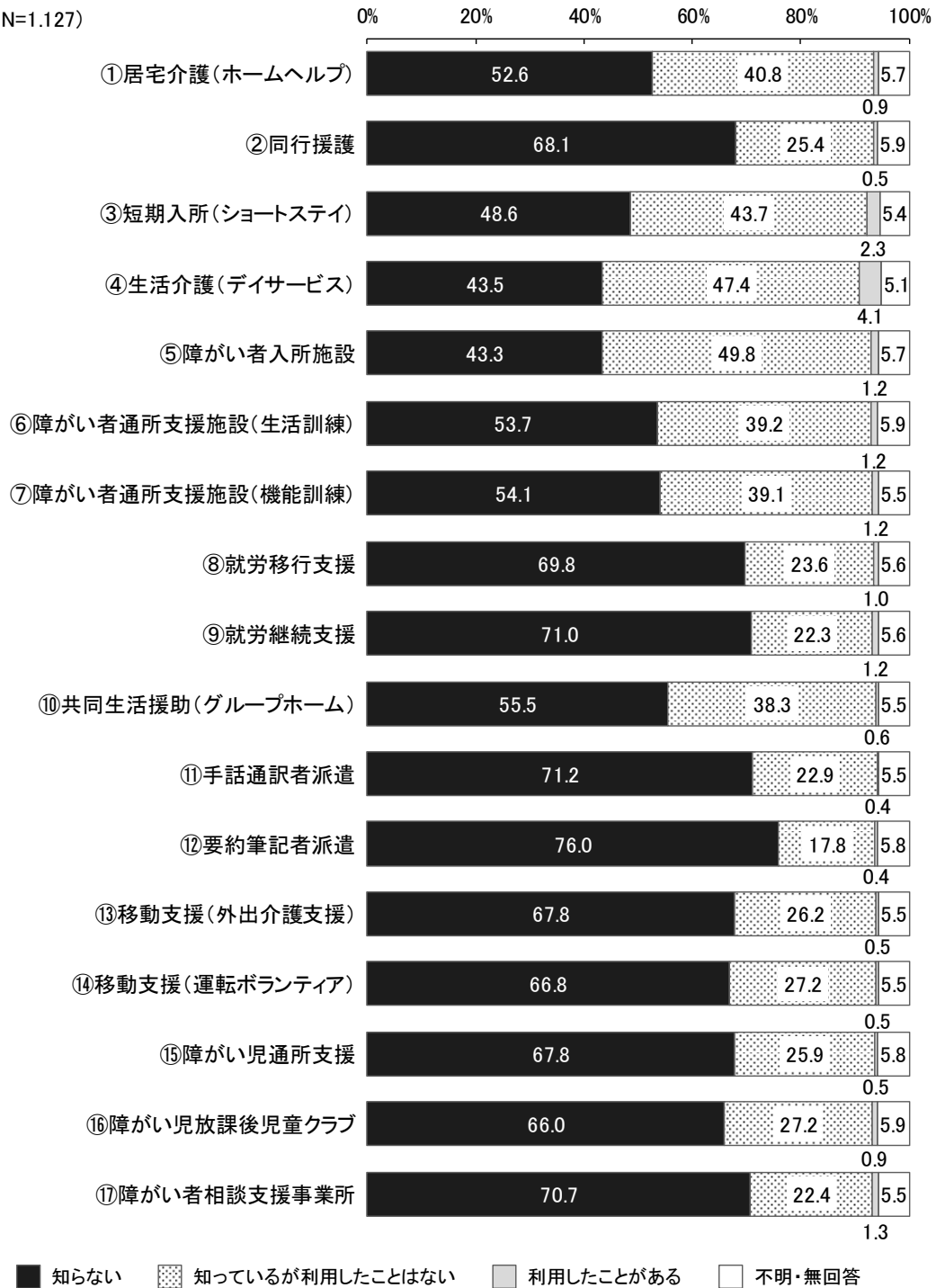


## 【 障がい者（児）福祉について 】

【利用度】についてみると、「利用したことがある」では『④生活介護（デイサービス）』が4.1%と最も高く、次いで『③短期入所（ショートステイ）』が2.3%、『⑰障がい者相談支援事業所』が1.3%となっています。「知らない」では『⑫要約筆記者派遣』が76.0%と最も高く、次いで『⑪手話通訳者派遣』が71.2%、『⑨就労継続支援』が71.0%となっています。

### 【利用度】

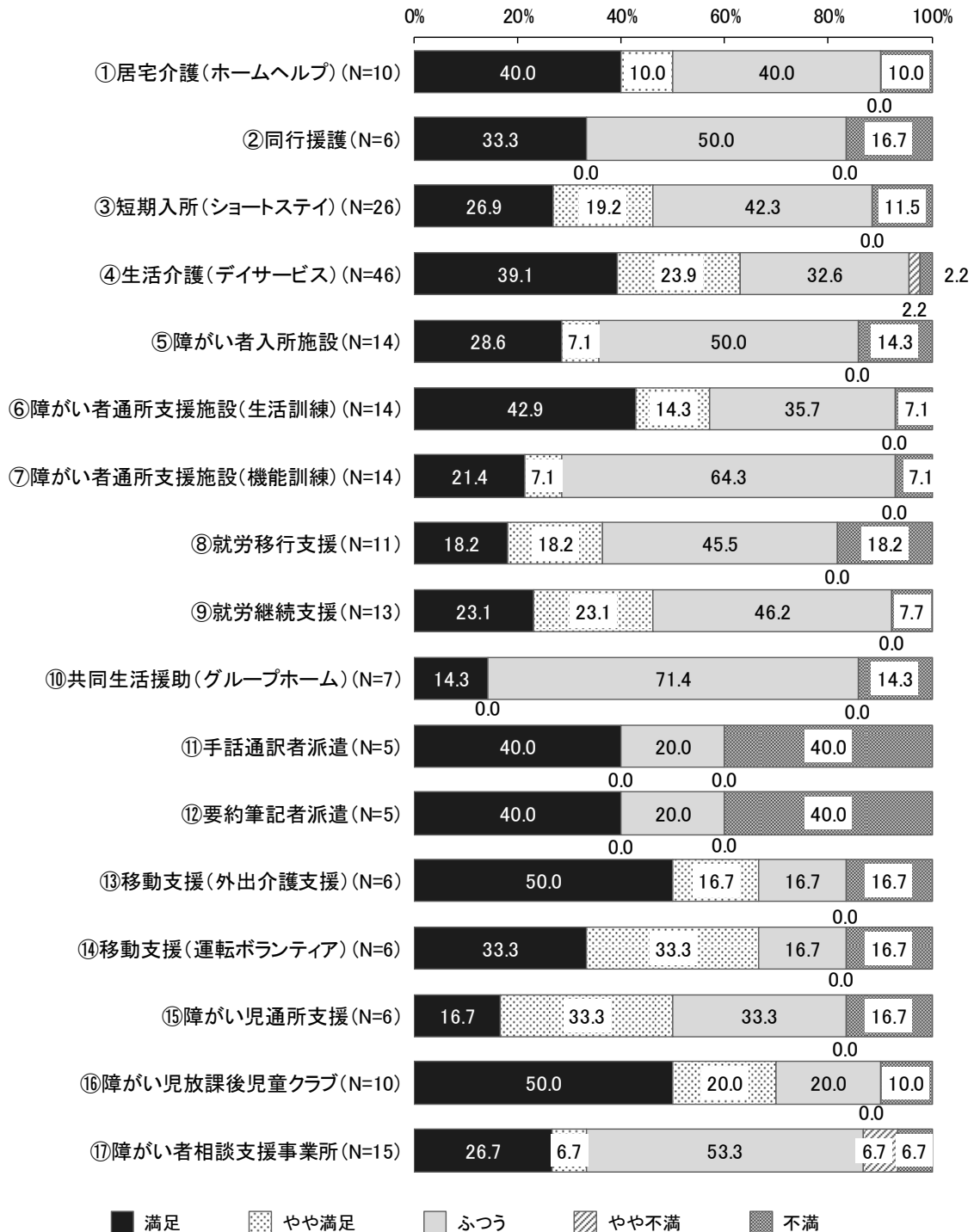
全体(N=1,127)



## 【 障がい者（児）福祉について 】

10 件以上の回答のある【満足度】についてみると、「満足」と「やや満足」の合計割合では、『⑩障がい児放課後児童クラブ』が 70.0%と最も高く、次いで『④生活介護（デイサービス）』が 63.0%、『⑥障がい者通所支援施設（生活訓練）』が 57.2%となっています。

### 【満足度】



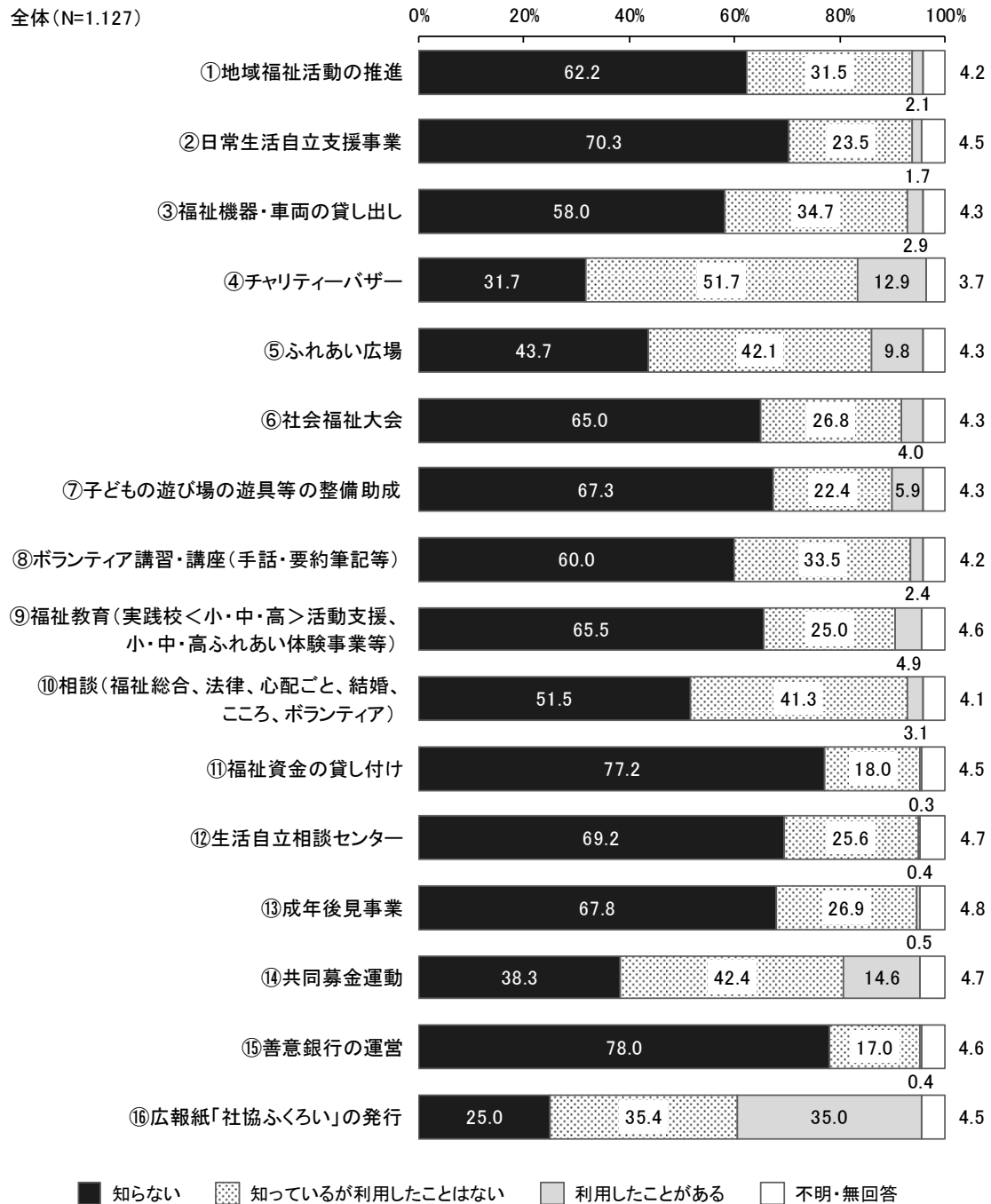


## 【 社会福祉協議会の事業について 】

【利用度】についてみると、「利用したことがある」では『⑩広報紙「社協ふくろい」の発行』が35.0%と最も高く、次いで『⑭共同募金運動』が14.6%、『④チャリティーバザー』が12.9%となっています。「知らない」では『⑮善意銀行の運営』が78.0%と最も高く、次いで『⑪福祉資金の貸し付け』が77.2%、『②日常生活自立支援事業』が70.3%となっています。

### 【利用度】

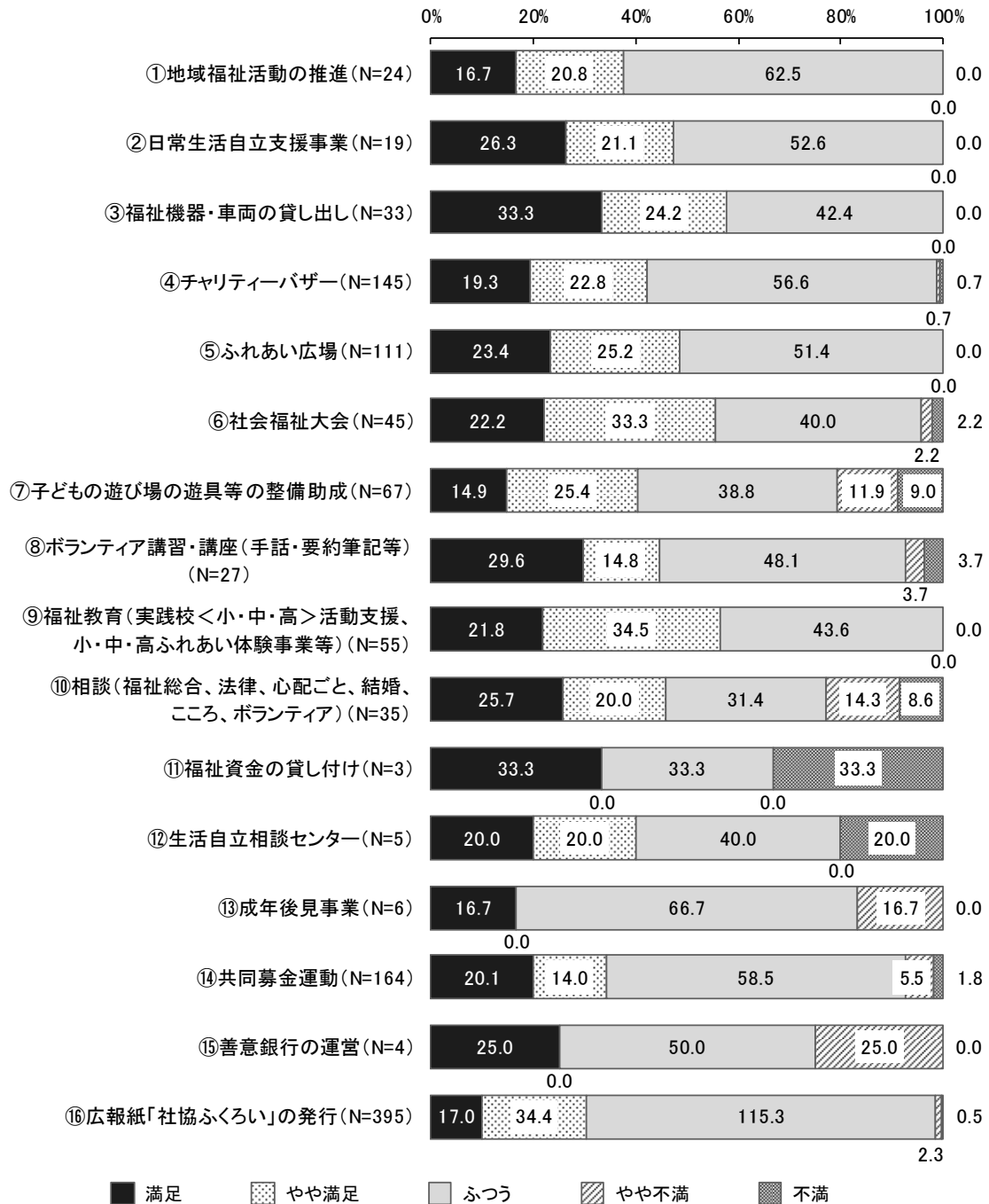
全体(N=1,127)



## 【 社会福祉協議会の事業について 】

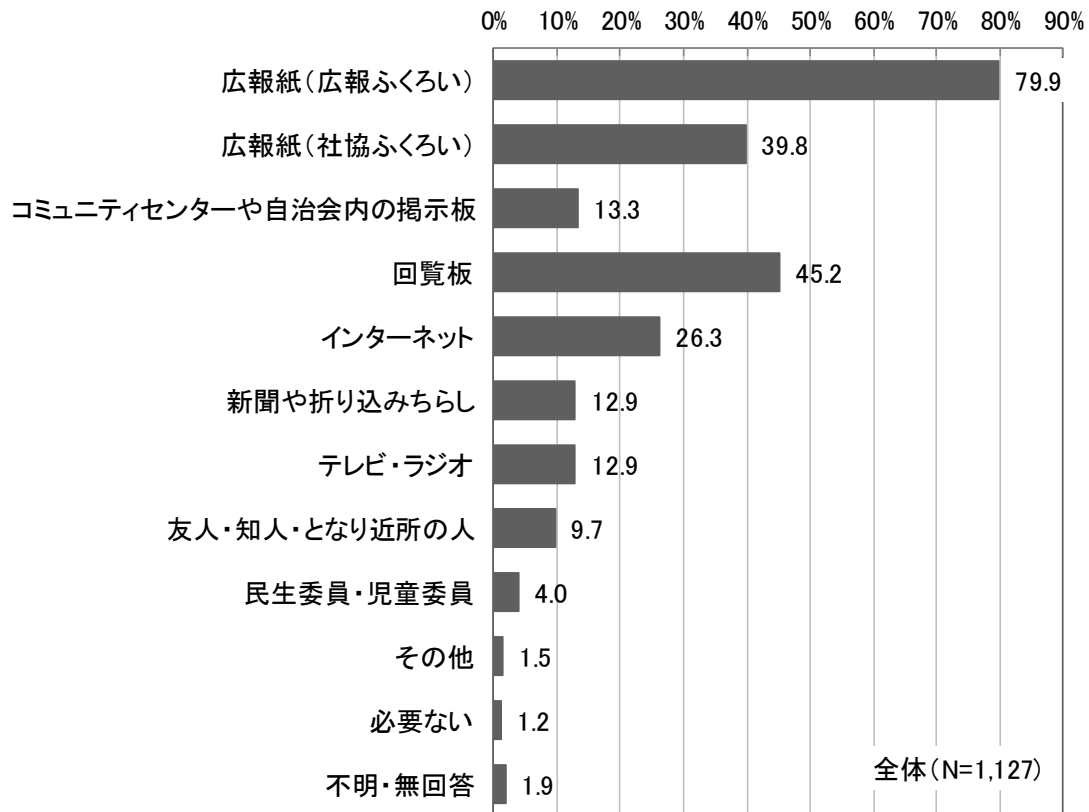
10 件以上の回答のある【満足度】についてみると、「満足」と「やや満足」の合計割合では、『③福祉機器・車両の貸し出し』が 57.5%と最も高く、次いで『⑨福祉教育（実践校＜小・中・高＞活動支援、小・中・高ふれあい体験事業等）』が 56.3%、『⑥社会福祉大会』が 55.5%となっています。

### 【満足度】



問 27 あなたは、社会福祉についてどのような方法で情報を知りたいですか。  
(あてはまるものすべてに○)

全体では「広報紙（広報ふくろい）」が 79.9%と最も高く、次いで「回覧板」が 45.2%、「広報紙（社協ふくろい）」が 39.8%となっています。

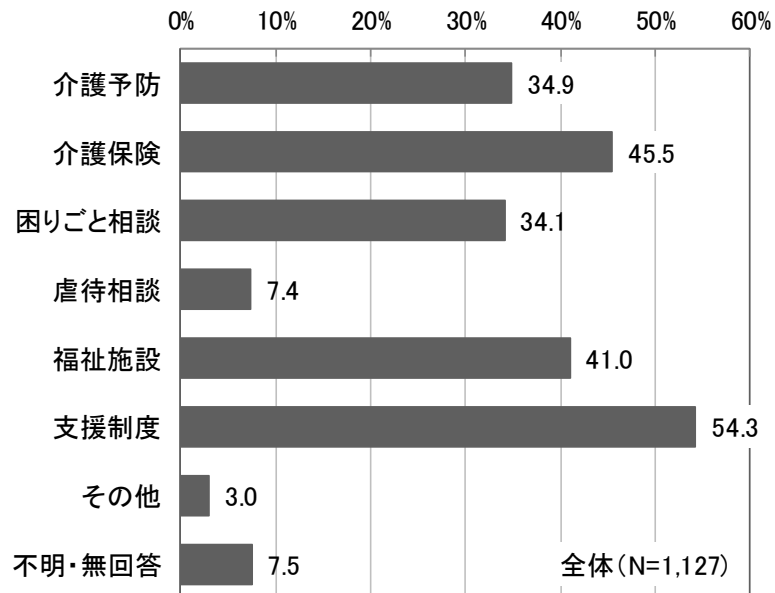


問 28 あなたは、社会福祉に関するどのような情報が必要ですか。

(あてはまるものすべてに○)

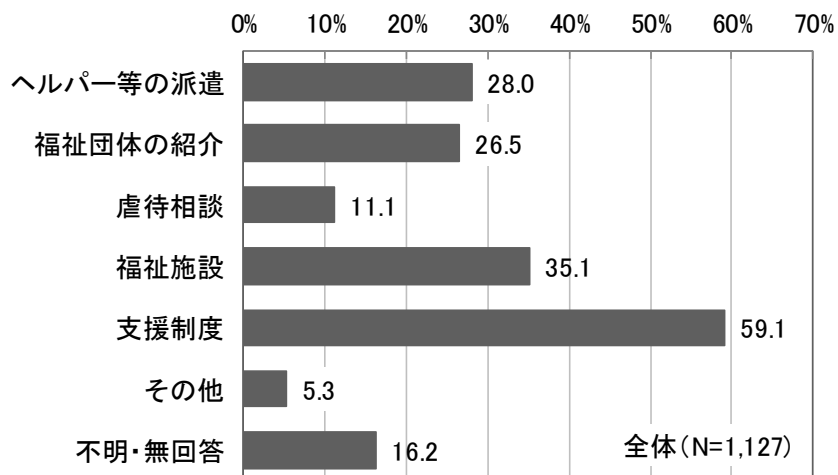
【 高齢者に関する情報 】

全体では「支援制度」が 54.3%と最も高く、次いで「介護保険」が 45.5%、「福祉施設」が 41.0%となっています。



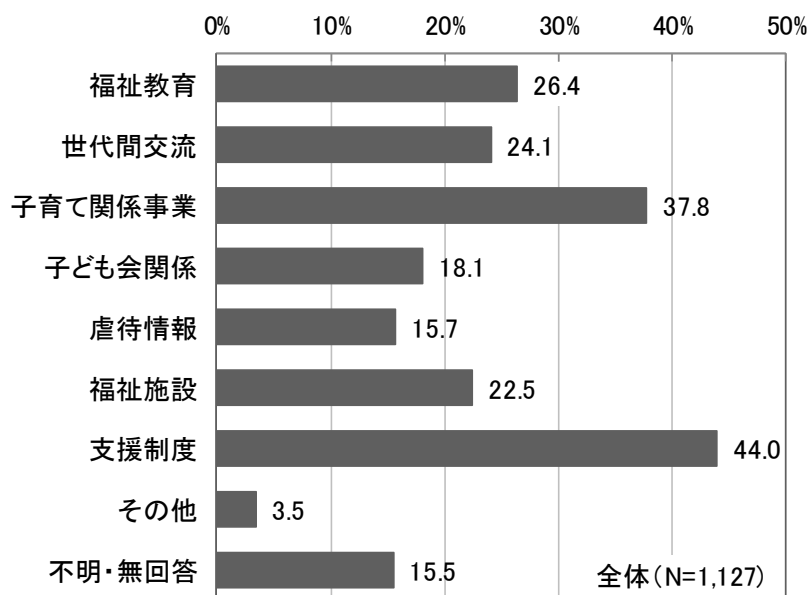
【 障がい者（児）に関する情報 】

全体では「支援制度」が 59.1%と最も高く、次いで「福祉施設」が 35.1%、「ヘルパー等の派遣」が 28.0%となっています。



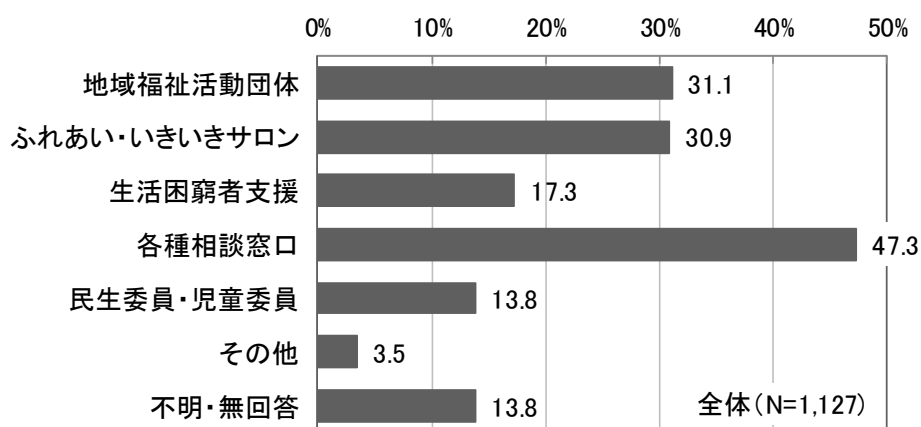
### 【 児童及び子育てに関する情報 】

全体では「支援制度」が44.0%と最も高く、次いで「子育て関係事業」が37.8%、「福祉教育」が26.4%となっています。



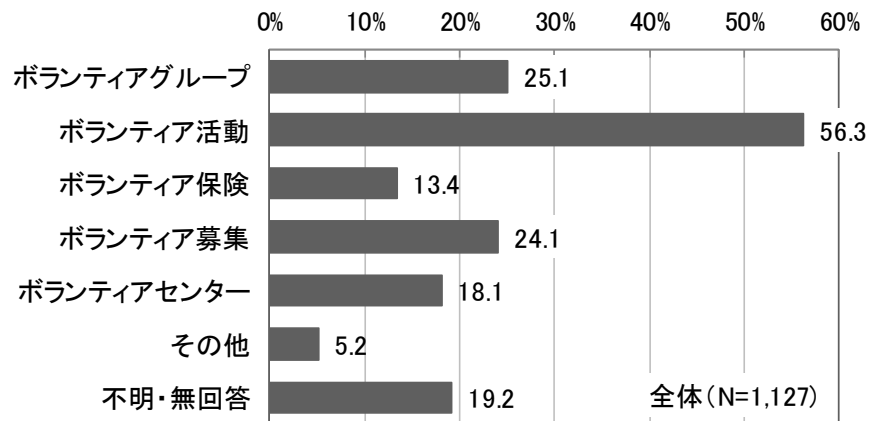
### 【 地域や生活に関する情報 】

全体では「各種相談窓口」が47.3%と最も高く、次いで「地域福祉活動団体」が31.1%、「ふれあい・いきいきサロン」が30.9%となっています。



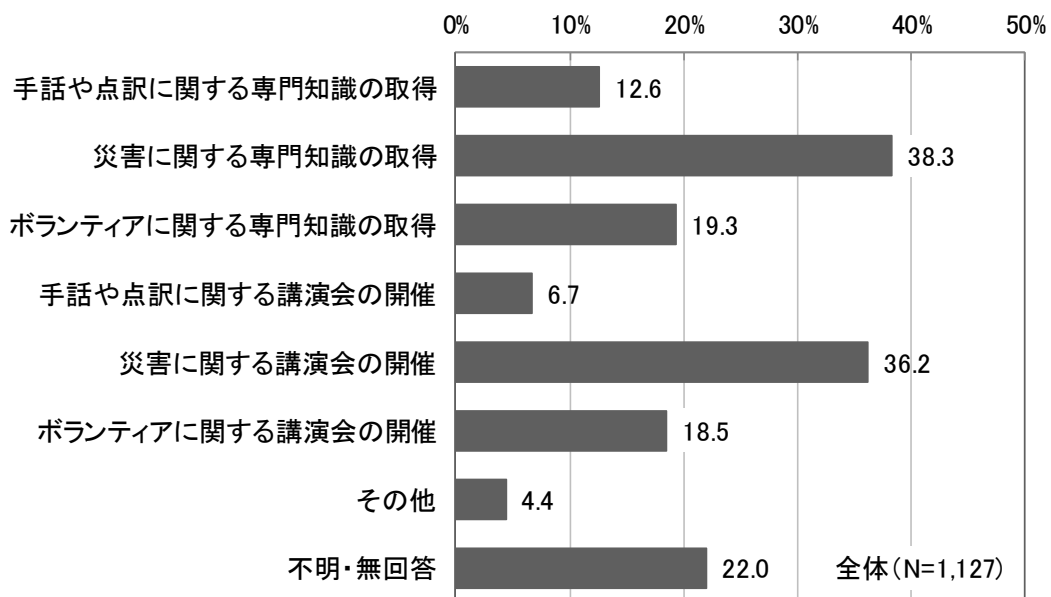
### 【 ボランティアに関する情報 】

全体では「ボランティア活動」が 56.3%と最も高く、次いで「ボランティアグループ」が 25.1%、「ボランティア募集」が 24.1%となっています。



### 【 講座や研修に関する情報 】

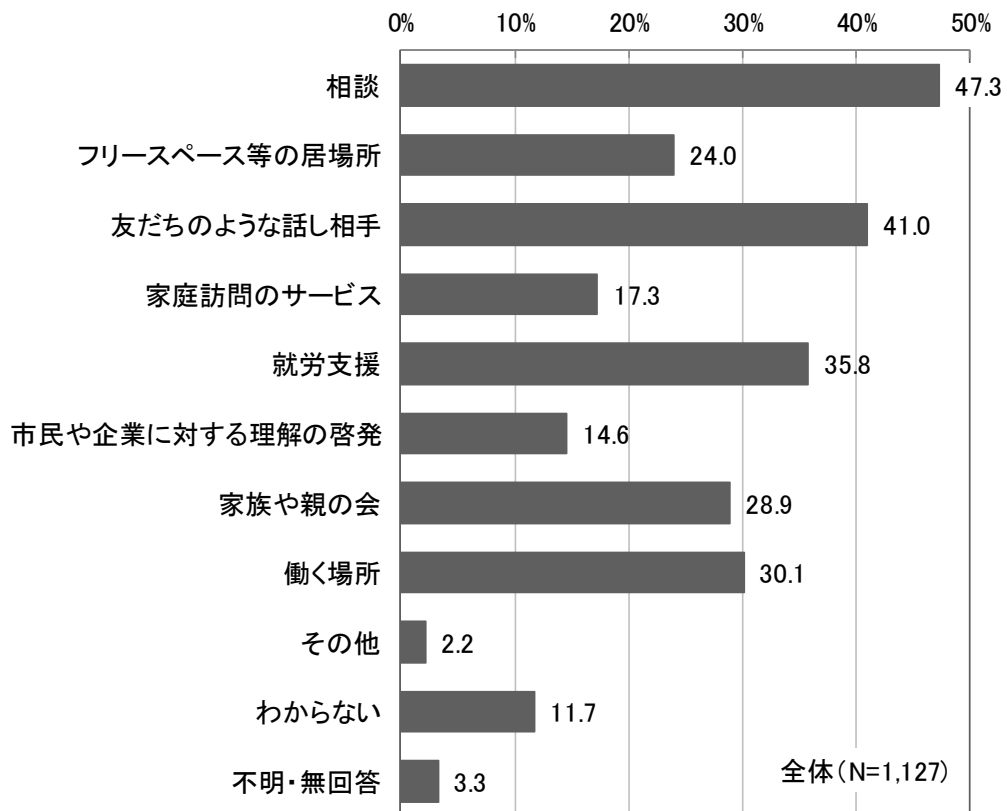
全体では「災害に関する専門知識の取得」が 38.3%と最も高く、次いで「災害に関する講演会の開催」が 36.2%、「ボランティアに関する専門知識の取得」が 19.3%となっています。



問 29 ひきこもりの方が必要とする支援は何だと思えますか。

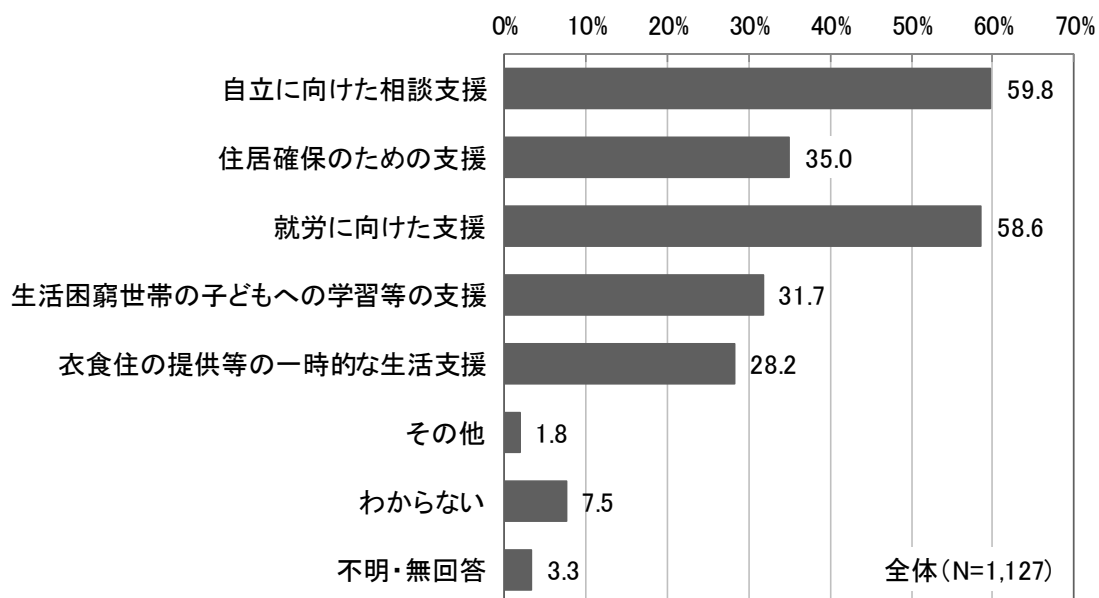
(あてはまるものすべてに○)

全体では「相談」が47.3%と最も高く、次いで「友だちのような話し相手」が41.0%、「就労支援」が35.8%となっています。



問 30 生活困窮者（就労したくてもできない、住居がない方等）を支援するためどのような施策が重要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

全体では「自立に向けた相談支援」が 59.8%と最も高く、次いで「就労に向けた支援」が 58.6%、「住居確保のための支援」が 35.0%となっています。





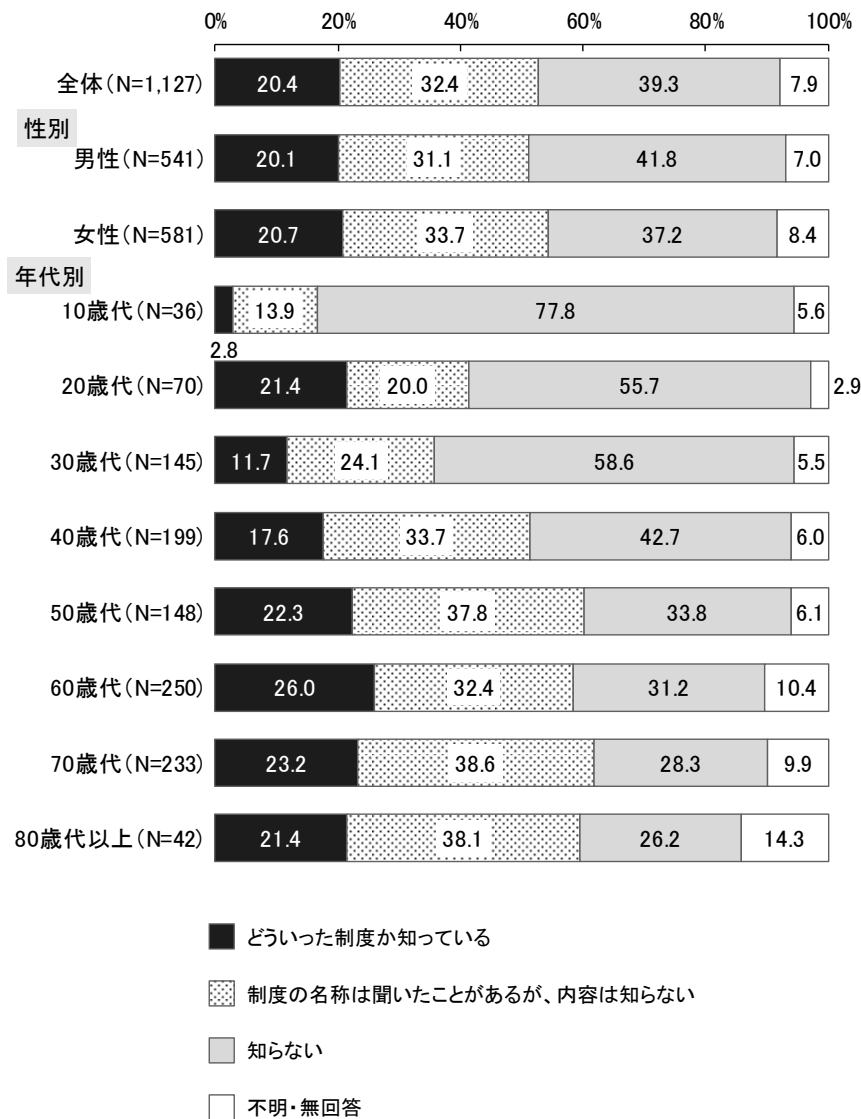
問 31 判断能力が不十分な高齢者や障がい者の権利を保護する「成年後見制度」についてお聞きします。あなたは、成年後見制度を知っていますか。

(○は1つだけ)

全体では「知らない」が39.3%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が32.4%、「どういった制度か知っている」が20.4%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、30歳代から60歳代で年代が上がるにつれて「知らない」が低くなっています。

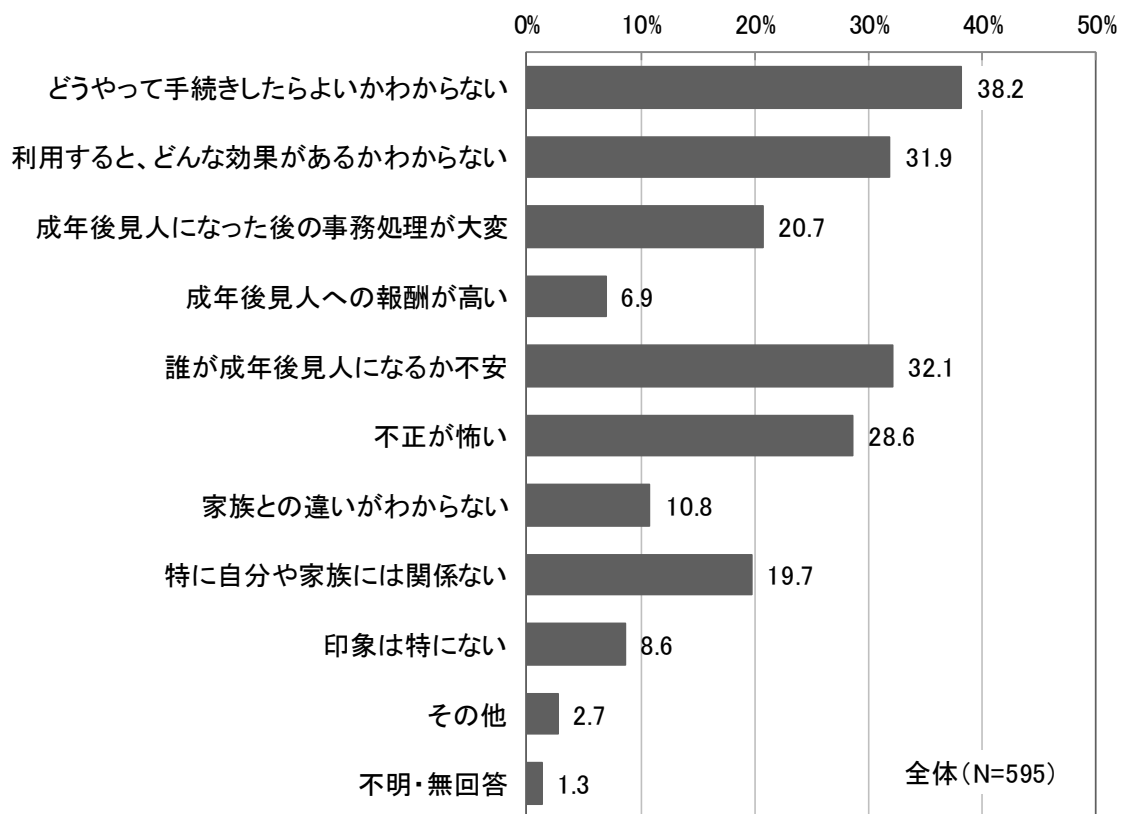


問 32 【問 31 で 1 または 2 を 選んだ 方 に お 聞 き し ま す】

成年後見制度についてどのような印象を持っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

全体では「どうやって手続きしたらよいかわからない」が 38.2%と最も高く、次いで「誰が成年後見人になるか不安」が 32.1%、「利用すると、どんな効果があるかわからない」が 31.9%となっています。



## 7. 今後の地域福祉について\*\*\*\*\*

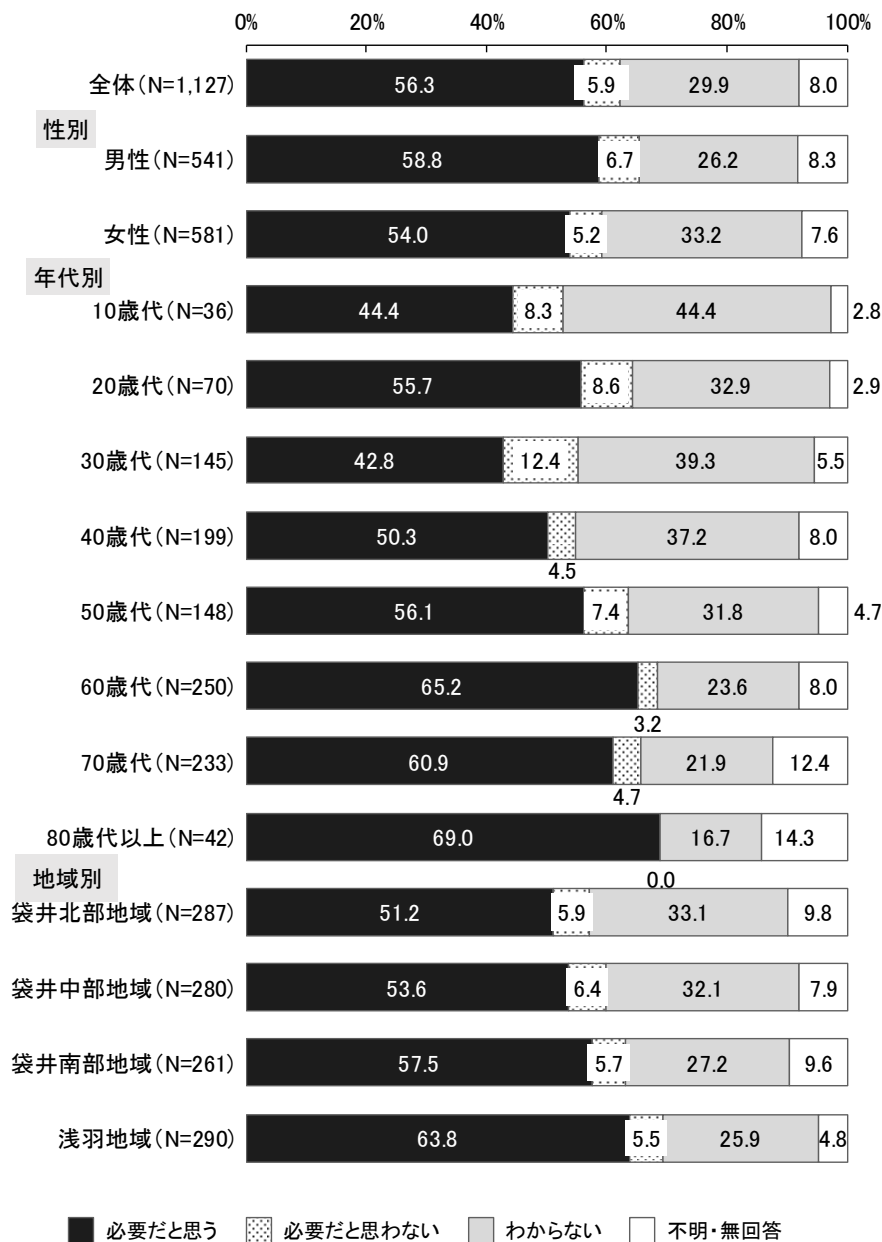
問 33 あなたは、日常生活の中で起きる問題に対して、地域住民の協力が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

全体では「必要だと思う」が56.3%と最も高く、次いで「わからない」が29.9%、「必要だと思わない」が5.9%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、30歳代以上で概ね年代が上がるにつれて「必要だと思う」が高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



問 34 【問 33 で 1 を選んだ方にお聞きします】

あなたは、地域住民の協力のために、どんなことが必要だと考えますか。

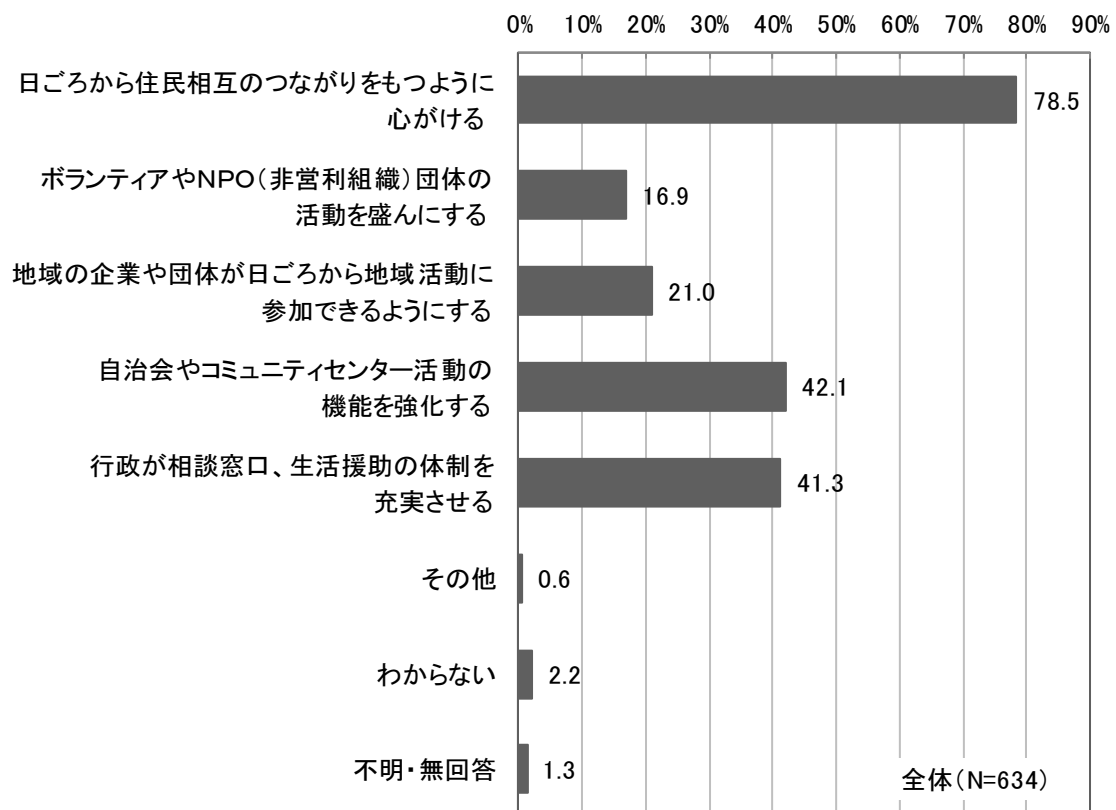
(あてはまるものすべてに○)

全体では「日ごろから住民相互のつながりをもつように心がける」が 78.5%と最も高く、次いで「自治会やコミュニティセンター活動の機能を強化する」が 42.1%、「行政が相談窓口、生活援助の体制を充実させる」が 41.3%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、30 歳代で「日ごろから住民相互のつながりをもつように心がける」が他の年代と比べて低く、70 歳代で「自治会やコミュニティセンター活動の機能を強化する」が他の年代と比べて高くなっています。

地域別では、大差はみられません。



■クロス集計集

(単位：%)

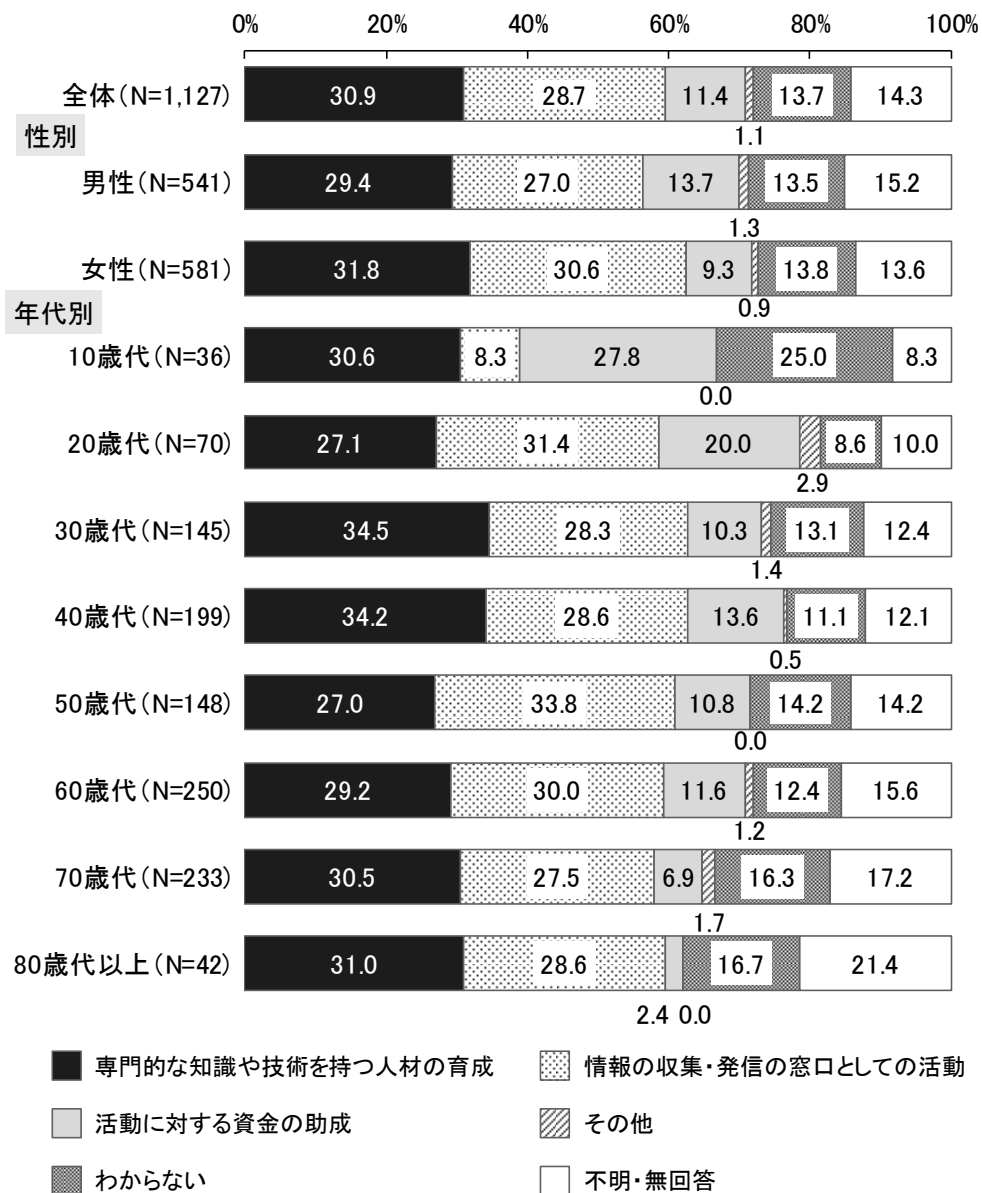
区分		N=	日ごろから住民相互のつながりをもつよつに心がける	ボランティアやNPO(非営利組織)団体の活動を盛んにする	地域の企業や団体が日ごろから地域活動に参加できるようにする	自治会やコミュニティセンター活動の機能を強化する	行政が相談窓口、生活援助の体制を充実させる	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性	318	77.4	17.0	20.8	44.3	39.3	1.3	2.8	0.9
	女性	314	79.6	16.6	21.0	39.5	43.0	0.0	1.6	1.6
年代別	10歳代	16	68.8	25.0	18.8	31.3	12.5	0.0	12.5	0.0
	20歳代	39	82.1	5.1	15.4	33.3	33.3	2.6	2.6	0.0
	30歳代	62	62.9	8.1	27.4	32.3	35.5	0.0	8.1	1.6
	40歳代	100	76.0	13.0	24.0	42.0	36.0	1.0	1.0	1.0
	50歳代	83	77.1	21.7	24.1	34.9	45.8	0.0	1.2	0.0
	60歳代	163	80.4	18.4	19.6	41.7	47.2	0.6	2.5	1.2
	70歳代	142	87.3	21.1	17.6	54.2	44.4	0.7	0.0	2.1
	80歳代以上	29	72.4	17.2	20.7	44.8	37.9	0.0	0.0	3.4
地域別	袋井北部	147	81.6	19.0	18.4	38.1	45.6	0.7	2.0	0.7
	袋井中部	150	72.7	16.7	22.0	46.0	41.3	0.7	3.3	2.0
	袋井南部	150	78.7	13.3	20.0	38.0	40.0	0.7	1.3	0.7
	浅羽地区	185	81.1	18.4	22.7	45.4	38.9	0.5	2.2	1.6

問 35 あなたは、これからの地域福祉活動に対する行政の支援についてどうあるべきだと思いますか。(○は1つだけ)

全体では「専門的な知識や技術を持つ人材の育成」が30.9%と最も高く、次いで「情報の収集・発信の窓口としての活動」が28.7%、「活動に対する資金の助成」が11.4%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、10歳代で「活動に対する資金の助成」が他の年代と比べて高く、「情報の収集・発信の窓口としての活動」が他の年代と比べて低くなっています。

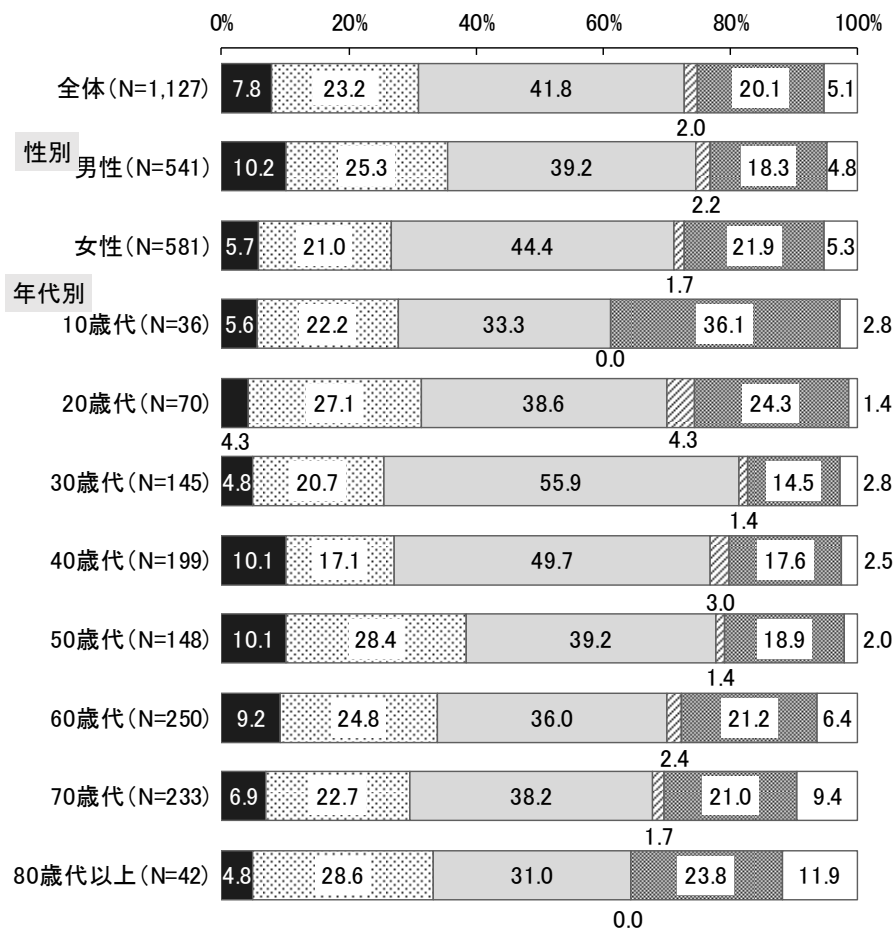


問 36 福祉サービスの水準を維持していくためには、これからの福祉サービスの水準と費用負担の関係について、どのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

全体では「不要なサービスについては縮小・削減し、応分の費用負担にすべきである」が41.8%と最も高く、次いで「サービスは現在の水準を維持すべきであり、サービスの維持のためには、税や社会保険料の負担が多少増えても仕方がない」が23.2%、「わからない」が20.1%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、30歳代、40歳代で「不要なサービスについては縮小・削減し、応分の費用負担にすべきである」が他の年代と比べて高くなっています。



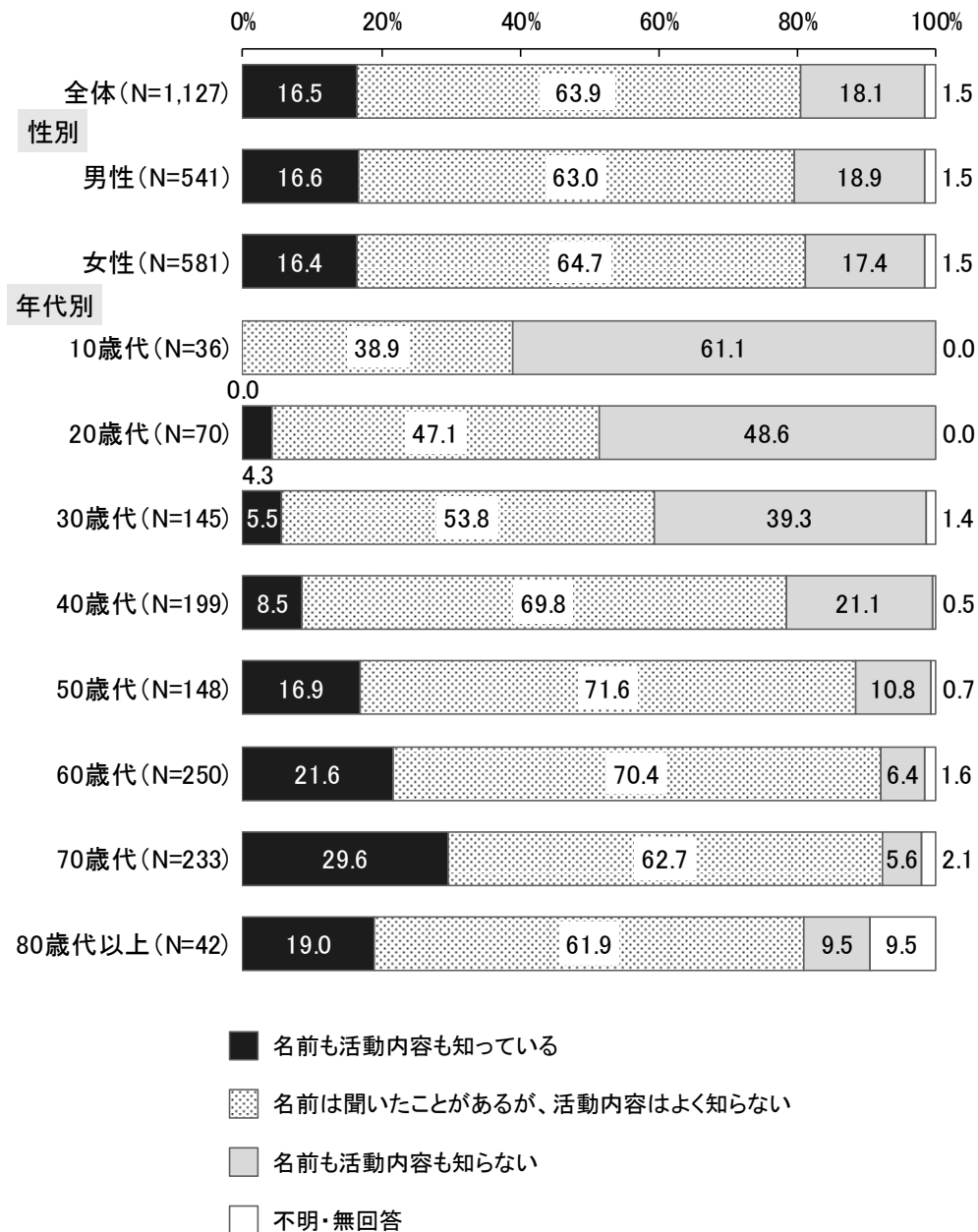
- 税や社会保険料の負担がより一層増えても、サービスを現在の水準からさらに上乗せする必要がある
- ▨ サービスは現在の水準を維持すべきであり、サービスの維持のためには、税や社会保険料の負担が多少増えても仕方がない
- 不要なサービスについては縮小・削減し、応分の費用負担にすべきである
- ▨ その他
- わからない
- 不明・無回答

問 37 あなたは、袋井市社会福祉協議会を知っていますか。(○は1つだけ)

全体では「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」が63.9%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知らない」が18.1%、「名前も活動内容も知らない」が16.5%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、10歳代から70歳代で年代が上がるにつれて「名前も活動内容も知らない」が低くなっています。



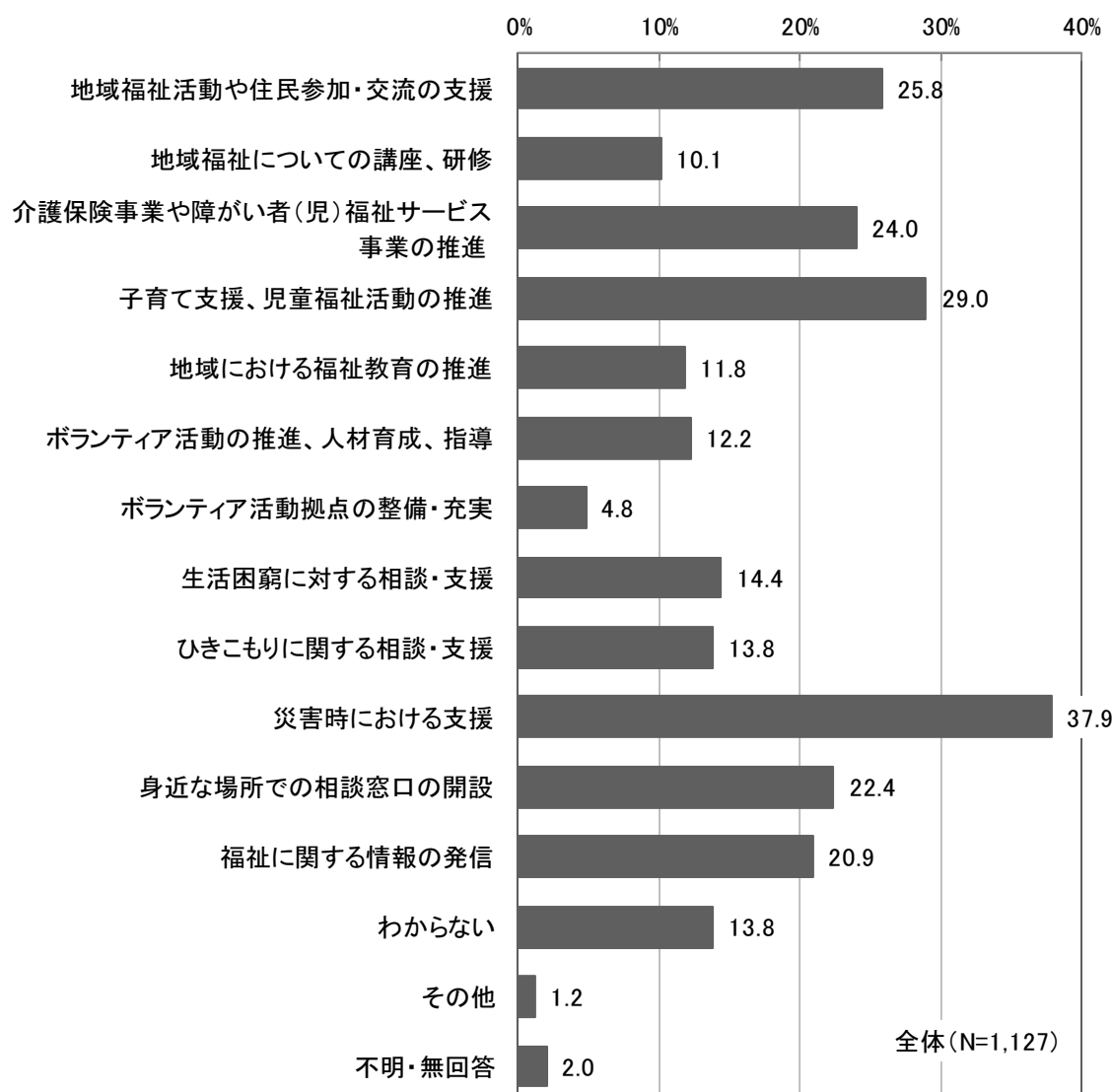


問 38 袋井市社会福祉協議会が行う活動や支援として、今後、期待することはどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

全体では「災害時における支援」が37.9%と最も高く、次いで「子育て支援、児童福祉活動の推進」が29.0%、「地域福祉活動や住民参加・交流の支援」が25.8%となっています。

性別では、大差はみられません。

年代別では、20歳代で「災害時における支援」、30歳代で「災害時における支援」「子育て支援、児童福祉活動の推進」が他の年代と比べて高くなっています。なお、20歳代で「ボランティア活動の推進、人材育成、指導」、30歳代で「地域福祉活動や住民参加・交流の支援」が他の年代と比べて低くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		N=	地域福祉活動 や住民参加・交 流の支援	地域福祉につい ての講座、研修	介護保険事業や障 がい者(児)福祉サ ービス事業の推進	子育て支援、児 童福祉活動の 推進	地域における 福祉教育の推 進	ボランティア活 動の推進、人材 育成、指導	ボランティア活 動拠点の整備・ 充実	生活困窮に対 する相談・支援
性別	男性	541	28.8	11.5	21.3	26.1	11.3	13.5	6.3	16.3
	女性	581	22.9	9.0	26.5	31.8	12.0	10.8	3.4	12.7
年代別	10歳代	36	27.8	2.8	22.2	33.3	5.6	19.4	13.9	13.9
	20歳代	70	24.3	4.3	20.0	40.0	11.4	2.9	0.0	8.6
	30歳代	145	11.0	9.0	20.7	54.5	6.9	8.3	3.4	14.5
	40歳代	199	18.1	8.0	18.1	37.2	9.5	13.1	5.5	11.1
	50歳代	148	25.7	9.5	29.1	21.6	12.2	12.2	6.8	18.2
	60歳代	250	32.0	12.8	31.6	24.0	12.8	14.4	6.8	15.6
	70歳代	233	34.8	12.9	23.2	15.5	16.7	12.4	2.1	14.6
	80歳代以上	42	26.2	9.5	14.3	9.5	9.5	14.3	2.4	16.7
区分		N=	いきこもり に関する相 談・支援	災害時にお ける支援	身近な場所 での相談窓 口の開設	福祉に関す る情報の発 信	わからない	その他	答 不明・無 回	
性別	男性	541	14.6	37.0	20.3	18.3	14.6	1.1	2.2	
	女性	581	13.1	38.7	24.4	23.1	13.1	1.2	1.9	
年代別	10歳代	36	11.1	44.4	2.8	11.1	22.2	0.0	0.0	
	20歳代	70	11.4	51.4	18.6	20.0	15.7	0.0	0.0	
	30歳代	145	11.7	51.7	17.9	12.4	14.5	1.4	0.7	
	40歳代	199	14.1	37.2	24.1	18.6	17.6	1.5	2.5	
	50歳代	148	14.2	38.5	18.9	24.3	12.8	1.4	0.0	
	60歳代	250	15.2	33.6	24.8	24.4	10.4	2.0	1.6	
	70歳代	233	14.6	31.8	25.8	24.5	13.7	0.4	3.9	
	80歳代以上	42	14.3	26.2	33.3	14.3	9.5	0.0	9.5	

## Ⅲ. その他回答

問3 あなたの世帯構成は、次のどれですか。

「その他」内容	件数
4世帯ですが新築するまで別居、世帯別の義母は特養に入所。	1
姉（80代）と2人暮らし	1
弟	1
親、子（別居）	1
会社の同僚とシェア	1
家族4人、子ども2人	1
兄弟	1
子と同居	1
姉妹	1
祖父と孫。	1
妻の妹と3人	1
本人とパートナー	1
本人、子ども、孫、子どもの親	1

問5 あなたのお住まいの状況は、次のどれですか。

「その他」内容	件数
実家	2
息子の持ち家	1
借家	1
県営住宅	1
市営住宅	1
施設	1

問7 あなたの職業を教えてください。

「その他」内容	件数
年金生活	4
医師	1
団体職員	1
臨時職員	1
保育士	1
ワークスつばさ	1

「その他」内容	件数
主婦	1
無職	1

問8 あなたは普段どのような悩みや不安を感じていますか。

「その他」内容	件数
老後について（生活、年金などの経済的なこと、後継ぎなど）	6
仕事のこと	4
将来	1
将来、夫に先立だれたら、生活できるかなど。子ども夫婦は、将来の老後資金は用意できるだろうが、孫が大きくなれば働けるようになるので、心配する必要はないだろうが	1
車の免許証返納後の生活（買い物、通院等）。	1
免許証（車）を返納した場合、これから病院、買い物等どのようにしたらいいのか？話に聞くと、デマンドバスは余りにも時間がかかり過ぎてまた合わない	1
近くにスーパー等が無いので車で買い物に行くが、車の運転ができなくなった時に問題になる	1
高齢になった時、買い物難民になりそうです	1
健忘症、耳が遠くなった	1
将来に土地が処分できず、固定資産税が高くなり、固定資産税が払えるか心配	1
税金が高く、支払いが困難	1
税金の支払いばかり。国保の金額	1
相続	1
近所の空き家の草やゴミ。家主が遠方で、なかなか手入れに来ないために不用心です。猫の住処になってます。	1
消防団活動	1
地域、学校の役員が毎年ある	1
地域の事	1
住み良かった班内に付き合いの悪い人が入って来て、今後は心配です	1
夫婦共働きでお互いの両親は遠隔地。学校に関わる事が多く休みのやり繰りが難しい	1
学校の先生に色々言われる。祖母の家の裏の人の嫌がらせ	1
子どもが犯罪に巻き込まれないか	1
小学校への登校方法。愛野地区のバス通に不安です	1
孫の学校生活	1
親について	1
施設に入所の義母の事	1
母の不倫	1

「その他」 内容	件数
大雨による冠水に不安がある	1
水の災害について	1
温暖化起因の自然災害、台風、洪水	1
自分の農地、山森の成行、荒れ果てる事	1
田畑の維持管理、鳥獣被害の拡大	1
ねこ（どこにでもフンをしていくのがこまる）。犬のように早く規制してほしい（家の中で飼うとか鎖でつなぐ）	1
医療費の問題	1
下着ドロボー	1

問9 あなたは、日常生活の悩みや不安を、主に誰（どこ）に相談や支援をお願いしたいと思いますか。

「その他」 内容	件数
子ども支援室「ぬっく」	3
それぞれ悩みの内容によって異なります	3
今のところ悩み不安はない	2
姉	1
親	1
子ども達、娘達	1
娘夫婦が近くにいるので、老後、話し相手（毎日でなくても）になってくれるだろう。仲良くやっているつもりだ	1
静岡県教育委員会事務局、高校教育課	1
消防団本部	1
成年後見人が選任されている	1
専門家	1
相談支援センターめいわラック	1
キリスト教会の牧師、教会の友人	1
現状ではお願いする必要を感じていない	1
現状は、急いで解決するものが無いので、その時になったら考える	1
袋井市に期待していない	1
よくわからない	1

問 10 あなたにとって「地域」とは、どういった範囲のことだと思えますか。あなたの印象に近いものを選んでください。

「その他」内容	件数
付き合いがないため不明	2
県西部	1
自治会、または小学校区程度の慣習や生活におけるつながりがある範囲	1
自治会連合	1
社会福祉課	1
隣近所より広く、袋井市全域より狭い範囲	1
共同体意識が希薄になっている今日では、「地域」という言葉はあっても実感するのは難しい	1
老人ホームでお世話になっています	1

問 12 あなたは、現在、地域活動等に参加していますか。

「その他」内容	件数
中老会・大老会（祭り）	8
防災訓練	2
ボランティア	2
スポーツクラブ	2
JA 婦人部	1
婦人部	1
婦人部、大老会	1
NPO 公園管理グループ	1
絵本の読み聞かせ、年1回くらい	1
公会堂の花壇	1
高校育成部	1
祭典など	1
サロンボランティア	1
自主農園活動	1
自主防災	1
しずおか市町対抗駅伝	1
小学校のボランティア活動	1
少年野球	1
神社総代	1
神社等	1
スクールガード、民児協委員	1

「その他」 内容	件数
スクールガードボランティア	1
スクールボランティア	1
スポーツ協会	1
壮年団	1
月見の里学遊館のピラティス	1
しぞ〜かでん伝体操	1
同年代の会	1
乳幼児家庭教育学級	1
袋井国際交流のボランティア etc	1
部農会	1
防災協議会、小学生課外活動	1
まちづくり事務局	1
民生委員	1
幼稚園野菜育成支援	1
徳、運動	1
参加しないと三千円とられるから	1

**問 13 地域活動に参加している主な理由は何ですか。**

「その他」 内容	件数
運動する事により身体を鍛えたいから	1
健康、ストレスの解消	1
健康的理由があるため。目が良く見えない	1
子ども同士の交流のため	1
子どもの学校の役員をやらないと、後々悪口を言われそうだから	1
子どものため、ネットワークを広くしておきたいから	1
県外から引っ越してきて出産したので、同じ幼稚園に通う園児の母親の知り合いをつくりたかったから	1
自治会、子ども会等の行事に参加し、地域に少しでも役立つように！	1
自治会の人達と顔を合わせる事で、いつか何かの役に立つと思うので	1
自分が役員になった時に困るから	1
積極的な活動や参加はできないが、地域との親交を大切にしたいから	1
頼まれたから	1
地域のコミュニケーションに必要なことかなと思います	1
地域の住人及びその活動を知るため	1

「その他」 内容	件数
地域の仲の良い方だから	1
続けている活動で、声をかけていただいた時に	1
人との繋がりと自身の成長	1
ボケ防止のため	1
身近な人から知っていく、協力し合う、助け合うということを子どもに伝えたいから	1
役員が回ってくるから	1
子どもの人数が少ないから	1
子どもや私（嫁）の顔を覚えてもらえるので	1
子ども達が今までお世話になっているので、順番で役員をやっている	1
親に強いられるから	1
加入しないと「いけない」と自治会に言われたから	1
家族が地域で住みづらくならないようにするため	1
スポーツクラブへ行く	1
仕事をしてるため、時間に余裕がない	1
問 12-8 と同じ	1

#### 問 14 地域活動に参加していない主な理由は何ですか。

「その他」 内容	件数
引っ越してきたばかりだから	5
病気・障がいのためできない	5
学生だから	5
家族が参加しているため	3
いつまで住むか分からない。借家なので	3
人付き合いが苦手なため	2
70歳頃まで色々役員を務めているので、自分のやりたいことをやりたい	1
過去に経験した、年齢的なこと	1
アパートなので情報がこない、気付かない	1
介護している人がいるので、その気になれない	1
家庭の事を聞きたがったり噂話が多い	1
現在の老人ホームで充分です	1
参加するものがない	1
仕事の都合で県外に住んでいるため	1
自分に何ができるのか	1
定住予定ないため	1



「その他」内容	件数
同世代がいないため、またいたとしても、価値観が異なり話が合わない	1
年を取り、控えている	
孫守りがあって時間が取れない	1
求められていないから	1
「よそ者が」と耳にした時から嫌われていると思い、参加はしたくない	1

問 17 あなたは、現在お住まいの地域で生活するにあたって、地域や地域の人々に何を望みますか。

「その他」内容	件数
今は元気で動けていますが、これから買い物支援、病院・施設への送迎は必要	1
現在は問題はありませんが今後1、2、3、5、7が必要になると思います。	1
学校への親の関与を減らす。特に部活の手伝いとPTA	1
木を切る	1
車に乗れない。家内も歩くのが長歩きできない。バスのサービスを考えてもらいたい	1
子どもが健全で安心して過ごし、成長できるような地域の暖かい目、お互いに防犯し合う意識、自分の住んで居る所から綺麗にして行こうと言う気持ち。駅の南、北口ロータリー付近にタバコの吸い殻や缶、ペットボトルの飲みかけが有り小学生がそれを目にする事があるので	1
困っている事と、してあげられることのマッチングがもっと簡単にできたらいいと思う	1
自分のためにやっていただくということは、まだ思いません。今は、周りの人のために、周りの人と一緒に助け合っていきたいと思います	1
自分の町に誇りと愛情を持ってもらいたい	1
主人や子ども達が近くにいると助けてくれる	1
葬儀関係	1
ファミリーサポートのように、多少の支払いがある支援がいい	1
ペットに責任を持つ、迷惑をかけない	1
祭青年への加入の強制と役員になる事の強制をやめてほしい。ストレスで、めまいが治らない	1
私自身は、今現在はできますが…	1
今までの生活にプライドを持ってきたので不要です	1

問 18 あなたは、現在お住まいの地域で生活するにあたって、地域や地域の人々のためにできることはありますか。

「その他」内容	件数
近所（隣家）の方に香典を頼まれて置きに行く事がある	1
合同の草刈り等	1
趣味講座、蕎麦打ち、しめ縄づくり、竹細工	1
神社の落ち葉はきを時々している	1
道路のゴミを拾う事くらいです。みんなそれぞれプライドありますから	1
何が出来るか解らないけど、言ってくれば出来る事はしようと思う	1
被災した時、自分が元気なら支援したいと思います	1
必要があれば何でも	1
現在 76 歳ですから、班内の事には協力したいと思っています	1
現在は時間的に余裕はないが、将来的にはできることもある	1
部活が忙しいのであまり家にいる時間がありません。余裕ができればやりたいと思います	1
やってやりたいけど、自分の体が思うように動かない	1
我が家の事で手一杯なので、余裕がありません。	1
自分が元気ならば協力できるが、仕事・通院等の生活で精一杯	1
自分の生活に手いっぱい、なかなか時間の余裕がありません	1
仕事を持っているので軽々には言いにくい。高齢者の両親のサポートもある	1
わかりません	1

問 19 あなたは現在、社会福祉とどのような関わりをお持ちですか。

「その他」内容	件数
居場所（豊田舜次ウェルネスサロン）へ行っている	1
お年寄りの集まる所へ行って、話し相手を時々している	1
介護している人の話し相手として時々見に行き、花や野菜を届けるコミュニティーをしている。介護を終えて(両親の)、少しこうしたら良かった、70%位にして手抜きも必要だったと話す	1
集金等	1
近くに叔母がいて、日中一人なので、話し相手、食事、買い物をする等	1
民生児童委員として。但し、新住で経験なし	1
家族が利用中	1
意味が分からない	1

問 21 あなたは、どのような条件が整えば社会福祉に関わるボランティア活動に参加できますか。

「その他」内容	件数
病気・障がいのためできない	8
子育て、仕事、家事等で時間的余裕がない	5
高齢であるので、参加できないと思う	3
意義が理解できること	1
意識としての責任性がいつも気になるところです	1
今まで色々参加していましたが、自分一人で行く事ができなくなったので、声がかかった時、主人に送ってもらって、1年に1度位やっております	1
お金があってやる事がなければ	1
活動内容、組織体制などが確立されている（すぐボランティア活動に携われる環境があると参加しやすい。）	1
社会福祉におけるボランティアの位置づけが確立した場合	1
市役所が市民に対して活動の仕方についての助言をしてくれること	1
そもそもボランティアをあてにする system が間違い！	1
退職したら、ボランティア活動をしてみたい	1
できることがあるなら。条件がそろえば	1
整っていなくても、場合によっては必要に迫られればする	1
平日でも有休扱いにされないこと	1
ボランティアと名をかたった無償労働でなく、有償となったら	1
老齢で自分の健康度	1
現在は無理だが、60才過ぎたら関わりたくなるかも	1
健康だったら活動したい	1
身体の調子が良い時。やりたくても病気なので	1
車いす利用者のため、それに徹したことでないとだめ	1
以前、絵本の読み聞かせを老人ホームへ行ってやったが、上達せず、忙しくなってきたら止めてしまった。自分には向いていないと思う	1
参加してみたが、旨くできるか、時間があるかわからない	1
自分の気持ちが変われば	1
自分の気持ちでやると思った事	1
わかりません	1

問 23 災害時の備えとして、どのようなことをしていますか。

「その他」内容	件数
発電機	2
家族が準備しているものあり	2
4年前新築（平屋）	1
昭和53年に建った家は、今年建て替えし、地震対策はいいと思う	1
新築で新しいので問題は無いし、高級家具は置いていない	1
耐震住宅	1
衣類、毛布、ビニールシート、スコップ	1
車に非常食、飲み物、タオルなど入れてある	1
サバイバル技術の習得、防災士	1
施設で、用意している	1
背の高い家具を置かない	1
煮炊きできる道具の準備、暖房が取れるもの	1
ニュースを他人事ではなく、自分だったらと置き換えてイメージしておく。子どもに地震の時は具体的にすべき事を伝えている	1
ハザードマップを意識	1
健康維持	1
眼鏡が無くても生活できるように目の手術を行った	1
金が無い、今1円、5円か500円位しか無い	1

問 24 災害に対して、地域で最も必要だと思う備えはどれだと思いますか。

「その他」内容	件数
わかりません	2
飲料水、燃料、毛布などの備蓄	1
自治会で食料、水の保管	1
水食料の管理システム	1
自治会での食料備蓄だけでなく、各世帯での備蓄を充実することで、いざとなった時に食料が充実すると思います	1
各家庭への非常物資配布	1
行政が主として指針を立ててもらいたい。とにかく正確な情報が必要	1
災害と言っても、台風だと川の状況で避難する場所が限られると思う。そのため、川の近くの住民はどこに行けばいいのか、はっきりしてほしいと思います	1
ケガの防止とそのための方策方法の支援	1
現在の住まいは避難所に遠く大きなスーパー等もなく避難場所を決めることができない	1

「その他」内容	件数
災害が自分にも来るという意識と危機感。「ウチの子に限って」みたいな「ウチは大丈夫」という甘い考えを捨てる事が一番大事。ソフト面の意識改革が必須です	1
自分の気持ち	1
地域に頼るのではなく、市や県の手厚い処置を迅速にする事	1
近くの建物の耐震	1
トリアージできる人の確保、医療関係者の確保	1
ハザードマップの理解、災害情報、連絡	1
避難時に必要な、段ボールベッドや衝立、簡易トイレやお風呂を地域で持っていてほしい	1
避難場所が遠い	1
避難場所の収容人数確保と避難場所の衛生管理	1
不明。情報共有は必要に感じる	1
どれも必要じゃないか	1

問 25 災害時の支援や安否確認のためにプライバシーの保護に配慮しながら、個人情報情報を地域で共有する必要性が高まっていますが、あなたはどのように考えますか。

「その他」内容	件数
田舎はすべてわかっている	1
家族構成程度は知っておいた方がよい	1
かつて向こう三軒両隣といった時代には、顔の見える範囲のやり取りに限られていた。情報発信と受ける側は、無限大に広がっている。だから、軽々に返事できません	1
希望者を対象にしたら良いと思う。個人情報のため	1
現在運用の自治会保管の台帳レベルで良い（データベースではデータ流失が多いため。）	1
個人情報は、災害時、要支援時に不可欠。但し対象者の同意が必要。また、プライバシー保護を配慮した取り扱いが不可欠	1
個人情報は、常のコミュニケーションで得る。地域の組織としては不要	1
自治会長や役員（資質の問題もある）が、情報を知ることの問題もあると思う	1
情報漏れ等に十分対応できる体制を整えてから実施すべき	1
知らなくてもいいプライバシーもある。例えば年齢も誕生日ではなく、生まれ年だけ知ってれば良いと思うし、住所も知らなくても、例えば班だけわかっていると思う。全員が知る必要もないと思うので、ご近所の方が数人同士で知っている範囲で良いと思う	1
地域ではなく、情報管理が可能な市単位では	1
手助けの必要がある人のみで良い。悪用されたら困るため	1

「その他」内容	件数
とても難しい。外国語の方も住んでいる。気を付けないと差別にもなる	1
必要性を感じている人は共有する。その時にならないと必要かどうかわからない	1
必要に応じて住民の連絡先は活用してほしい。災害時の連絡は、プライバシー侵害には当たらない	1
プライバシーの問題が発生するほどの細かな情報は不要。だいたいの年齢と単身かどうかぐらいの情報でいいのでは	1
プライバシー保護は防犯的に必要だと思いますので、災害時に個人情報が必要となりますが、漏洩しないように管理できるシステムを構築していただきたいです	1
持病がある方や家庭に事情がある人には、どの程度プライバシーが保護されるか心配。支援員が口の堅さが問われる	1
個人情報の中身による	1
程度問題	1
線引きは必要	1
状況による	1
災害時には、プライバシーなど気にしてられない	1
但し、拒否権を残す	1
但し共有は管理者に限る。	1

**問 27 あなたは、社会福祉についてどのような方法で情報を知りたいですか。**

「その他」内容	件数
SNS、インスタ等	1
アプリ	1
家族	1
広報紙がほしいが、回覧板がこないで手元に無い	1
住んでいるアパートに、回覧板が回ってこない	1
地域イベント	1
どのサービスが受けられるか書類を送ってほしい	1
必要な場合は窓口で	1
必要になったら社会福祉事務所へ行く。市役所にあるのかな。	1
病院のケースワーカーさん	1
フッピーのぼっけ	1
メールマガジン	1
妻が仕事している	1

問 28 【①高齢者に関する情報】のような情報が必要ですか。

「その他」内容	件数
今のところ必要ない	9
何が必要かよくわからない	8
人口に対する割合（増減）	1
相続、成年後見制度	1
誰が何を必要としているのか	1
どんな症状の時、どこの病院へ行くべきか。認知症など	1
必要になったら社会福祉事務所へ行く	1
相談しても解決しないのでは。話を聞くだけを相談と言わない。	1

問 28 【②障がい者（児）に関する情報】でどのような情報が必要ですか。

「その他」内容	件数
何が必要かよくわからない	12
子どもがいない・該当者がいないのでわかりません	6
必要ない	5
学校との連携による学習相談	1
相談する窓口	1
どのような障がいがあるか、世の中の人に周知してほしい。親の育て方が悪いわけではないと知ってほしい	1
必要になったら社会福祉事務所へ行く	1
市内に何人程生活をしているのかわからないため、実感が無い	1
誰が何を必要としているのか	1

問 28 【③児童及び子育てに関する情報】でどのような情報が必要ですか。

「その他」内容	件数
わからない	7
必要ない	5
我が家では対象ではありません	2
いじめ防止	1
袋井市の児童発達支援は、見直しが必要だと感じています。特に「はぐくみ」問題は、市長さんにも認識を改めてほしいと思っています	1
孫の事は親に任せているため	1
万が一 DV を受けた時に大事にせず、相談に乗ってくれる所の情報。迅速に、親子で住めるシェルターを紹介してくれる機関の情報	1
必要になったら社会福祉事務所へ行く	1

「その他」内容	件数
交通等の問題で子どもとは接触できない	1

問 28 【④地域や生活に関する情報】でどのような情報が必要ですか。

「その他」内容	件数
何が必要かわからない	9
必要ない	6
家族	1
支援制度	1
将来、運転免許を返納した時、便利な住み良い環境になっているだろうか。	1
生活支援の必要な人、必要でない人（支給額）の仕分け	1
発達障がいに関する事	1
必要であれば、情報を取得しに行く	1
これから必要になるかもしれないが、今の所は解らない	1

問 28 【⑤ボランティアに関する情報】でどのような情報が必要ですか。

「その他」内容	件数
よくわかりません	7
今は必要ない	3
歩いて行ける範囲でほしい	1
現状、家庭と娘の孫のお世話で忙しい。当分続くのでボランティアに参加は考えられな いと思う	1
消防団活動減少に関する方法の情報	1
たくさんの種類のボランティア活動を知って、自分に合ったボランティアを選べるよ うに提示してほしい	1
マンパワーとしての必要性は理解できます。だから、多少の人々に関わる初歩的な知識 は必要と思います	1
情報がないのでわかりません	1
仕事が忙しくボランティアをしている時間はない	1
今は自分でできないので	1
興味がない	1
必要な人のみ	1



問 28 【⑥講座や研修に関する情報】でどのような情報が必要ですか。

「その他」内容	件数
わかりません	7
今は必要でない	4
体系的なシリーズものを相互学習できるよう、常時行うことが必要だと思います	1
広報ふくろいで知らせる	1
災害ボランティアの養成（地区ごとで）	1
ファミリーサポート	1
高齢者なので分かりません	1
仕事が忙しく興味なし	1
関心なし	1

問 29 ひきこもりの方が必要とする支援は何だと思えますか。

「その他」内容	件数
必要ない。甘やかす必要はない。	4
話をよく聞き、共感してあげる事（個性を認めてそれを活かしてあげる事）	3
一部は医療介入も必要	1
学校世代からのフォロー	1
共感できる仲間づくり、引きこもり同士のコミュニティーづくり	1
個々の違いもあり、どれも	1
個人の意見をできる限り配慮してくれる生きやすい環境	1
在宅でできるテレワーク、またテレワークができるスキルの取得支援	1
自己啓発	1
自分が必要とされる場所	1
社会交流の場として楽しく活動したいコミュニティが近くにあること	1
上記の様な方法の相互学習は必要	1
セラピー	1
楽しみ	1
できればメールや手紙等で顔を合わせなくても相談できる、当人同士、同じ境遇の人と話せる場を設ける、インターネットで出てきやすくし、広報誌で案内	1
長い目で見た支援と教育	1
ヒーリング	1
ファイナンシャルプランナーと一緒に、将来何がどれだけ必要なのか、家族と話す必要があると思います	1
ボランティアなど必要とされていることを知ってもらう機会をつくる	1
本人と第三者との対話が必要と思う	1

「その他」内容	件数
規則正しい生活の確立。NET ゲームの規制	1
強制労働施設	1
ひきこもりに対する税金	1

問 30 生活困窮者（就労したくてもできない、住居がない方等）を支援するためのどのような施策が重要だと思いますか。

「その他」内容	件数
GPS の埋め込みを条件に、公的施設（警察など）による身元保証	1
安心できる居場所の提供も大事ですが、本人や親や家族全体が、多分生活に必要な基礎的学習を身に付けていないことが大きな問題だと思います	1
衣食住の提供等の生涯中の保障	1
結局は経済的な理由からだと思う。相談支援されても人それぞれの対策方法は違う	1
現金でなく、フードチケット等、金にならないものを支給する	1
公共労働をしてもらい、対賃を支払う。社会に貢献する事	1
個々の情報に合わせた適切な支援	1
就労できない理由をはっきり伝える事	1
就労できるスキル取得の支援、尺度を上げられると更に良い	1
自立に向けた継続した生活支援	1
心身の健康を害している方に医療費支援	1
生活保護を受けやすくする。空いている市営住宅への入居	1
積極的に家庭に踏み込んで（言葉は悪いが）手を差し伸べ、必ず救って幸せにしてほしい	1
その本人にどうしてほしいか聞く	1
食べる物や生活必需品の現品支給	1
長い目で見た支援と教育	1
フリースペース、話し相手	1
本当に働く気があるのかしっかり調べて生活保護の支給をするべき。身体健全なのに10年近く保護を受けている人がいます。どんな仕事でも半強制的に働かせるべき！	1
まともな支援のできる人材の育成と確保。とここに費用をケチらないシステム	1
必要なし	1

問 32 成年後見制度についてどのような印象を持っていますか。

「その他」内容	件数
よくわかりません	2
近所の知人が金銭管理でお世話になっているが、その方は助かっているようでありがたいと思います	1
後見人が、亡くなった人の家の片付けをされていて大変そうだった	1
今後、少しずつ成年後見人について、知識を得ていかなければならない	1
財産の処分、移動などの自由度が低く融通が利かず利用しづらい	1
財産を管理してもらえるから安心	1
実情にそぐわない法的縛りで、かえって家族が苦しむ結果にもなる	1
市民後見人講座受講済	1
制度の正しい知識と後見人としての手続きの周知が必要	1
成年後継人として承認されるまでの手続きが大変	1
成年後見人制度を利用しているが、問題は無い	1
被後継人の財産使用は裁判所の許可がないと使えない。書類が多い	1
無能力者制度改め成年後見人制度発足以来、家族の密室性は改善されたが、制度の利用となるとやや荒っぽい利用の仕方や後見のつけ方が目立つようになっていると思います	1
必要性がないため	1
名前を聞いたことがあるだけで、よくわからない	1
名称しか知りません	1
質問の意味がわかりません	1

問 34 あなたは、地域住民の協力のために、どんなことが必要だと考えますか。

「その他」内容	件数
おざなりに日頃から集まって交流だけをするのでは、「人間としての知」を活かすことになりません。知的活動をすることが絶対に必要です	1
簡単な方法で、住民の情報交換ができる事（ネットの利用など。）	1
基本は、災害時のみ助け合う。それしかできません	1
自治会単位を小さくして地域の繋がりが良く見える活動にする。参加しやすくする	1
そもそもどの地域にどんな自治会があるのかを、もっと発信すべきです	1
必要なし	1

問 35 あなたは、これからの地域福祉活動に対する行政の支援についてどうあるべきだと思いますか。

「その他」内容	件数
上から目線にならないように、知識、言い回しの育成	1
気持ちの面を動かさないと何も変わらない	1
行政職員は移動があるため、まったくの素人同然かそれ以下の戸籍事務に従事することになります。種々の戸籍が行政処分上の手続きであることにもっと自覚的でなくてはならないと思います	1
自助努力の教育	1
相談（各種）に力を入れてほしい。ひきこもり、結婚	1
地域で互いに協力して生活できる環境づくり（行政の人のみで対処するのはダメ）	1
地域でやれる事をやる	1
まずは個人に努力させる	1
子どもの頃から自立の教育と相談先の周知	1
本当に助けになるか不明	1
必要なし	1

問 36 福祉サービスの水準を維持していくためには、これからの福祉サービスの水準と費用負担の関係について、どのようにお考えですか。

「その他」内容	件数
介護関係等は、民間に任せるべきである	1
現在の水準がわからない	1
現在の福祉サービスを利用していないので、充分、不十分が判断できない。このような質問があるという事は、現状の維持が難しいと考えておられるのがわかる。現状、利用されている方々に、お聞きしたほうが良いのではないかと。またはケアマネなどに	1
個人の健康は、個人で管理する時代に来ているため、必要以上の費用の負担はやめてほしい	1
サービス向上のために税負担上昇ではなかなか無理では。まずは他の費用を削減し、その点を住民に示して、負担への理解を求める事が重要	1
サービス向上は必要だが、若い人の生活費負担は辛い	1
サービス水準を維持しつつ、負担がこれ以上増えない仕組みを考えるべき	1
税、保険の負担が増えると利用しにくい	1
税金の無駄使いを精査し、福祉サービスに振りわけ	1
税金や保険料ばかり上がって生活が苦しくなる一方です	1
税や保険料の負担を増やさず、サービス向上を目指すべき	1
増税に頼らず、福祉サービスは向上させるべき。税の使い方に工夫をするべき	1

「その他」内容	件数
地域により必要性があると思うため、検討する必要はあると思います	1
費用対効果は、求められて当然のこと。だから行政職員も、制度の番人となる事が仕事だと勘違いしている人が山のようにいますが、有益な働きをする事が必要です	1
費用を増やせばサービスの水準を維持できる訳ではないと思う。地域のネットワークをきちんと構築して、市民全体の意識向上に努める事で費用削減ができると思う	1
福祉以外の税金の使い方を含め、考えていただければと思います	1
福祉サービスの指している範囲が解らない。サービス水準の維持も大切だが、今後増加する老人の受入れを充実させてほしい	1
負担が増えてもしょうがないが、現状維持は人口減(担い手)では限界があると思う	1
負担が増えてるだけで、良くなっていると、実感することが無い、わからない	1
不要なサービスを見直す必要はあるけれど、必要なサービスは負担が増えても維持すべき	1
他の無駄なサービスを見直して、上乘せすべき分野に充てるべき。更なる費用負担はその次	1
真面目に40年以上勤労納税してきました。増税、保険料負担もつてのほか。大反対	1
まず、余分な事に税金を使わず(例えば、公務員や議員の人数を減らし)その分、浮いた予算を福祉にまわす	1
老人に対するサービスを減らして、子どもに対するサービスを増やし、子どもを産んで育てたいと思えるようにしてほしい	1
不要なサービスとは何ですか? 1. を選択肢に入れることがそもそも基準が間違っているのでは。	1

問 38 袋井市社会福祉協議会が行う活動や支援として、今後、期待することはどれですか。

「その他」内容	件数
上から目線にならない活動を期待します	1
気軽に相談できる事。専門性を高めてほしい	1
具体的に何を実行し、その目標とするものが何か考えてほしい	1
結婚相談、支援。カップルを増やす活動に情報を収集、実行して。子どもを可愛がって、愛情が届く子育てをすべてのお母さんにしてもらいたい。親子で幸せになってもらいたい	1
子育て介護ばかりで、ペットにも目を向けてほしい	1
相談ではなく、制度として利用できる仕組みが必要	1
手帳所持の等級によって医療費の補助額	1

「その他」内容	件数
何もかもと言うのは難しい。高齢者増化の現在、若者の減少をくい止める事も必要。災害支援等、福祉は広すぎる	1
子どもの時からの自立のための教育。生活設計	1
社協「たそがれ論」が浮上してから早何時か。元々市の下請け作業をやってきたから、社協その独自の性を出せないのです。今問題なのは、福祉制度下で相談の対象にあたり、当の本人であったりする場合は、そのサービスの利用について窓口で本人がどれを選ぶか問題となります。しかし、一度その対象でないと分かるまで、あるいは良く分からない場合、その対象ではないと判断される傾向が高くなっています	1
もっと頑張ってほしい	1

## IV. 自由意見

問 39 福祉全般についてご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

年齢	自由意見
<b>袋井北部地域</b>	
20 歳代	今や全国、各職場でのパワーハラスメントに始まるハラスメント問題。個人、会社の事だから関係ないと言われればそれまでですが、袋井市内に住み働く者としては独自の条例があつて良いと思います。質問内にあつた引きこもりの方への対処として支援すると言っても、上記の側面からも考えていただきたいと思います。悩める一人です。
20 歳代	自分の地域に関する事ですが、バス運行が中止になり、公共の交通機関はふーちゃん号しかありません。町から遠いので、高齢者の人は不便だと思います。人口が少ない地域なので税金はあまりかけられないと思うので、他に良い対策があればなと思います。お子さんがいると両親はフルタイムで働けないので有休を取りやすい制度をつくったり、お子さんを長時間預かってくれる施設をつくったり、子ども関連の制度を重視してほしいなと思いました。そういった制度について情報を良く知らないの、既に支援制度があるのであつたらすみません。
20 歳代	世代関係なく情報を入手できるようにしてほしい。
20 歳代	福祉施設に勤めている者です。もう少し障がいのある方や高齢者の方達の支援を充実していただけたらなと思います。
30 歳代	アンケートが多過ぎる。支援が必要な人に聞いた方がわかるのでは？
30 歳代	以前うつ病にかかり、なかなか仕事に就けなかった時、袋井市役所に相談に行きました。でも実際、支援や相談を受ける場所が浜松（若年者支援？だったかと）で、働いていないためお金も無く、袋井はバス等が少ないため、車で行く事になるので行く事ができませんでした。さらに、駅前なので駐車場代も必要で、袋井から通うのには無理です。磐田、浜松に比べると、支援や相談場所がまだまだ少なく、不便に感じます。周りに引きこもりの家族がいる人も何人かいます。企業と連携した職の支援等、もっともっと社会福祉の充実をお願いいたします。
30 歳代	今後のために若い世代、子ども達への支援活動を充実させて、袋井市に定住するよう促していただきたいと思います。私個人としては、現状でも住みやすいとは思っています。
30 歳代	支援の必要な方々がどの程度、市内に住まわれているのかがわからないため、支援の過不足がわからない。
30 歳代	何をしているのかよくわからない。このアンケートも私は子どもがいるので子育て関係の事に関しては興味あるけれど、高齢者や障がい者のことは今の自分とはかけ離れていて何も知らないのが現状のため、アンケートにはあまり答えられなかった。

年齢	自由意見
30 歳代	<p>この意識調査の結果、どのように実際に行っていく事になったのか教えてほしい。生活保護受給者も、今は新たに受給するための審査が厳しくなっていると思うが、元々受給している人など、なぜこの人が、と思う事も実際にあり、そういう人のために税金が使われているのに、更に税金を増やすのは考えものだと思う。本当に生保が必要な人もいるのは承知しているが、働けるのに働かない、家族全員生保で、更に子どもをつくっている人など実際に見ているので、そういうところは削減していけるのではないかと思う。引きこもりや、自立支援制度が必要な人達も、早め早めの対処で何かできる事はないのか、考えていく必要もあると思う。医療の発展などで、障がい者と診断される事が増えてきているのが現実で、将来的に、障がいをかかえる大人が増えていくと予想できるから、そういう人達が働きやすい環境や施設、周りの理解も必要になってくるとは思う。高齢者が増えているのと比例して、生活保護や自立支援制度が必要な人が増えていけば、未来の子ども達の負担は大変なことになってしまうので、未来に向けて必要な事に税金を使ってほしい。幼保園、浜松市のようにパワハラがあつたりしないか、小中学校の先生が盗撮やセクハラまがいな行ためをしていないか、そのへんも気になる。</p>
30 歳代	<p>妊娠時に陣痛タクシーをお願いしたく袋井市のタクシー会社に電話をしたところ、陣痛時の乗車を断られました。夫は免許が無く、実母も離れて暮らしているため、現状によっては自分で運転して行くほか手段がありませんでした。周りに同じような話をしている友人が何人かいます。磐田や掛川では講習を受け、陣痛に対応してくれるタクシー会社があります。袋井は子どもに対する支援が進んでおり、子どもも多いので、みんなどうしているんだろう。なぜ袋井にはこのサービスが無いのだろうと不思議でした。陣痛時、運転をしてはいけないと言われますし、救急車を呼んではいけないと言われます。何か支援があると嬉しいです。</p>
30 歳代	<p>福祉全般について正直聞いたことはあるが、内容を知らないということが多くと改めて感じました。そのため制度やサービス、施設について知る機会を増やす。具体的には、広報にわかりやすく読みやすい内容で載せる。市役所などでの待ち時間に読めるように、目に入りやすい場所に内容を掲載したポスター等を掲示すると、なんとなく気軽に読めていいのかなと思いました。自分が興味がなかったり、利用しない事だったりすると意識して読まない、調べない。なので、なんとなく読めるというようにすると後々「そういえばどこかで前に読んだな」となると思うので。</p>
30 歳代	<p>未就園児が市内で遊べる室内の遊び場がほしい。有料でもいいので。冬の時期は支援センターでは狭く、風邪ももらいやすい。広い場所がほしいです。さわやかアリーナの室内も期待していますが、現状では遊ぶものも少なく、30分が限度かと思う。島田市のび〜ファイブはまだ音楽広場へよく行くのですが、2歳の子はとても楽しいようで、「また行きたい」と言います。袋井市内で「また行きたい」と言う所はありません。福祉全般と違うのかもかもしれませんが、検討してほしいです。</p>



年齢	自由意見
40 歳代	安心して生活できるように、これからもよろしくお願いします。
40 歳代	いつでもどんな人でも困っている事を相談できる窓口があると、皆、心配なく人生を過して行けると思うのでよろしく願いいたします。
40 歳代	近所のおじさんが、立ちションをして困っています。相談を市役所、警察、どこにしたら良いのでしょうか。年に数回遭遇、わざとか。とても不快です。
40 歳代	現在、身近に福祉の必要な人がいないため、内容や施設に関しても、知らない事が多いです。今回のアンケートでも協力できず、勉強不足ですみません。講習や、活動には、仕事の関係でほとんど参加できないので、市のホームページなどで、わかると良いです。自分の税金もどのように使われているのか知る良い機会だ、と思いました。
40 歳代	今回、アンケートに答えさせていただきましたが、アンケートの質問内容が十分理解できていない所もあり「これでいいのか」と不安に思いながら回答させていただきました。まだ、自分ごとと真剣に考えたことのない分野もありました。ただ、災害に関しては、情報を得過ぎるという事はないので、いつも最新情報を提供していただきたいと思います。我が家は、まだ学校等に通う小さな子ども達（3人）がおりますので、安心して住める袋井である事を望みます。よろしく願いいたします。ありがとうございました。
40 歳代	サービスの質を落とさず、かつ負担が少ないのが理想です。今、私たちは税金をたくさん納めていますが、自分達が年をとって福祉サービス利用する頃には、その税金分のサービスがしっかりと受けられるのかわからないので。
40 歳代	ボランティアに興味がありますが、何となく興味があるだけなので、実際活動することには至っていません。ボランティアなどに強い気持ちがある方は情報が少なくても活動されるかと思いますが、「ちょっとやってみたい」ぐらいの人はなかなか参加できないかもしれません。気軽にボランティアに参加できるシステムがあるといいですね。自分ができること、やれる時間で何かできたら良いと思っているのですが…。
40 歳代	私はひとり暮らしです。今後も一人で暮らしていくと思います。兄弟とも交流はあり、命にかかわるようなことがあれば頼れると思います。しかし、なるべく兄弟の手を借りることなく暮らしていきたいですが、生活をする上で不自由な事が多いです。保証人の問題等。それよりも、信用が無いということもあります。町内会費を払っていますが、今、地震がきても、町内会に受け入れられるとは思っていません。一人で生活していても受け入れられる世の中と、人に迷惑をかけずに普通に生活できる（法等の）整備を期待します。
40 歳代	子どもが小さい時は祖父母に預けることができず、子どもの預かりの支援があれば良かった。年を取れば、介護の支援を望み、病院、施設への送迎も望むと思う。こういうことを望むことは、地域とは自治会ではなく、袋井市全域という事になるのかも知れない。災害についてもあまり考えていなかったなので、周りの人とも話をしたいと思う。今の考えはこのアンケートに記入しましたが、これからまた違う考えを持つようになるかも知れません。

年齢	自由意見
50 歳代	<p>行政に頼る福祉にも、今後、少子高齢化、生活多様性など、社会の変化において限界が心配される。市内の地域性もあるが、住民レベルや自治会活動が重要となると思う。但し、市内サービスの偏重にならないように、郊外地域に対してもしっかり目を配って（見える化を）ほしい。子どもを持つ親として、在住地域に気悪を感じる。ここ数年、中学生の不登校が集中して多いと感じる。個の問題、小学校地区から大規模な他地区での中学校での環境の変化も原因だろうか。行政が、なぜ真剣に実態調査・分析、対策、問題視されていないのか。何らかの対処がされているのか、いないのかが不透明。行政、学校、地域、家庭の連携でぜひお願いしたい。</p>
50 歳代	<p>福祉としてサービス提供を述べる前に、窓口の対応の悪さを根本的に考えるべきだと。困っているから窓口相談に行っても、親切な対応をされた事はありません。解決の糸口どころか、嫌な思いをさせられたことが多々あります。書類を一方的に送ってくる訳だから、その対応をするのが本来の行務であるのに、デスクに向かっているのは誰が来たのかもわからないのでは。送られた書類も理解できず、説明を求めても無愛想に対応して来たり、またそんな対応を受けるのかと思うとどれだけ福祉充実に向けてをうたっても…残念の一言です。</p>
50 歳代	<p>ボランティアは、受ける人⇔提供する人の情報が単純で明確な方法で、わかりあえるやり方があると便利だと思います。（求人募集などのスマホのアプリなどのように）実際の活動は、コーディネートする人があればなお良いけれど、そこまでは予算が無いかもしれませぬね。あと活動が終了後は、やってみた人（受けた人も）の感想、情報（こうするともっと良かった…などの）を蓄積したり、マニュアル化して不安や不満を少なくしていくなど。自分もボランティア経験がないけれど、一歩足を踏み出す勇気が出るような安心材料があるといいなと思います。</p>
60 歳代	<p>行政が進めている福祉事業には何があるのか、情報が見えない。広報配布で拝見しているが、今一つ解らない。</p>
60 歳代	<p>この調査で知った事柄が沢山ありました。勉強不足です。今後、高齢者が増えていくので増々社会福祉が重要になります。</p>
60 歳代	<p>地域福祉の推進は大変重要だと思います。但し、住民に一律に強制や負担を求めるべきではなく、できる範囲での協力を求めて行く事が望ましいと思います。</p>
60 歳代	<p>夫婦 2 人の家庭です。将来的に運転免許を返納した後の医者、買い物等の手段など、老後生活のすべてが心配です。</p>
60 歳代	<p>ほとんどがボランティア活動に関心を持つ人も少ないし、タダ働きというイメージが強い。ある程度報酬をつければ関心が強まるのでは…。見返りを求めるのではなく、ある程度は会社制度的な、アルバイト的な報酬をつけてやれば、興味なりやりたいという方が増えるのではないかと考える。</p>

年齢	自由意見
60 歳代	<p>問 38 の続き。一番に取り組んでほしい事は、近所でも 30 代、40 代の独身の方が多いので、1 月にテレビでやっていたカップルをつくる喫茶店のオーナーなど、市では様々な情報を得ながらカップルをつくる機会を増やす力を入れてほしい。次に取り組んでほしいことは、核家族が増え、子育てに忙しい親が増えている。そんな中で、幼児虐待に近い行いはあると思う。孫のいる祖父母はその子を可愛がるが、祖父母もいない、手伝ってもらえない親もあるだろう。また、祖父母の口出しを嫌がる傾向もある。お母さんが子どもを可愛がっているだろうか。子どもが声を出してケラケラ笑っているだろうか。お母さんの愛情が届いている証拠だと思う。親子で幸せになってもらいたい。もう一つ取り組んでほしい事。引きこもり支援。様々な情報を収集しながら、その人に寄り添いながら、合う仕事は必ず見つかると思うので、見捨てる事はしないで見守ってほしい。袋井市が市民に感謝される愛ある街に、力を入れてください。</p>
60 歳代	<p>私は広報でしか見たことがないので、あまりわかりません。今後は世話になるかもしれないのでいろいろと教えてほしいです。</p>
60 歳代	<p>私は自立支援受給者（精神通院で 1 か月入院しています）です。福祉にもボランティアにも参加したいと思いますが人の集まる場所等々、恐怖で家から出る事ができません。会社も正社員だったのを退職しました。企業側が協力的で、自分に合う仕事をさせてもらえるようにしてもらい、今は月に何日か、人と会わなくても良い仕事をアルバイトで働いています。それでも家から出る事が無理で、1 か月以上家から一步も出れませんが、こんな私でも解雇される事無く働き続けていられます。しかし、こんな生活では生活費すら無くて、年金とバイト代でも毎月赤字です。働きたくても働けない人間は、年金が入るなら何も行政はしてもらえないのですか。助成年金はこういった人達がもらえているのでしょうか。生活保護を受けた方がよほど食べるお金にも困っていないようですし、その基準はどこにあるのでしょうか。</p>
70 歳代	<p>現在、認知症で要支援 1 のひとり暮らしの姉を持っています。後見人になって初めて、市の福祉系のシステムを知りました。相談もしたことがありますが、実状と理想のギャップがあり、どこまで利用すべきか、どのようにすべきかが後見人としての悩み多い現在です。模索状態の時、本音を吐くことで心が軽くなりたいと思うこともありますが、無理なこととはわかっています。福祉による難しさも感じます。</p>
70 歳代	<p>児童教育についてははるか昔の事です。幼稚園に通園していた頃は満足でした。（3 人の子を育てたが、現状の保育園の事はわからない。）母を引きとって面倒みました。老人施設へも通ってお世話になったけど（3 年位）、市内の施設ではなかったので（森町）、回答は避けた。最後は 7 年位特老にもお世話になったけど、ここも浜松の施設だったので回答を避けた。（袋井市内は断られたため。）</p>
70 歳代	<p>自分自身高齢のためにこれからお世話になる事が多く、現在の自分の気持ちに対する回答だと思ってください。</p>

年齢	自由意見
70 歳代	市の人口の何%位、福祉のお世話になる人がおるのでしょうか。
70 歳代	<p>現在私 70 代です。大変恐縮ですが若かった頃を思い出し、書かせていただきます。当時 35 歳だと思いますが、夫の退職金をだまし取られ、家を手放し、借金だけが残りました。幼子 2 人育てていかなければと思い、福祉関係の方だと思いますが（国本の方）家まで来ていただき、何かと相談にのっていただきました。今でも感謝しかありません。国本の方に市役所の福祉課に行っただらと言われ、窓口に行っただら（手続きをと思っただら）、窓口の方の一言が胸を刺す言葉で涙が出てきました（今でも思い出すと涙がでてきます。）。（再婚したらすぐ言ってくださいね）態度は悪かったですね。誰も好きで離婚したわけではありません。生活のために困って窓口に行っただらのに、自分自身情けなく思いました。母子家庭で子どもが成長するまで必死でした。8 時間働き、夜は内職。今振り返ると、福祉の助けと若さで乗り切れたと思っただら。ありがとうございました。窓口での対応は優しく願っただらいたします。乱筆にて。</p>
70 歳代	<p>少子高齢化の時代、人間関係が希薄になったと言われるようになって久しい。それは今後一層酷くなっていくと思っただら。このような時代に誰もが人として尊ばれ、生きる喜びを感じることができるためには社会福祉は欠かせないものであると思っただら。とは言え、私自身意識調査をやってみてあまり知らないことの多いことに驚き、関心が薄かったことを反省した。福祉に関して直接関わることがないと、私のようによく理解していない人が多いと思っただら。周知されることはなかなか難しいことと思っただら、市民にわかるように情報を提供していただくことを願っただらしたい。福祉を理解することによって、身近で助け合うことによさやボランティアに参加する人が増えること等が期待されます。</p>
70 歳代	<p>袋井市の社会福祉関連予算の減少が気になります。厳しい財政事情の中、いろいろな工夫が必要と考へます。例えば、子ども医療費無償化の中で薬剤に関して親は後発医薬品、子どもは先発医薬品が数多く見られます。子どもが後発医薬品のある先発医薬品を使用した場合、薬剤費のみ 3 割負担とするのはいかがでしょうか。生活保護者は当局の通知で後発医薬品使用が MUST になっていることから、制度矛盾もあります。次に、市民後見人制度の速やかなる実行が必要と考へます。3 市 1 町で市民後見人講座が昨年度より開催され受講しましたが、袋井市はいまだ市民後見人の活動が開始されていません。当局からの伝達を踏まえた形ばかりの制度導入は、他の市と比較して寂しい限りです。次に、地域福祉の具体的組織づくりが必要と考へます。私の住む地域ではコミュニティセンターの福祉部は、自治会役員のアて役職になっており、前年踏襲の繰り返しです。市が中心になり、社協、自治会、民生委員、専門的なボランティア等からなる組織を形成することが大切と考へます。</p>
70 歳代	<p>私は東地区に住んでいます。東小学校の近くには、公民館、コミュニティーセンターがあるが、東幼稚園を上手に使用して、年寄りの憩いの場所にしてほしい。東幼稚園の周りで</p>

年齢	自由意見
	家が増えて 65 歳以上の人が多数いますが、皆様、交流する場所も無くて家にこもっている人が多数います。
70 歳代	生活困窮支援をしてほしい、家庭訪問をやった方がいいと思います。困っていたら支援してほしい。何か困っている人もいます。特に介護されている方もいると思います。この方に何か手伝い、何か聞く人もいいと思います、そう支援をなさったらいいと思います。
80 歳代以上	80 歳を過ぎ、車の運転をやめた。この頃一番困っていることは通院と買い物です。近くに店もなく、子どももない私は、少ない国民年金と高額の税金で途方に暮れています。お米やおかずを買いに行くこともできず近所で野菜をもらっていますが、通院だけは本当に困ります。薬がきれてもタクシー代の事を考え、ついそのままにしています。福祉とはいえ、サービスの紹介や相談窓口があっても最終的にはお金が絡んできますよね（専門員によるマニュアルや説明は役に立たない）。市民に意見を聞いてアンケートをとって、これがどんな事に役に立てるのですか。困っている人に対しても福祉でできる事を今一度お考えください。個人情報不漏らす支援員、民生委員がいるので信用できない。
80 歳代以上	今頃ひきこもりの話をよく聞きます。市内でも相当数の人達がいると思います。親も老いてくるし、家庭内でも心配が尽きないと思いますので、この問題を相談できる場所を話し合ってもらいたいものです。
80 歳代以上	多くの老人の心配は、農地の保全ができない。特に、温室跡地、普通畑。地目変換をもっとゆるやかにしてほしい。農業を担う人がいないのに、農地保全は無理である。労働のストレス解消のために、家庭菜園を市で勧めてはどうか。例えば第一子誕生で柿一本植える、第二子誕生でみかん一本植える、家庭消費野菜の自給等。家族で土に親しむ、長期にわたる人生の楽しみ方を勧めてほしい。家族は健康であるし、3 世代家族、親族も近隣で行き来もしているので、特別な心配はしていない。長男に、耕作できなくなり耕作放棄地になってもしかたないと説得している。
<b>袋井中部地域</b>	
20 歳代	今、介護の仕事に就いています。私は 20 代なのですが、同じ年代で介護職に就いている人が少なく、全体的にみても若者が少ないと感じています。世間からのイメージでは給料が安い、とても大変などとやはりいいイメージが少なく、なかなか介護の道を選んでいただけないのが、若者が少ない理由の一つなのではないかなと思います。もちろん、どの仕事も大変ですが、介護の仕事にしか味わえないやりがいがあったり、いろいろな人生を自分の目で見て感じる事ができる。介護の仕事はとても大切で、素晴らしい職なんだというのを、もっともっと広めてほしいな、と思います（特に若者向けに）。そういった体験を開いたり、介護の人との話し合いやセミナーなど、何か若者向けに介護の世界を知ってもらえるようなイベントなどをしてもらえたら、働いている自分にとってものすごくうれしいです。このようなアンケートをいただけて大変うれしかったです。なかなか実現は難しい

年齢	自由意見
	<p>と思いますし、様々な仕事で忙しいと思いますが、このような意見もあるよ、ということ          でよろしくをお願いします。</p>
30歳代	<p>高齢者・児童施設の料金を安くしてほしい。児童手当を良くしてほしい。</p>
30歳代	<p>子育て支援センターや、チャリティバザーを利用させていただいています。ふれあい広場          では、手話、点字を学ぶ体験ができ、興味深かったです。定期的にこのような開かれたイ          ベントがあると嬉しいです。子育てに関して、特に生後1か月まではちょっとしたことを          聞きたいし、相談したいと思う事が多くありました。病院や保健センターに電話するほど          のことでもなく、どこへ相談してよいかわかりませんでした。初めての子どもでも不安が尽          きず、気軽に相談してよい所は何処だったのかわかると嬉しいです（マタニティスクール          等で紹介があれば）。</p>
30歳代	<p>知らないサービスが多くある事を知りました。本当に必要な人に情報が届いているのかわ          からないので、改善した方が良いと思います。また、不必要なサービス、求められていな          いサービスへの支出を減らして、本当に必要なサービスの質を向上させるとともに、宣伝          も増やしてはどうでしょうか。磐田市のように子どもの医療費支援を強化してほしいです。          ごみ袋をもう一つ大きいサイズをつくってください。あと、袋に持ち手がほしいです。</p>
30歳代	<p>税金を無駄なく効率よく使い、必要とする市民に行ってくださいることを切に願います。</p>
30歳代	<p>福祉サービスの水準を維持するのに税金を上げるのはわかるが、低所得者の負担も増える          のは納得いかない。高収入者が負担すべき。無駄な建設など抑えるべき。政治家などの給          与も抑えるべき。消防団活動についても訓練等多すぎ。また、家族優先と言いながら消防          団優先になっている。片手間でできるくらいにしてほしい。</p>
30歳代	<p>袋井市は、子育て支援が充実していると実感しています。引き続き、子育て支援の充実を          図ってもらえたらと思います。また近年発生している洪水など、防災に強いまちづくりを          希望します。集中豪雨等で道路が冠水してしまうところが散見されますので、まずはしっ          かり対策を行っていただきたい。次に生活道路です。他の市に比べ道路の損傷が多いよう          に感じます。袋井は走行しづらいと思われてしまう事もあると思います。住みやすい袋井          を目指すのならば、計画的な補修はもちろん、長い距離での道路補修をお願いしたい。</p>
40歳代	<p>遠方からこちらに引越して来た際にボランティア募集の情報を探しましたが、インターネ          ットにまったく情報が無い事に驚きました。やる気はあるが機会が無く（情報が無く）、          活動機会のない人は他にもいるのではないかと思います。その他いろいろと地域外出身者          には住みづらさを感じていて、近いうちに他の市に引っ越す事を考えています。</p>
40歳代	<p>市役所内に〇〇課、〇〇係が多すぎる。効率化を図るべき。アンケートを取らなければ市          民の実態を把握できないことがおかしい。アンケートの質問内容は誰が考えたものなのか。          これが何か役に立つものになるとは思わない。</p>

年齢	自由意見
40 歳代	福祉はすべて「人のため」なので、そこに関わる人を増やし、予算が必要なら使ってほしい。困った時に頼れるは当然で、普段から気軽に頼れるような場所があったり、人がいたりするとよいと思う。
40 歳代	福祉は、必要になって初めてありがたみがわかります。どういう状況だとどういう支援が必要かは、当事者でないとわかりません。また自治体の状況(人口や財政など)により、できる事も違うと思います。また保障内容も税負担とのバランスで決めてほしいです。支え手が減る現状では、保障もそれに見合った内容に変えていく必要もあると思います。何に税金を使うかにもよりますが、必要なら比率を変えて対応するのが現実的では？
40 歳代	身近な相談窓口の開設（今よりもっと身近に）。これに伴う守秘義務の安定。地域から一世帯一世帯の現状把握。どんな取り組みにも「デメリット」や「危険性」を伴うと思います。現状の暮らし（自分自身）では「わが身」にならないと考えられなく申し訳ないと思いますが、今の暮らしも精一杯かと思ひます。わからないのが正直な気持ちです。
50 歳代	外国人労働者や母子父子家庭等、社会的弱者（特に子ども）が将来に希望を持てるように、社会全体でバックアップできる方法、政策の立案、実施を願ひます。
50 歳代	質問がよくわからない箇所もあり、回答が矛盾しているかも知れませんが。
50 歳代	知らないことが多すぎる。施設の利用の仕方やどのような人が利用できるのかとか、まったくわかりません。
50 歳代	地域の高齢化が進み、世帯のほとんどが高齢者のために支えきれなくなっている。何か起こっても手が届かない状態である。地域活動、自治会役員活動、コミュニティ活動等すべて若い世代が担っている。そろそろ限界で今の地域を離れたいとも思う。また持ち家を止めたいとも思う。
50 歳代	防災訓練についてですが、今年9月と12月の防災訓練は廃止していただき、これからは命を守る想定外の訓練をやっていただきたいと思ひます。なぜなら、災害はいつ来るかわからず、命を守ることが第一なのでよろしくお願ひします。役所は、人の命を守ることを第一に考えてほしいです。浅羽地区の自治体から連絡があり、防災訓練は参加しないようにと連絡があったので、それに従うこととして防災訓練参加しないことに署名、捺印をして浅羽地区の自治会に提出いたしました。浅羽地区の自治会では、今年から9月、12月は廃止の方向で住民に話して納得してもらっているそうです。防災訓練に参加しない地区は、浅羽地区、堀越地区、かやま地区、宇刈地区、上山梨地区、下山梨地区ですが、これからも参加しない地区が出ると思ひますので、検討をお願いします。
60 歳代	66歳女性です。何年か前から視野が狭くなり、物を見る事が不自由なっています。このように書面でアンケートをお願いされましても、読むことができませんので主人に読んでもらいながら答えはしましたが、今一つ気持ちをお伝えするようなことができなかったと考えています。免許も返納し、道路を横切ることもしない私のような者に、なぜタクシーの補助とかが無いのでしょうか。

年齢	自由意見
60 歳代	願望や孤立している人が、福祉に対して窓口をたたくことが苦痛でさらに悪くなる。自分は、身体が悪くなったら1人でわからないところで死ぬ、困っている人がいるのではないか。窓口優先だから、これからもっと出てくる。
60 歳代	自分の事だけで手いっぱいな毎日ですが、福祉に協力したいとの思いは持っております。誰がどんな事で困っているのか、情報がない。プライバシーがあるのでなかなか難しいのかもしれない。
60 歳代	少子高齢化が進む中、今後福祉の充実が重要ですから、多少の税金増もやむを得ないと思います。市役所しあわせ推進課の職員を増やしてはいかが。
60 歳代	先日のテレビで、この先必ずやってくる地震、その時に困らない準備と用意と言う内容をやっていました。災害時の緊急対応を個々に、もっとしっかり本当にやらないといけないと実感いたしました。もっともっと指導や助言が必要ではないでしょうか。「私の家族でもなんとかなるのでは…」と言う本音があり、本気でもっと考えてほしいです。
60 歳代	地域で一緒に行動してくれる人が必要。
60 歳代	使っている言葉が難しい。役所言葉そのもののような印象を受けた。また、アンケートの項目が多い印象であった。
60 歳代	何か行動をおこさなくてはと、頭ではわかっているのですが、ボランティアに参加したい気持ちはあるのですが、シフトに入ってしまうと急な用事があった時に迷惑をかけないか。ボランティアにはいくつもの種類があると思いますが、自分にできるか心配。対人関係に気を使う性質なので踏み出せない。障がいを持つ家族がいるので自由に行動できない。空いた時間と思うが、不定期なので考えてしまう。できない事ばかりを書いてしまいましたが、できる事をみつけるよう努力し、社会福祉に貢献していけたらと思います。
60 歳代	福祉全般の組織と役割とそれぞれの実施項目と最終的な目標を具体的に知りたい。このアンケートの結果から何をするのか、広報で提示してください。結果のみではダメです。
60 歳代	福祉の重要性は、福祉を受ける当事者になった時にその「ありがたさ」を痛感すると思います。私自身からすると、一番理解できていないことは「障がい者福祉」についてです。どうしても当事者として、その必要性を論じることができないもどかしさがあります。高齢化に関しては、迫りくる近い将来の不安はいくつもあります。その意味において、今から福祉についてしっかり考えていきたいと思います。
70 歳代	<p>高齢化が進み、高齢者の一人住まいが増加している。平常時はもとより災害等緊急時の安否確認が確実に把握できる体制が望まれる。</p> <p>シニアクラブ参加者の減少対策として趣味、会話等幅広い遊びの場を設け、楽しく参加できる機会を設ける事が大切と思う。輪投げやゲームだけの活動には魅力を感じない。</p> <p>民生委員なども地域に対してどんな活動をして良いのかバラツキがある。いろんなタイプの委員が必要であり、活動の内容も研究した方が良い。</p>



年齢	自由意見
70 歳代	71 歳。まだ健康で働けますが、人生 100 年とは言っても健康・年金はそんなに長くない。あと何年元気で働けるかわからない。身体が少し不自由になっても自分の家で暮らせるように、支援してもらえたら嬉しいと思っています。
70 歳代	今まで自身の生活にそれ程支援を必要とする事が無かったので、福祉についても深く考える事は無かった。自分の母親に介護が必要になった時に、ケアマネジャーのとても親切な行いでサービス支援を受ける事ができて良かったと思います。
70 歳代	今回のアンケートに協力する中で、言葉は知っているのに内容まで知らないということが多すぎる事に気づきました。今後知ることで、充実した人生が送れるのかと思いました。ありがとうございました。
70 歳代	今後 5～10 年以上先、今までの延長線上では対応できないことを現実感をもって市民に知ってもらおうことが、市として一番大切な事と思います（今までのような福祉は維持できない。それも、想像以上に深刻な状態。）。根本的には、自分の事は自分で対応する必要がある。そうせざるをえない日本になる。それは、市、県、国からは言いづらいことではありますが、それを市民に知ってもらおうことが、情報を持っている行政の責任だと思います。現在山間部等で発生している状態が、我々地域でも発生する。しかも、その時には今のよう行政はお金が使えなくなる。
70 歳代	自分が元気な時にやれることをやって、人とのかかわりを大切にしています。
70 歳代	自分は袋井市民の一人として普通に生かしてもらって、毎日の生活は底辺の一員と頑張っ、周りの人達に迷惑を掛けないように生きていきたいと思っています。
70 歳代	少子高齢化を迎え、今後福祉は重要度が増すと思う。特に高齢世帯や老々介護世帯が多くなり、福祉サービスが生命線になる。情報発信も大切だが、福祉的に訪問し、支援をしてほしい。また近年、ひきこもり問題もあり、先般東京で父が子を殺める事件があったが、家族は悩み続けた結果の行動と感じている、命を守る最前線が社会福祉ではないか、家庭内の事はなかなかわかりづらいが、情報を得たらすぐに対応する体制を築いてほしい。袋井市の社会福祉に大いに期待している。誰もが安心して暮らせる社会になるよう願っている。
70 歳代	町内に災害時等に手助けが必要な人がいても、個人情報関係でわかりません。また、民生委員も教えてくれません。これではいざという時、役立ちません。どこまで公開するか問題でしょうが、考えるべきです。
70 歳代	福祉とは少し違いますが、この場をお借りして要望を書きます。昨今犯罪が増加しています、袋井市全域に、防犯カメラ設置をお願いしたいと思います。一度に多数の設置が無理でしたら、せめて各地区に 10 台～20 台の設置を計画的に進めていただきたいと思います。計画が実行に移せるときには、広報誌にて時期及び台数の発表をお願いいたします。

年齢	自由意見
70 歳代	<p>昔に比べ今の世の中は便利になり過ぎて、一人でいる方が楽で、人とのかかわりを持つのが面倒という人が増えています。また、生活が困れば国が何とかしてくれるという甘えがある気がします。料理をつくるのが面倒くさいとコンビニへ、そして子どもにはスナック菓子とジュースが昼食、服は外でぬぎっぱなし、新しい服でもそのままほったらかしでゴミ。このような親を見かけます。そのような親に育てられた子どもは大人になるとまた同じような人生を送る負のスパイラル、国の損失です。そのような親には特別に市から個別に生活全般の教育をしていただきたいです。また生活保護、子ども手当等の福祉は十分行き届いている気がします。本当に生活に困っている人（節約しても節約しても困っている人）にやるべきで、計画性のない無駄なお金の使い方をして生活保護をもらっている人もいような気がします。いつの間にか天引きされる税金、大切に使ってほしいと思います。家族に引きこもりのいる方は、近所にその事を話したがない。また隠そうとするので、私達も声をかけにくい。できるだけ外に出て悩みを話す事により、引きこもりの本人とばったり会っても声をかけやすくなり、本人も外の空気のおいしさがわかるのではと思うのですが…。広報無線 90%聞こえません。外に身を預けても、肝心なところがまったくと言っていいほど聞こえません。</p>
70 歳代	<p>後期高齢者になり、先の不安ばかりです。自分が誰だかわからなくなる、認知症がこわいです。老人ホーム、介護付きホーム、いろいろなホームが沢山できてます。聞けば 15 万～20 万円。とても自分の年金だけでは入れてもらえる所がありません。どうして高い所ばかりなのでしょう。25 年間厚生年金掛けて働いてきましたが、年金だけでは足りません。ボケないように身体が動く限り、生活したいものです。失礼いたしました。</p>
80 歳代以上	<p>高齢者にとって、今最も大きな困難不安は交通難です。ひとり暮らし、夫婦二人暮らし世帯が増加する中、楽しみの会、買い物への足、そして病院への足すら確保できない現実は無視できません。買い物は販売車の訪問、医療は訪問医制度の充実等々の方向を考えてもらいたいし、地域で楽しむ会への参加も地域で話し合えるかと思います。金銭的にも負担になっている交通難状態の早急な解消を要望します。それに関連して、生保家庭が車を持つてはいけないという決まりは廃止すべきです。</p>
80 歳代以上	<p>地方では、緑が随所にあるので、道路の片側を平らにして、自転車、または自動運転のできるもの（免許のいらない）で通れる道をつくってもらいと、自動車が無くても老人にはありがたい。買い物をするのに市バスが 1 日 2～3 回走ると助かる。（ふくちゃんバス等。）</p>
<b>袋井南部地域</b>	
20 歳代	お仕事、頑張ってください。

年齢	自由意見
20 歳代	福祉全般が市民全員を対象にしているのだろうと思うが、必要に迫られなければその実感が無い。そのことが、いざとなった時に困り感が大きかったり、不安になる原因だと感じる。高齢者介護の面では温かい援助をいただき、非常に助かった。幼児、児童に対する福祉支援がもっと充実していくと理想的だと感じる。少しでも少子化が改善していくよう、袋井市として対策、援助をしてほしい。将来を担う子ども達をもっと大切に、援助、支援の充実を希望する。
20 歳代	医療関係の仕事についているため、親御さんの介護、老々介護等、ご本人様だけではなく、ご家族の方々も疲れ切っている場合が多いと感じる事があります。ご本人はもちろん、ご家族も心身共に負担が少なく、QOLを維持できる生活を送れるようにサポートを「医療」と「福祉」の連帯で行えればと思います。 また家事と育児、仕事を両立されているお母様、お父様が多いこの時代に、両親御さんの負担、ストレスが少しでも軽減できるような支援などあれば、何かしら推進していただけたらと思います。よろしく願いいたします。
30 歳代	質を下げて時短する働き方改革が散見されますが、まったく納得できません。AI の活用で効率化をしてください。
30 歳代	市民税等による税収 UP をするのではなく、問 36 で回答したようにニーズの少ない福祉の規模を縮小、もしくはそのものを廃止する等し、高齢者支援や児童福祉に注力してほしい。特に児童支援が充実すると子育て世代が袋井に越してくるようになり、財源確保に大きな影響を与えることができると感じる。磐田市は児童の通院は 100%支援ということが決め手となり、袋井ではなく磐田に住むことを決めた同僚がいる。
30 歳代	待機児童ワースト 1 位の改善をよろしく願います。
30 歳代	認可保育所が少な過ぎる。近隣の市に比べて保育料が高い。公園の遊具が遊べなくなっているものが多く、子ども達が残念がっているので早く対処してほしい。袋井市は子育てしづらくなってきている。もう少し子育て世代が住みやすくしてほしい。
30 歳代	子どものいない夫婦だけの家庭だが、2 人とも元気に就労しているので、福祉と言われてもあまりピンとこないのが現状です。今回のアンケートで、福祉と言っても種類が多岐にわたっていて、すべてを理解して自分の求める支援を探し、助けてもらうことができるだろうかと少し不安に思えました。悩みを抱えている人ほど、なかなか自分に合った支援にたどり着けないのではないかと思っているのです。そういう人達の目にとまる情報の発信の仕方が必要なのか、等と思いました。
40 歳代	アンケートに答えるのは良いが、アンケート量が多すぎて疲れる。疲れて間に答えたくなくなる。
40 歳代	業務が複雑化し、働き手すら何処に相談して良いかわからない。介護・医療も区分けできない社会の中で、福祉のみ推し進める事は困難。担当する方々も長期間、同じ部署に勤めてほしい。

年齢	自由意見
40 歳代	<p>(問 16～21 に関して) 社会福祉に関わるボランティアなどは簡単なものであればボランティアが良いと思いますが、送迎などは命に関わる事も考えられるので、その職業についている方が行った方が良いと思います。</p> <p>(問 25 に関して) 1 に○を付けましたが、詐欺等の問題もあるので一概には言えないと思います。</p> <p>(問 28 に関して) ニュース等を見ていて、主に母親だと思いますが、配偶者から DV を受けて心理的に拘束される前の健康な時に逃げられたら、どれだけの子どもと母親を救えたかと思う。</p> <p>(問 29 に関して) ひきこもりにも段階があって、まったく人に会いたくない→人に会ってみたい気もする→誰かと話がしたい→自分にできる事があればしてみたい、となる方もいれば、ずっとひきこもって生活される方もいると思います。本人の状態を把握せず、周りが積極的に介入すれば逆効果になるでしょうし、情報を提示しておくくらいが良いと思います。ひきこもりの方にとって 4, 5, 8 の項目はプレッシャーだと思います。仕事の事を考えられるのは後々ではないでしょうか。</p>
40 歳代	<p>子どもが一人おりますが、高所得ということで児童手当が月 5000 円です。所得に応じて相当な額の税金を納めています。一生懸命働き、それに似合ったお給料を得ても随分な額を納めた末、児童手当の減額。第二子をもうけることも考えてしまいます。収入に合った税金を納めた事で平等とみなし、児童手当は一律にすべきではないでしょうか？このような現状で少子化が改善されるのでしょうか？ご検討、対策のほどよろしく申し上げます。例、対象者の収入を 1,500 万円以上にする等、現在の中途半端な額をやめる等。収入がそこまで高くなくても子どもが多く、全額支給されている家庭のほうが生活が安定しています(税金も少ないため)。</p>
40 歳代	<p>困った人に手を差し伸べる事が福祉でしょうから、困った人が手を挙げられるように、環境を整えれば良いのではないのでしょうか。生活が大変な方ほど情報弱者の傾向もある事から、情報発信の工夫も必要でしょう。最近は何でもスマホでググる時代ですから、そのへんを意識してはどうでしょうか。多少生活苦しくてもスマホは皆持っています、多分。</p>
40 歳代	<p>市内に子どもがいる世帯で貧困家庭があるとしたら、衣服、学用品、育児用品等の支援(無償で譲渡)できる仕組みがあると協力できると思います。子どもが成長し、処分する度に、必要な家庭があればあげるのに…と思います。福祉支援には人員も必要になるので、難しいとは思いますが、赤ちゃんや小さい子どもを抱え、悩んでいるお母さんがいないようにお願いしたいです。</p>
40 歳代	<p>先日、電話をすることがありましたが、対応してくれた方がとても早口でした。忙しい時に質問をしてしまい、申し訳なく感じました。相手が見えない分、ゆっくり話をしていたらと高齢の方は良いかと思いました。</p>

年齢	自由意見
40 歳代	<p>自分はフルで仕事をしています。今後、年金は70歳までもらえなくなると思います。自分は70歳まで働き、税金を納めたいと考えています。そのため、定年後の仕事について用意してくれるとありがたいです。また、女性が仕事するだけで多くの税金を確保できます。子どもが減少して行くのは目に見えているため、男女が働くのは必然と考えています。さらに定年後の労働力の確保が、地域維持のために必要です。サービスの充実も重要ですが、働ける人に働ける環境を提供するのも大事だと思います。</p>
40 歳代	<p>障がい者やひきこもりに関する事は、正直なところ、当事者でないのであまりよくわかりません、本当に困っている事や改善点は、当事者にアンケートを取るのがよいのではと思います。自分の住む地域では、他県や他市から引っ越して家を建てる世帯が増加しているように思いますが（昔から住んでいる住人も大切ですが）、そういった人たちが地域に参加しやすいよう、工夫したり意見を聞くのも大切かと感じました。</p>
40 歳代	<p>先日、母の所によくわからない手紙が届き、怪しかったため市役所へ相談に行きました。しかし、「それは我々じゃわからない」と言われ帰って来ました。結果、私がネットで調べたら、すぐそれが確かな場所から来たとわかりましたが、1人で住んでる高齢者の方ではそれができません。今はオレオレ詐欺的なものが多い中で、役所が「わかりません」では意味がありません。まず、今問題となっている詐欺的問題についてしっかり相談でき、助けてくれる場所が必要だと思います。今回もネットで住所や電話を調べ、更に電話したら、それが正しい所とわかりました。そんな事さえ役所はやってくれないと、正直失望です。仮に詐欺だったとして、1人で生活している方が騙されたらどうするつもりでしょうか。「わからない」ではなく、「調べてみます。」「まずこちらで確かめます。」その行動が必要ではないでしょうか？</p>
40 歳代	<p>放課後児童クラブを利用していたことがありますが、そこの支援員の先生の言葉遣いが悪すぎます。子どもに対しても、親が使っていないような言葉で威圧してきます。人手不足のようですが、支援員の質を上げていただきたいと思います。もう二度と放課後児童クラブは利用しません。こんな人が袋井にいることも、袋井市民としては嫌です。</p>
50 歳代	<p>子育て支援ばかり、その年代の方達に優遇され、40～60代、特に自営で生活している人達に負担が強いられ、まったくお金が貯まらない。今、子どもや女性、20代の方は優遇してもみな引越しをして、未来にまったく反映されない。袋井市の産業や行政の運営に魅力がないから、出て行かれてしまうのでは。結局、昔から住んでいる人、家、土地を持っている人の税金を上げればいい、国保や老人医療を上げればいいと、長く住んでいる人にばかり負担を強いる運営にしかになっていない。まともな企業経営、会計管理ができる別の機関を設け、市を企業として経営するシステムにしてほしい。そうすれば、おのずと福祉も充実してくるはずでは。まずは道路の草ぐらい、人の善意に頼らず、市が地域を美しくするために清掃費をけちるのをやめるべき。あの膨大な固定資産税都市計画税は乱開発ではなく、人の住む地域の住民の善に使い、豊かな心を育む投資をしてほしいものです。朝～夜まで</p>

年齢	自由意見
	働き、休日は家の道路わきの草とりをするのはふざけるなどと思います。あまりに片寄った使いばかりで、袋井市には魅力を増々感じなくなってきており、老後はすべてたたんで引っ越しもありと、よく話題になっている。
50 歳代	困った時、最初にどこに相談すればよいのか。その場で解決、方向性、答えは出るのか。一言で福祉と言っても、幅が広くてよくわかりません。サービスの紹介、サービスの提供、給付、助成金、支援、健康、医療、介護、福祉、社会福祉。
50 歳代	質問が多すぎて負担になる。半分くらいに整理して配布しないと、回収率が下がると思う。年末の忙しい時に配布することもタイミングが悪い。
50 歳代	病院ボランティアをやっていた事があるのですが、ボランティアを続けたくてもボランティア仲間のトラブル、ボランティア内容等困った事があっても相談できる所が無く、結局止めてしまいました。ボランティアをする人たちのサポートが必要だと思います。
50 歳代	袋井市はとても暮らしやすい町だと思います。ありがたいと思っています。自分自身、近所の人達と仲良く生活していて、困った時はお互いに助け合っています。こうした、良い環境を維持していくために、市民一人ひとりが自覚を持ち、また、いつも「お互いさま」の精神で暮らしていくことが大切だと思います。時々気になるのは、ひとり親世帯などの子どもが、十分な食生活や学習環境のもとで生活できているか、ということです。すべての子ども達が明るく生きていくために、市や近くに住む大人たちが協力していく必要があると思います。最近、親聞等で「アドボカシー活動」という言葉を知りました。子どもや高齢者、障がい者のような弱者の声を聞き、代弁するということが、これからますます大切になると思います。
50 歳代	民生委員のやっている内容が多過ぎる。負担が多いのでやってみようとは思わない人が多い。
60 歳代	外国人が増え、外国人へのサービスを行っていると思います。外国人へのサービスを行う事は大切ですが、生保を貰っているから働かない、日本語が解らないから働かない方達への適切な指導は大切だと思います。給料が少なくても、待遇があまり良くなくても、働いている人も沢山います。
60 歳代	家族の介護にあたり、社協さんをお願いをして（ケアマネージャーさんを通して）訪問介護をしていただき、お風呂に入れていただきまして大変ありがたく、感謝しました。昨年亡くなりましたが、最後まで来ていただく事ができました。欲をいうと、介護して下さる方にバラつきがあり、時間一杯まで水分補給もゆっくり飲ませて下さる方と、飲まないからとコップの水が減ってない方とがありました。ヘルパーさんの性格もあるかと思いますが、一人の方は、いつでも患者に対して合わせた対応をしてくださいました。他のヘルパーさんが決して悪いという訳ではありません。皆さん優しく話しかけ等していただきましたが、一人のヘルパーさんがとても印象に残っております。リハビリも最後まで来ていただき、おかげさまで家に居る事ができました。訪問介護は本当にありがたいです。

年齢	自由意見
60 歳代	<p>自主防災の消化班で 70 過ぎの人が委員になって参加して、何の意味があるのかわからない。でも、そうしないと若い人のみに順番が回り、若い人は不満だと思う。住民のためにある自治会が、その活動のために高齢者にとって負担になるのは本末転倒だと思う。年齢を考慮した組織になるよう、市でガイドラインを示してもらいたい。自主防災の可搬ポンプ消火について毎月委員になった人達がポンプの運転動作を行っているが、市内の火災において過去に出勤した事があるのだろうか。阪神淡路大震災、熊本地震において、そのような組織が活躍したのだろうか。選別と集中をお願いいたします。まだ自分は福祉サービスは必要としていないので、その前に問題を書きました。自治会によっては切実な問題だと思います。</p>
60 歳代	<p>自分自身の経験からお願いです。保健センターより、健康診断の申し込みのはがきが来ました。まだ、会社を退職して日も浅く、今まで会社でやっていたのも、これからはこちらでお世話になるんだと思いました。様子もわからないので、ハガキをもって健康センターに行きました。ところが、受付にいた女性に、これは福祉センターで補助を受けてと言われ、唾然として何の事やらわからずに帰りました（大声で怒鳴りそうでしたので）。結局、保健センターへ電話をして話ができたと記憶しています。補助など受けませんでした。これから私も高齢になり、介護とかケアとか福祉関係にお世話になると思います。いくら周りの話を聞きかじりしていても、自身は初めてなのです。ゆっくり、丁寧に、わかりやすい対応を望みます。行政の方は、何でも知っている知識深い方々と思いますが、福祉を受けようとする人は初めてなのです。よろしくお願いします。</p>
60 歳代	<p>社会福祉協議会が主ではなく、市、シルバーやファミリーサポートなど、一緒に活動すべきである。</p>
60 歳代	<p>生活保護受給者でまだまだ働ける年にもかかわらず、五体満足で昼間からパチンコ屋に入りし、有料風呂にも入っている話を良く聞きますが、一体どうなっているのだろうか。本当にどうしたら受給されるのか、そういう話を聞きませんか。今日 70 歳を過ぎても、病院に行きながら仕事ができる人は働いています。徹底した調査を続けてほしい。病気等で働きたくても働けない人には年齢に関係なく、手厚い保護をしていただきたい。</p>
60 歳代	<p>袋井に安心安全に住めるようお願いいたします。</p>
70 歳代	<p>今の所それほど困らないので、正直わからない事が多いです。ごめんなさい。</p>
70 歳代	<p>行政が福祉全般をフォローするのは無理なので、地域社会や民間の力をおおいに利用すべきだと思います。私ごとき高齢者でも受け入れ、機会があれば福祉活動に参加する気持ちはあります（実際はそのような機会は殆んど無い）。参加意欲を持てるようなきっかけ、動機付けを公報活動やイベント等で積極的に展開されていってはいかがでしょうか。</p>
70 歳代	<p>後期高齢者が年々増加していく中で、福祉活動及び支援事業をサービスダウンすることなく実施するためには、何が必要なのか。予算及び費用の拡大をどう対処するのか。課題は多くある。</p>

年齢	自由意見
70 歳代	高齢でひとり暮らしのため、ファミリーサポートは利用させていただいている。皆さん優しく親切で感謝している。
70 歳代	このアンケートがどれだけの意味と効力があるのか。漠然としていて、必要性和本当に困っている人達の助けになっているのか考えさせられます。
70 歳代	地域福祉と言って、狭い地域の中に閉じ込めないでほしい。
70 歳代	超高齢化社会へ待ったなしの我が国の現状で、社会福祉の充実は必要不可欠。但し、その源資となる税収には限度があり、ここが大問題。今まで以上に自助、共助の面での充実を進めて、安易に公助に頼らない姿勢が重要。まずは、住民一人ひとりが自分の責任で自分に関わる問題を解決する努力が、この社会の安定と調和を実現するための第一義的な基本要件ではないかと考える。その前提で、生活困難者に社会として支援していく事が福祉活動の本来の姿ではないかと考える。ややもすると、自分の責任を棚に上げ、なんでも安易に行政や社会のせいにして、サービスを受ける権利のみを声高に訴えている輩の姿を見ると、考え込んでしまう昨今である。
70 歳代	問 30 にも書きましたが、私の友人の近くに住んでいる人の事です。その人がどうして生活保護の対象かわからないと、近所に人達は言っているそうです。そのくらい元気で一日中ウロウロしているようです。その人は「仕事を紹介して」と口では言っているが、いざ紹介すると面接にも行かず（何度も）、働く気がないと友人は言っています。就職先がないのならば、行政で一日数時間の労働を考えるべきです。本当に困っている人は、お年寄りでもなかなか手続きできずにいます。私達の税金を使っているのです。無駄のない使い方をしてほしいものです。
70 歳代	隣近所同士が連帯を深められる場の提供を願います。
70 歳代	福祉とは異なるかと思いますが、昨年秋、袋井駅から南コミュニティーセンターの前を通り”満願寺”南の農道を歩いた時のことです。月光りもなく懐中電灯も持ち合わせていなかったため、高さ 1.5m 程の堀に落ちてしまいました。幸い大きなケガはなく翌日医者へ行き安静にしておりましたが、農道には縁石もガードレールもありません。過去には転落して死亡した方がいたようです。”子どもやお年寄りにやさしいまちづくり”を目指すのであれば、このような危険箇所の整備も是非進めていただきたく思います。よろしく願いいたします。
70 歳代	福祉とは何ぞや。福祉とはどんな事なの。福祉を行うことにより、どうなるの。福祉の組織は。福祉の仕事は、各町内の自治会まで届いているの。問 38 の 2 は実行できるの。福祉ということを知らずにこのアンケートを書いています。町内全体に行き渡る施策を考え、実施をお願いします。
70 歳代	福祉の仕事をしている人の給料をもっと支払う事。施設に、入所の人のわがままを強めに指導できる権利を要望。



年齢	自由意見
70 歳代	平成時代の目まぐるしい変化、自然変化、情勢変化、また地域変化などが、今頭の片隅に描かれます。令和の年も社会問題を含め、次々と変わり進む事と思われます。地域それぞれが特色を生かし、差別なく、皆一緒に過ごしやすい社会に向け進むこと。
70 歳代	私の住む地域は高齢化が急速に進んでいきます。その弊害として、精神的障がいを抱える人が出ております。隣接する住民が妄想により、悪口を時と場所を選ばず大声で怒鳴り散らし始めて早3年が経とうとしています。家族の人に医療機関へ相談してほしい旨を伝えても、未だに実行されません。私としては、市の袋井市南部地域包括センターに再度の依頼を試みましたが、センターの方にも家族が相談を持ち掛けられない限り、踏み込んだケアはできないとの事。今回のアンケートでも高齢者、幼児、障がい者、ひきこもりと福祉に関する相談窓口の紹介はありますが、私の問題については、包括センター、警察（生活相談課）、自治体すべてに連絡を試みましたが、未だに解決に至っておりません。私は一応健常者を自認しておりますが、日々身に覚えのない悪口を聞かされる身になってみてください。どちらも精神のバランスをいつまで保っていただけるかもしれない高齢者です。
70 歳代	高齢社会を迎えるにあたり制度の充実も必要ですが、向こう三軒両隣と言われる日々のお付き合いが大切です。プライバシーを超えないようお互いが知り合い、情報交換も大切です。ゆとりある生活はお金ではありません。コミュニケーションの大切さをお互いに意識し合って生活することが、今後重要になるのではないですか。向こう三軒両隣とよく言われていますが、身近な人とのお付き合いを大切に積み重ねていくのも、今後は大切になると考えています。市民がみんな一歩前に出る取り組みが、今後は重要になると思います。
浅羽地域	
20 歳代	浅羽東地区の幼稚園、小学校共に、所有する駐車場が少ないです（借りているところが多い）。行事の時など相互が互いに気を使っている状態だと思います。なかなか難しい問題だとは思いますが、考えていただけると嬉しいです。
20 歳代	高齢者の世話をしながら仕事を続けている母や父の苦労はなかなか減らない。いろんな制度は利用しており、買い物や病院はファミリーサポートで助かっているが、それでも大変である。大変なのは、家の中での生活。食事の支度など食料の入手、希望の買い物、ちょっとした外出はファミリーサポート以上に助けが必要。今後の若い人たちの生活。今の給料では、生活していけそうもない。福祉ではない問題だが、温室メロン農家に囲まれており、ハエが多くて嫌になる。隣家には言いづらい。ハエが少ない場所に移りたいほどだ。
20 歳代	子ども達が自由に遊べる公園がほしいです(ゲートボールや、うるさい等の理由でボールを使って遊んだりできない所が多い)。各自治体、徒歩で行ける広場があるとうれしい。オムツやミルク等の手当てがあると助かります(3人目からなどの基準があってもよい)。幼稚園、小学校の駐車場がほしい。

年齢	自由意見
20 歳代	何か悩んでいる人に対して「憧れ」を示せるように、地域づくりを進めてほしい。身近な人がこれだけ頑張っているなら、自分にもできる事があるだろうと思ってもらう事が大事。福祉とは「弱い人を守る事」ではなく、「生きる術を個人に身に付けさせる事」だと思ふ。単に助けるだけでは市の負担になるだけになるので、「少しずつ福祉に協力してくれる仲間を増やす」、そんな取組ができれば良いのではないかと思ふ。例として、助けてくれた人が表面的に良い人ではなく、「心の底から憧れられる人」である事。
30 歳代	10年ほど前の事です、特別老人ホームの順番待ちの数が多く、地域での入所ができなかった。認知症などが進んでいると市外の特別養護の施設しか無く、このままではと不安を感じた。現在の状況などはほとんど知らないのですが、施設の拡充、職員スタッフの待遇の改善など、いろいろと手を入れてもらいたいと思いました。
30 歳代	室内の大きな公園がほしいです。
30 歳代	小学校の児童クラブの金額が高すぎる。元々高いと思っていたのに更に値が上がり、それにたいして説明もなく、値上がった料金の使い道の説明もなし。世話をしてくれてありがたいとは思いますが、月額に見合った時間を過ごしているとは全然思えない。仕事をしないと生計が立てられないので仕方なく通ってもらっているが、料金が高すぎて何のために働いているのかわからなくなる。保育料が見直され、なぜ小学生は値上がるのか。バカにされている気持ちでいっぱいやるせない。絶対になんとかしてほしい。
30 歳代	消防団員の人数を確保したいなら、市ももっと協力的になってやるべき。すべてを団や分団に任せて、人数が確保できると思わないでほしい。団員のいる家の税金を下げる、もっと金を投入する等。必要だと思っているなら、もっとお金を使うべきである。大切に思っていない消防団なら解体したら良いと思う。
30 歳代	発達障がい支援が必要ではないだろうか。
30 歳代	福祉サービスの水準を維持するために、税や社会保険料の負担を上乗せさせる考えは限界まできていると思う。これからは、個人の健康は個人で守る時代であり、必要以上の費用負担を下世代にさせてはいけないと思う。子ども（学校に通っている人）～企業に勤めている人～高齢者まで、「自分の健康管理は自分でする」教育が必要（子どもがいる、孫がいる、子どもがいない、孫がいないは関係ない。）。勤め人であれば、企業を含めた取り組みが必要。各種福祉サービスについては、相談だとあまり意味がないように感じるため、支援制度として確立させることが大事だと思う。
40 歳代	一般の人が、ボランティアにより参加できる（参加しやすい）ような情報発信。
40 歳代	自治会の必要性はわかりますが、住民の負担はとても大きい。見直しは必要だと思います。
40 歳代	地域での付き合いは、田舎ほど密ではないと思います。福祉の強要はおかしいと思います。気持ちでの福祉が必要だと思います。このアンケートを考えた人は、気持ちがありません。困った人を助けるのは当然です。

年齢	自由意見
40 歳代	福祉と言っても、高齢者・児童・障がい者、そして災害時などいろいろなものがあります。今の自分に必要な福祉しか知識がありません。それでもすべてをわかっているわけではありません。いざ、必要になった時に、どこに相談に行ったらいいのか、どこの窓口に行ったらいいのかはわかりません。なので、とりあえずどこに相談したらいいのかを聞ける窓口があればいいなあと思います。私は浅羽地域に住んでいます。どうしても浅羽地域でのサービスは、袋井地域に比べて少ない気がします。その格差を縮めてもらえるといいなあと思います。現在は障がい者福祉のサービスを利用しています。ですが、もし今利用しているもの以外にも利用できるものがあれば、更新時などに提供してもらえたらいいなあと思います。どんなサービスがあるのか、利用できるのか、わからない事だらけです。情報の発信はとても大事なことだと思います。福祉サービスはこれからどんどん増えていき、とても重要なものになっていくと思います。力を入れて行ってほしいです。よろしくお願いします。
40 歳代	保育園の空きが無い。高齢者の医療費よりも児童に支援してほしい。年金を含め、格差があり過ぎる。
40 歳代	子どもが小学生の時に離婚し、様々な支援をしていただいています。とてもありがたく思っていますが、支援の申請がわかりづらいと感じています。離婚届提出の際、福祉課窓口の申請は教えてもらって手続きできたのですが、学校へ申請する給食費等の支援は知りませんでした。袋井市立の小中学校ですので、同じ申請先にしてほしいと思いました。難しいようなら、一覧をつくってほしいと思いました。
50 歳代	浅羽南地区では高齢者が袋井の街中まで出るための気軽な交通機関が無く、今問題となっている高齢者の車運転がやむを得ず行われています。毎日定時のバスの運行が行われる事が望ましいと思います。
50 歳代	障がい者に合わせて言葉をわかりやすくして欲しかった。漢字や言葉の意味がわからない所が多くあって困った。
50 歳代	障がいのある子どもがいます。親が高齢になった時、子どもの世話や子どもの事心配です。
50 歳代	発達障がいと診断されたばかりですが、職場、かかりつけ医、市の助けがあって今の仕事を続けられています。子どもの大学進学資金について不安があり、相談したいと思っています。また老後の資金が確保できず、将来への不安もある。相続についての知識も無く困っているが、仕事が忙しくて相談に行く事が難しい。
60 歳代	キーワードは、最大多数の最大幸福、個人情報保護、プライバシー保護、費用対効果。福祉の範囲は広すぎるので、ジャンル別に区分けした発想で、組織化された発信が必要かと思います。高齢者ケア、災害時対応、障がい者ケア、引きこもり、DV、地域連帯支援。一度にどさっとこられる情報発信より、月毎や、隔週で特集された発信が良いかもしれない。

年齢	自由意見
60 歳代	車を運転することが難しい年齢になってきた場合、免許を返納してしまったら動く事（病院、買い物等）ができなくなってしまう不安がある時、こんなサービスが受けられます、といった事を誰でもすぐわかる、聞けるといった発信があると良いのですが。
60 歳代	これからは自分の事を考えると、介護の事が心配です。今の所は未だ元気ですが、後十数年後のことを考えると心配は沢山あります。身近に相談できる窓口があるとありがたいです。
60 歳代	実際介護に携わっているので、高齢者に関する情報はすごく関心があります。困っている時、悩んでいる時、行政の担当の方が親身に優しく対応してくれると、気持ち的にとても落ち着きます。災害が多いと地域の繋がりは本当に大事です。被害が出た時行政の素早い対応に期待します。
60 歳代	地域の活動はほとんど主人任せでした。自分も定年退職し、地域の行事、福祉に少しずつ参加して行きたいと思っています。
60 歳代	定年退職して家に居る事が多くなり、まだまだ元気なのでボランティアなどで簡単なものなら手伝いできると思いますが、どこに、どんな、自分にもできる働き口があるのかわからない。また、外に出る機会を多くすることが大切と考えますが、きっかけが見つからない、家に居るまだまだ元気な老人を外に出し、引きこもりにならないようにすることが福祉全般に多少とも関係してくると思われる。
60 歳代	年齢と共に耳が悪くなり、サロン等も休みがちになります。強引に誘うのも迷っています。誘い方は必ずわかりやすい大きめのお知らせ用紙を置いてきます。
60 歳代	日頃、何も考えていないなと自分の無責任さを痛感しました。体調をこわし 10 年続けてきたボランティアをやめてから、他人のことを考える余裕がありませんでした。広報誌などで発信するのは大切です。それも、わかりやすく目が止まりやすくしないとそのまま捨てられてしまうと思います。全部同じ字体でなく、そこから意見なども浮かんでくると思うのです。吹き出しとか丸文字も加えるとか。内容はもちろん第一ですが、まず「目が行くのが大切だ」と思います。読んでもらわないと福祉の事など他人事になってしまいます。理解したり興味を持つのは、自分に関わってきた時だけになりやすいので。日頃、福祉について発信しておくのは特別なことでなく、誰にも必要なことと考えてもらうことがいいと思います。偉そうなことをごめんなさい。
60 歳代	福祉については、昔に比べれば、子から老人までいろいろにサポートされてきていると思います。これからも更に住みやすく生活できますように、より良いサポートをお願いしたいです。
60 歳代	勉強不足で申し訳ありません。保育園の認可とか認証とか何の事が判別がつきません。老人ホームの区別とかあまりにも項目が多すぎてめんどろです。大変なお仕事ご苦労さまです。ボランティア活動など、時間が許せば参加してみたい気持ちもありますが、少し敷居

年齢	自由意見
	<p>が高い気がしています。身勝手ですが、今の所特に必要とする事はありませんが、必要になった時に各種相談窓口があって、相談にのってもらえればいいなと思っています。</p>
70歳代	<p>困り事ができた時、頼れる窓口がよく解ると良い。どこに相談に行っても、的確なアドバイスが受けられるようしっかりしたマニュアル化も必要と思う。</p>
70歳代	<p>障がい者がいるので、行政には大変お世話になっております。ありがたく思っています。が、介護している私も高齢ですので、窓口に出かけて行っても上手に話ができなくて、とても冷たい感じがして市役所に行くのが…特に市民課…。</p>
70歳代	<p>続きです。古くから言われてきた事ですが、制度の充実が必要とされる中、それが実施されると制度頼みの人は、その利用ができるようになるのですが、そうでない人は対象外として除外されるわけです。一般論としては制度は充実されるべきものです。しかし同時にその制度によって守られる人と、そうでない人とを区分けする効果も生んでしまいます。問題は、うのみにして常に制度充実から除外される人生。どのようにして救済するかが大事なこととなります。その意味では、社協だから広く多くの市民が生活上で困ったり悩んだりする意見を受け止め、それに対処できる能力を身に着ける事と、そのシステムをつくる事が必要だと強く感じています。</p>
70歳代	<p>当地区には老人会がありますが、食事はするようですが会員が減っているようです。新規に入会する方が無いと聞きますが、おしゃべりだけでなくもっと楽しく頭の体操をやったり、ゲームなど皆心待ちするような会であってほしいと思います。</p>
70歳代	<p>年金額に見合った介護施設が充実してくれると、老後安心して暮らしていけると思います。</p>
70歳代	<p>福祉に関係するかわかりませんが、笠原地区は特に、高齢化が特に進み、2020年の人口は2,424人、10年先2030年には人口2,085人と予測が出ています。これから先、生活や介護の手段が問題になります。介護が必要になって手助けする場合、買い物に行けなくなり、国、県、市の行政で手段を考えてほしいと思います。公的な資金を無駄なところに投資することをやめて、将来的に老介護者、また高齢者に対策をお願いしてほしいと思います。例えば、高齢者に代わって、周りの人をお願いし、買い物に同行してくれる方に定期的に資金を援助する方法を考えて欲しくなる時代が来ると思います。</p>
70歳代	<p>私は昭和59年からずっと福祉の仕事に携わって来ました（施設の介護職員、介護保険制度に伴う認定調査員、認定審査会委員等）。その後は60歳から15年間ボランティア活動（楽笑教室）を続ける事ができました。主人と二人暮らしですが、車の免許更新ができなくなった時から日常の移動手段が無くなります。先の事を考えても仕方ないのかなとも思いますが、そんな高齢者のための生活支援の充実を望みます。村の中にはお店一つありません。</p>
80歳代以上	<p>市がどんなに素晴らしい考えや計画を下さっても、市民一人ひとりがほんの少しでもゆとり、幸せ感、満足感を持っていなければ、人への幸せお手伝いと言うのは難しい事だと思います。一人ひとりの幸福感と言うのは皆それぞれ違っていると思うので、とても難</p>

年齢	自由意見
	<p>しい事だと思います。市民の一人ひとりがどのようにして行けば人の事をも心配りできる人になっていくのか、研究して行く事も大切な事ではないでしょうか。</p>
<b>(居住地域は無回答)</b>	
60歳代	<p>介護保険、国保について、前から市役所等で意見具申もしているが、これだけ少子高齢化が進んでくると破綻するおそれが十分考えられる。従って、これらについて民間の知恵を利用するか、あるいは民間に任せたいほうが良いと考える。もし、それができないのであれば、分母を大きくして破綻を防止するような手段が必要であると考えている。</p>
年齢無回答	<p>このアンケートを書かせていただく事によって、いろいろ広い分野で福祉法に基づいてアンケートとなっている事がわかりました。でも、袋井市の中でできる事、いま一番必要としている事から実行に移していただきたいと思いました。</p>



---

---

## 袋井市地域福祉に関する市民意識調査 【調査結果報告書】

発行 : 袋井市  
編集 : 袋井市 市民生活部 しあわせ推進課  
住所 : 〒437-8666  
静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1  
電話 0538-44-3121  
発行年月日 : 令和2年3月

---

---